(社)鹿児島県放射線技師会

会報

平成21年9月

第110号



社団法人 **鹿児島県放射線技師会**

鹿児島市東坂元四丁目28－11

TEL 099-248-0028

FAX099-248-0028

目　　次

巻　頭　言　会長就任のご挨拶
(社)鹿児島県放射線技師会　会　長　池　田　　睦 …… 1

退任挨拶 …… (社)鹿児島県放射線技師会　前会長　西　本　孝　市 …… 2

理事退任にあたって …… 西元　辰也・小林　保浩・永田　隆二 …… 3

理事就任のご挨拶 …… 藤崎　拓郎・中島　裕二・豊田　雅彦 …… 6

ご　案　内　支部研修会 …… 8
南薩ソフトボール大会鹿児島支部メンバー募集について …… 12
秋季学術大会の演題募集について …… 13
放射線技師会支部長会議 …… 14
都道府県放射線技師会主催イベントのカウントについて …… 15

報　　告　第四回鹿児島支部研修会 …… 17
平成21年度第85回通常総会および特別講演 …… 20
第85回(社)鹿児島県放射線技師会通常総会報告 …… 21
平成20年度決算書 …… 25
平成21年度予算書 …… 38
平成21年度事業計画 …… 43

総会資料　第84回(社)鹿児島県放射線技師会通常総会議事録 …… 50
第85回(社)鹿児島県放射線技師会通常総会 …… 55

理事会議事録　平成21年度　第１回理事会　議事録 …… 59
平成21年度　第２回理事会　議事録 …… 62

総合学術大会　開会式の挨拶 …… 65
印　象　記　学術大会を終えて …… 66
印　象　記 …… 67
第25回放射線技師総合学術大会・参加人数等 …… 86
第25回放射線技師総合学術大会・第12回アジア学術交流大会スナップ写真 … 87
技術セミナーで得られた提言 …… 91

会計だより …… 98

平成19年度決算書～平成20年度収支予算書 …… 100

理事・監事名簿 …… 117

(社)鹿児島県放射線技師会準会員名簿 …… 118

編集後記 …… 119

広告掲載一覧 …… 120

巻頭言

会長就任ご挨拶



（社）鹿児島県放射線技師会会長　池田　睦

９月になり、まだまだ暑い日が続いています。しかし、朝夕は涼風が漂い、秋の気配をほんのわずかですが感じる今日この頃です。会員の皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、７月１日より西本孝市前会長より会長職を引き受けまして、新執行部としてスタートしました。まだまだ、地に足が付いていない状態であり、前理事の方々のご指導を仰ぎながらの技師会活動を行っております。幸いにも西本孝市前会長が理事職に留まってくれておりますので、非常に心強く会務の遂行にあたっているところであります。

第２５回放射線技師総合学術大会も無事終了しまして、残務整理がもう少しという状態です。学術大会に関してはJARTの中に「学術大会運営に関する検討委員会」が立ち上がりました。これまで学術大会の運営規定がまったく定められておらず、JARTと開催県との役割分担が不明瞭であったり、また予算の収支や責任の所在さえも不明確でありました。開催県によって参加登録の人数により、収支にアンバランスを来すケースが近年生じてきており、そのための検討委員会の立ち上げになりました。直近の開催県という事で鹿児島県の会長も委員会の一員になりました。今後立候補する開催県の準備に少しでも役に立てればと思っております。

今後の技師会活動の大きな課題としては、新公益法人の取り組みがあります。西本前会長が事あるごとに申していますように、平成２０年１２月から施行されています新公益法人への移行に関して、鹿児島県放射線技師会の定款の改定が必至となります。技師会活動の根幹を成す法人化を、引き続き新公益法人としてぜひ成し遂げなければなりません。会員の皆様には今後、多大なるご協力を仰がねばならないと思います。今後ともご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

まずは会長就任のご挨拶を申し上げました。

会長退任にあたり



（社）鹿児島県放射線技師会
前会長　　西本孝市

長かった夏も終わりに近づき、朝夕はそこはかとなく秋の兆しが感じられる時期となりましたが、会員の皆様におかれましてはご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、私こと平成２１年度第２回理事会において会長職を退任することと致しました。顧みますと平成１９年４月の就任以来、会長の器にないばかりでなく、理事歴も浅く任務を全うできるか不安な日々の連続でありましたが、役員の皆様並びに会員の皆様方のご支援とご協力により無事退任することができました。心より感謝申し上げます。また、会員の皆様のご期待に添えなかった点がありましたことをご了承下さいますようお願い致します。

２年３か月間の中で印象に残っていることは多々ありますが、特に平成２０年に執り行いました当会の創立６０周年記念式典・祝賀会並びに今年６月には第２５回放射線技師総合学術大会並びに第１２回東アジア学術交流大会を開催できたことであります。

記念式典は会員の皆様はもとより、鹿児島県及び鹿児島市の行政機関並びに県医師会を初めといたします医療団体のご来賓の皆様のご臨席のもと厳粛に執り行うことができました。また、身に余るご祝辞、多くの生花や祝電を賜わり６０周年記念に相応しい式典でありました。祝賀会にはご来賓の皆様方にも多数ご出席いただき、私どもと親睦を深めるべく和気あいあいの中、盛大に終えることができました。

総合学術大会及び学術交流大会は県技師会の威信を賭けての開催でありました。医療を取り巻く環境の悪化や新型インフルエンザが流行する中での開催となりましたが、過去の大会に引けを取ることのない大会であったと自負致しております。

今後、新公益法人制度への移行の課題が横たわっておりますが、池田睦新会長のもと県技師会が益々発展しますことを願って止まないところであります。

理事退任にあたって

西　元　辰　也

平成１３年度から平成２０年度まで4期8年間、財務担当として理事をさせていただきました。最初は岡田会長（平成１３年から１４年の２年間）、鮫嶋会長（平成１５年から１８年の４年間）、西本会長（平成１９年から２０年の２年間）と３名の会長の下、財務という技師会の財布を預かってまいりました。この財務の役職は私の知っている限りでは１６年以上、代々、鹿児島市立病院で世襲制のように行ってまいりました。今回、大学病院に事務局が移ることになり、財務も移動することになりました。鮫嶋会長の頃より、会長、総務、財務の３役は同じ職場に必要であるとのことで、平成１５年度から市立病院で会長・総務・財務を引き受けることになりました。しかし、この頃より日本放射線技師会も変革の時期で、生涯学習システムや、諸認定制度、会員データベースシステムなど、充実するようになり、県技師会の会務もかなりハードなものになってきました。８年間の中で一番忙しく、やりがいのある時期でした。週末のたびに研修会や講習会があり、会員の皆様にも負担をかけた時期でありました。

財務の仕事としても、何もわからず、前任の西本財務理事（前西本会長）の指導の元、エクセルを駆使しながら処理を行っていました。自分では一生懸命やっていたつもりですが、会計処理をやられている方から見れば、素人に毛の生えたような会計処理のやり方だったのではないでしょうか。しかし、ここにも変革の波が訪れることになります。平成１８年度から新公益法人会計処理が公益法人に適用されることとなり、本格的に会計処理を行わなければならなくなりました。今までも収支を記録し、財産と負債でバランスを取るという会計処理（企業会計としては正しいやり方ですが、処理していた本人が内容をよく把握していなかった為、毎年の決算時に苦労していた）を行っていましたが、本格的な会計処理はしていなかった為、専用の会計処理ソフト（新公益法人会計基準対応版）を購入していただき進めていくこととなります。しかし、会計処理が素人であった為、ソフト自体の動作などは理解できましたが、収支項目の設定や、貸借の方法など、かなり細かく専門的で難解であり、１年半ほど設定にかかりました。このため、財務理事をさらに続ける事となりました。会計処理はこのソフトで、できるようになったのですが、会員の会費納入管理や、諸収支に関してはエクセルで今までどおりの管理をしていかなければならず、これまでの処理プラス会計ソフトの使用となりました。これほど難解で煩雑な会務でありますので、現財務理事の中島さんとの引継ぎもいまだに継続中で、完了のめどが立たない状況です。中島さん頑張って下さい。

その他、様々なことがありましたが、いい経験でした。長い間ありがとうございました。

放射線機器管理士部会についても活動を休止中で申し訳ありません。全国学会の会計処理も終わり活動再開と思っております。その前に更新の手続きがありますので９月３０日消印有効です。考え得る限りの実績の提出（多めにカウントできるように）をお願いします。申請書に必要性を訴えれば、検討委員会で承認を得やすいそうです。

理事退任にあたって

鹿児島大学病院　小　林　保　浩

昨年度いっぱいで、６年間務めさせていただいた鹿児島県放射線技師会の理事を退任することになりました。

６年間を振り返ってみると、最初の４年間はＡＤセミナー・認定技師研修会および認定試験と、毎週何かの催し物があり、会員の皆様と苦労したのが思い出されます。なにせはじめての研修会ですので、講師の人選から日程の調整および会場設営等、不慣れで皆様には多大なご迷惑をかけたと思いますが、たくさんの皆様に参加してもらい数大項のアドバンス・認定技師が誕生したことを、喜んでいます。今年更新の年ですが、数多くの認定技師が更新されることを信じています。

後の２年ですが、全国放射線技師総合学術大会の副実行委員長に任命され準備に追われる２年間でした。ただ直前になり体調を崩し、実行委員の皆様にいろいろとご迷惑をおかけし、満足な協力ができなかったことが、残念で仕方ありません。

今年度より、事務局も大学病院に移行され、池田会長のもと技師会の事業が進められていくと思いますので、理事の職はおりますが協力をしていきたいと思います。

６年間の間、会長はじめ理事の皆様、会員の皆様に感謝します。

理事退任にあたって

鹿児島市立病院　永　田　隆　二

平成19年4月に（社）鹿児島県放射線技師会の総務理事に就任し、2年間勤めさせていただきましたが、この3月の理事改選で退任となりました。

2年間という短い時間でしたが、思い返すと非常に内容の濃い2年間でした。就任してしばらくは理事の仕事の多さに戸惑い、ただただ目の前の仕事をこなすことで精一杯でしたが、同じ執行部の皆さんや、多くの会員の皆様に支えられ、何とか任期を終えることが出来ました。本当に有難う御座いました。法務局への登記関係の書類作成、鹿児島県への現況届け、通常総会の準備、入会・退会等の会員管理などなど、総務としての仕事は相当の量で、理事になって初めて会の運営の大変さを知りました。後任の執行部にも会員の皆様の変わらぬ御支援をお願いいたします。

2年間の任期中最も印象に残るのは、やはり今年6月に県民交流センターにて開催された、第25回全国放射線技師総合学術大会です。運営委員の皆様や会員の皆様の大きな協力に支えられ、全国学会が成功に終わり本当に良かったと思います。私も企画の段階から運営に参加させていただき、微力ながら貢献できたことをうれしく思います。準備の段階では苦労したことも多かったですが、逆に同じくらい得るものも多く、これからの自分にプラスになる良い経験をさせていただきました。

（社）鹿児島県放射線技師会はこれから公益法人への移行など大きな問題を抱えています。お願いばかりになりますが、私が就任中に受けた会員の皆様の御理解と御協力に感謝し、同様にこれからも技師会に変わらぬ支援をお願いいたします。

本当に有難う御座いました。

理事就任のご挨拶

鹿児島大学病院　藤　﨑　拓　郎

この度、学術担当理事を務める事になりました鹿児島大学病院の藤﨑です。初めての経験で何も分からず先輩理事の皆様、会員の皆様にご迷惑をお掛けすると思いますが、引き受けた限りは精一杯頑張るつもりですのでどうぞ宜しくお願い致します。

まずは、諸先輩方が今まで築き上げてきた色々な行事を引き継いで、理事の仕事を理解し、更に会員の皆様に取りまして更に必要とする（社）鹿児島県放射線技師会となるよう池田会長のもと、役不足ではありますが理事として精一杯努力しようと考えています。

今更、私が言うまでもありませんが、我々放射線技師の将来に対して、厚労省等に何かを要求する際、個人としてより団体として要求した方が当然良い結果が期待できるはずです。それも強固な団体であればあるほど良いはずです。幸い我々放射線技師には、先輩方が苦労して築いて来られた（社）鹿児島県放射線技師会という立派な職能団体があります。是非、この（社）鹿児島県放射線技師会を利用して、会員の皆様と一緒に、将来に向け我々放射線技師という職業を、もっと色々な意味で確立、発展させて行かなければならないと考えています。

新米理事のくせに生意気ではありますが、会員の皆様も、まずは総会等への出席からご協力して頂き、（社）鹿児島県放射線技師会、理事会へのご意見、お叱りの言葉などでも良いですので、もっと強固な職能団体となるように、ご協力とご指導をよろしくお願い致します。

理事就任のご挨拶

鹿児島大学病院　中　島　祐　二

平成21年3月15日の第84回通常総会におきまして財務担当理事就任を承認され
4月より会務を担当することになりました。
前任者である鹿児島市立病院放射線室の西元辰也氏が4期8年間という長い間その大役を担ってこられたということにただただ敬服すると共に、私のような者にこのような重責がはたせるかという不安に嘖まれる毎日です。
“世に伯楽有りて然る後に千里の馬有り”とあるように皆様の御協力のもと、前任者の多大なる御指導をいただきながら駄馬ではありますが、少しずつ邁進して参りたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

理事就任のご挨拶

鹿児島大学病院　豊　田　雅　彦

本年度より総務担当理事を務めることになりました豊田雅彦といいます。見た目は年季が入っていますが、理事の中では最年少であり、また技師暦も10年とまだまだ未熟者で、このような大役は少々荷が重く感じております。当然のことながら技師会運営の右も左も分からず未だ困惑している状況ですので、会員の皆様をはじめ、前任者や他の理事の方々に多大なるご迷惑がおかけしていることと思います。

私の任期中は公益社団法人化等の問題を抱え、これからの鹿児島県放射線技師会がどのような形として存続していくのか会員の皆様とともに考えていく、まさに「変革の時期」であり、様々な問題が発生すると予想されます。問題を一つ一つ解決し、より良い技師会に発展できるよう総務担当として微力ながら貢献できればと考えておりますので、会員の皆様の暖かいご支援、ご協力をどうかよろしくお願い致します。

第19回南薩支部研修会

日　時：平成21年9月12日（土）　15時～18時
場　所：サザンリージョン病院1階ミーティング室（枕崎市）（0993-1351）
内　容：以下の通り

1．教育講演
「最近の放射線治療について」
サザンリージョン病院放射線科　伊　藤　宗一朗 先生

2．会員発表
「当院における放射線治療の流れ」
サザンリージョン病院　南　野　隆　志 技師

3．メーカー講演
「Open ＭＲＩ最新情報」　日立メディコ　前　川　晃　一 様
「電子カルテとは？」　日本システム　（講師未定）

4．施設紹介
サザンリージョン病院画像診断部門の案内をいたします。終了後は懇親会を行います（会費制）。

第18回　川薩支部研修会・総会開催について

謹啓　晩夏の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申しあげます。
さて、標記の件につきまして下記の通り研修会・総会意見交換（懇親会）を開催いたします。多数のご出席とご協力の程、宜しくお願いいたします。

記

1．日　時：平成21年10月17日（土）　15時より
2．場　所：出水総合医療センター　2階　講堂
3．内　容：別紙　研修会プログラムにて

＊　出欠の締め切り
・川薩支部会員の皆様には各施設宛にご案内と出席表を配布いたしました。同封のＦＡＸ送信票にて研修会、総会、懇親会の出欠を10月10日までに送信願います。
・総会を欠席される方は必ず委任状をお願いいたします。

送信先　ＦＡＸ 0996-32-3541　丸田病院　岡野　三男 まで

第18回　川薩支部研修会プログラム

日　時：平成21年10月17日（土）　15：00～
場　所：出水総合医療センター　2階　講堂

1．開会の挨拶　　15：00～
（社）鹿児島県放射線技師会　川薩支部長　岡　野　三　男

2．（社）鹿児島県放射線技師会会長挨拶
会　長　池　田　　睦

3．会員研究発表　　座長：済生会　川内病院　児　玉　康　輝
① ＥＯＢプリモビスト造影剤の３Ｄダイナミック撮像法の検討
出水総合医療センター　元　村　重　吉
② 頸動脈ステント留置術について
串木野医師会立脳神経外科センター　濱　崎　善　人
③ 当院のＦＰＤ搭載アンギオ装置の使用経験
川内市医師会立市民病院　中　村　晋　輔

4．教育講演　　座長：出水総合医療センター　古　田　正　成
◎ 検像システム　NEOVISTA　Ｉ－PACS QA　新機能について
コニカミノルタヘルスケア（株）　湯　川　敬　太　先生
◎ 富士医用画像３Ｄワークステーション「VINCENT」
富士フイルムメディカル（株）　河　野　安　宏　先生

休　憩（16：50～17：00）

5．支部総会　　17：00～17：30

6．閉会の挨拶　　（社）鹿児島県放射線技師会　川薩副支部長　田　畑　一　文

◎意見交換会（懇親会）会場　出水市本町14-5　居酒屋　無邪気　18：00～
担当：支部理事（福利厚生）寺田病院　春口　良久　理事まで ☎0995-22-1321

平成21年度　第6回フレッシャーズセミナー（ご案内）

謹啓

残暑の候、会員の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素から本会の事業運営にご協力を賜り誠に有り難うございます。

さて、平成２１年度の第６回フレッシャーズセミナーを下記の内容・日程で開催致します。各施設の新人の方、あるいは各モダリティーの基礎を再確認されたい方、ご多忙とは思いますがご参加下さいますようお願いいたします。

敬具

日　時：平成２１年９月２７日（日）　９時～１２時
場　所：鹿児島大学医学部第４講義室
参加費：無料
その他：（駐車場は、当日、無料駐車券を配布します。）

◇内　容

① 9時～10時　患者接遇
（有）プラスピュア　代表取締役　　野口　純子　先生

② 10時10分～10時50分　CT撮影
鹿児島CT研究会　新村　栄次　先生（今給黎総合病院）

③ 10時50分～11時30分　消化管・超音波撮影
鹿児島消化器画像研究会　平賀　真雄　先生（霧島市医師会医療センター）

④ 11時30分～12時10分　マンモグラフィー
鹿児島県DR研究会　　隈　浩司　先生（鹿児島市立病院）

平成21年度　リーダー育成研修会（ご案内）

謹啓

残暑の候、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素から本会の事業運営にご協力を賜り誠に有り難うございます。

さて、リーダー研修会を、下記の日程で開催致します。皆様におかれましては、何かとお忙しい折かと存じますが多くの方々の参加をいただきたく、ここにご案内申し上げます。

今回の講演は『医療法立入検査の実際』と『平成２２年度診療報酬改定に向けて』いう内容で企画しております。

『医療法立入検査の実際』は、九州厚生局医療指導課の放射線管理担当官の立場から医療法第２５条の規定に基づく医療監視について講演いただきます。

医療監視は適切な放射線の管理や施設の構造設備の維持、また、適正な労働安全の実施を目的に検査が実施されます。立入検査に向けての注意点やどのように備えるべきか等、担当官としての厳しい視点でご講演いただければ、有意義な講演会になると思います

『平成２２年度診療報酬改定に向けて』は平成２０年度の診療報酬との相違について講演をお願いしたいと思います。折しもフィルムレス化が進む昨今の医療界において、私ども放射線技師も積極的に病院経営を考えなければならない時期に来ております。診療報酬改定に向けてどのように備えるべきかについての情報が得られれば有意義な事と思います。

なにとぞ多数のご参加をいただきますよう宜しくお願い致します。

敬具

◇リーダー育成研修会

日時：平成２１年９月２７日（日）　１３時３０分～１５時３０分

場所：鹿児島大学医学部第４講義室

◇内　容

①「 医療法立入検査の実際」　１３時３０分～１４時３０分

独立行政法人国立病院機構　福岡東医療センター　診療放射線技師長

九州厚生局　医療指導課　放射線管理担当官　折田　信一　先生

②「 平成２２年度診療報酬改定に向けて」　１４時３０分～１５時３０分

株）エルクコーポレーション　医療情報コンサルティング部　部長

日本画像医療システム工業会

経済部会　副部会長　鍵谷　昭典　先生

南薩ソフトボール大会の鹿児島支部チームメンバー募集について

鹿児島支部では南薩ソフトボール大会に鹿児島支部チームとして参加予定です。つきましてはメンバーを募集しております。

記

開催日時：平成21年10月25日（土）
開催場所：南さつま市加世田運動公園　多目的グランド

ふるってご参加いただけるようお願いいたします。

連絡先：鹿児島大学医学部歯学部附属病院
臨床技術部　放射線部門
坂　下　周一郎
電話：099-275-5664（放射線部第1受付）
メールアドレス　：sakasita@m3.kufm.kagoshima-u-.ac.jp

以上

（社）鹿児島県放射線技師会秋季学術大会の演題募集について

下記の要領で鹿児島県放射線技師会秋季学術大会および第 6 回鹿児島支部研修会の開催を予定しています。

記

開催日時：平成 21 年 11 月 14 日（土）　15：00 から
会　　場：南風病院　ＡＮＮＥＸ　Ⅰ
内　　容：会員発表および基調講演、シンポジウム
　　会員発表は質疑応答を含め 10 分程度

基調講演「未定」
　　講師：富士メディカル

シンポジウム「ネットワークの現状と問題点」（案）

＊演題を募集しております。メールにて 10 月中旬までにお申込みください。

連絡先　　学術担当　松　下　芳　正
　　今給黎総合病院

メールアドレス　dokueishitsu@hotmail.com

以上

平成21年度（社）鹿児島県放射線技師会支部長会議

日時：平成２１年９月２７日（日）　１２時～１３時
場所：鹿児島大学病院３階カンファレンス室

＜議題＞

１．これからの県技師会の事業について（ご協力の要請）
①第26回市民健康まつり
日時：平成21年10月25日（日）10時～15時
場所：鹿児島アリーナ
パネル展示、画像ワークステーション取り扱い
②（社）鹿児島県放射線技師会秋季学術大会
日時：平成21年11月14日（日）15時～18時
場所：南風病院　ANNEX 1
基調講演　フジメディカル　三木先生
シンポジウム「ネットワークの現状と問題点」（案）
会員研究発表
③レントゲン週間イベント
日時：日時：平成21年11月7日（日）13時～17時
場所：未定
内容：未定

２．都道府県放射線技師会主催イベントについて
①都道府県放射線技師会主催イベントにおけるカウントならびに運用方法の変更。
②社会活動ポイントに統一
③ポイントは時間により１、３、５カウント
④平成21年7月1日から運用
⑤新規でイベントの申請を行い、イベント開催前日までに会員情報システムから受付用ＰＣに使用するデータをダウンロード
⑥イベント会場で会員参加実績を記録
⑦イベント終了後、参加実績ファイルを出力し、電子メールで本部に送信

３．支部報告・計画・問題提起
①鹿児島支部（坂下　周一郎　支部長）
②南薩支部（野中　康博　支部長）
③川薩支部（岡野　三男　支部長）
④霧島・姶良支部（平賀　真雄　支部長）
⑤大隅支部（島児　末治　支部長）
⑥大島支部（出水田　尚文　支部長）

都道府県放射線技師会主催イベントのカウントについて

（社）鹿児島県放射線技師会
会長　池田　睦

従来より都道府県放射線技師会主催のイベントに関しては、JART主催のイベントのカウント1時間1カウントに対し1/3のカウントでしたが、平成21年7月1日付で変更になりました。

都道府県放射線技師会が主催する各種講習会は、地域医療貢献のための資質向上がその目的となっています。そのため、これまでの「学術・研修」をこれからは「社会活動」と位置づけられました。

具体的にカウントは

①2時間未満は1カウント
②2時間以上5時間未満は3カウント
③5時間以上は5カウント

となりました。

「社会活動」の内容は
国民に直接かかわり社会貢献度の高いものと言われ
①地域住民への保健医療に関する普及啓発イベント
②地域医療貢献のための資質向上（地域学術・研修）活動
となっています。

都道府県放射線技師会主催のイベントはこれらに全て該当しますので、社会活動ポイントとして申請できるものです。

これまで、社会活動実績は、専用エクセルファイルに電子メール添付でのJARTへの提出でしたが、今後は、学術研修イベントと同様に全て会場PCシステムを利用した記録と実績出力、出力ファイルの電子メールでの送信に1本化されます。

作業手順としましては

①イベントの新規申請
↓
②会場ＰＣデータ出力
↓
③実績を記録（当日）
↓
④実績を電子メールで送信

となります。

注意点は①のイベントの新規申請であらかじめ会員情報システムからイベントの申請をしなければならないことです。

従って、開催のはっきりしているイベントは前もって鹿児島県放射線技師会に報告してもらう事が必要です。原則として事前申請です。

この他に従来からの漏洩線量測定、被ばく相談、防災訓練、災害対策等は認定資格更新の対象と区分されます。

第四回鹿児島支部研修会報告

鹿児島県放射線技師会鹿児島支部
広報担当　坂元成行・前原邦章

さる平成20年9月20日（土）に、鹿児島大学病院第四講義室において、第四回鹿児島支部研修会が開催されました。この時期、様々な研修会等がある中、参加人数６７名（会員５０名、非会員２名、学生１５名）と多数のご参加を頂き、誠に有り難うございました。今回は、一般演題4題、特別講演1題、支部長並びに県学術理事からの状況報告がありました。

それに先立ちまして、初めに県技師会の西本会長よりご挨拶を頂き、来年開催される鹿児島での全国学術大会についての協力のお願いとリーダ研修会への参加のお願いについて、ご報告頂きました。

続いて、一般演題について、先ず三宅病院の東　浩幸氏による「1.5T MRI Signa HDeの使用経験」では1.0Tから1.5Tになって件数が増加し、更にアーチファクトが改善されたこと。又今後の取り組みとしてプロトコールの改良、ポジショニングの検討の必要性などが報告されました。

次に鹿児島市医師会病院の小場　淳氏による「当院のGd EOB DTPA造影検査について」ではGd EOBを用いることでUSでも描出できなかった微小な肝細胞を描出できたこと。更に、血流情報や肝機能情報を得ることが可能となったことなどが報告されました。

次に鹿児島医療技術専門学校の信太　圭一氏による「MTFによるHalf Fourier法とzero filling法の画像評価」では双方を比較した場合、撮影時間については明らかな差はなかったが解像度を考慮するとHalf Fourier法が優れていること。又撮影領域が小さな場合はzero filling法が望ましいことなどが報告されました。

最後に、今村病院の直　竜貴氏による「消化管における体外式超音波の有用性」では、腹部におけるスクリーニングが可能となり、又検査手技が比較的容易になったことなどが報告されました。

特別講演では、九州電力広報部　中山正輝先生に「原子力発電のしくみと現状」というタイトルで、ご講演頂きました。講演では写真やイラストを使って発電のしくみを分かりやすくご説明頂きました。

支部会報告では、坂下支部長より、現在の支部役員の紹介と今後の活動内容、それに伴う連絡網の整備、アンケートのお願い、北海道での全国学術大会の視察についての報告等がありました。又、小林県学術理事より来年鹿児島で開催される全国学術大

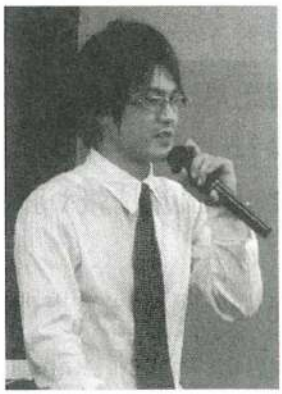
会の概要と実行委員の要請などについて報告がありました。

最後に、鹿児島支部研修会開催にあたり、ご参加下さいました皆様方に、深く感謝申し上げますと共に、今後とも鹿児島支部会へのご協力の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

研修会風景







参加者名簿（学生除く）

浮田　啓一郎	福崎　力也	飯伏　順一	室屋　純一	田川　信夫
奥村　英一郎	松下　芳正	直　竜貴	渡辺　泉	川畑　歳文
坂下　周一郎	信太　圭一	松村　康博	小屋　俊彰	本田　城二
木場　淳	坂元　成行	橋口　満	内田　一正	橋口　善治
吉村　洋一	西本　孝市	末永　浩一	浅井　愛邦	千葉　調
木屋尾　祐太朗	本村　克朗	藤坂　智史	岩元　亮太	小林　保浩
佐々木　雅史	小磯　美奈	川原　浩	西郷　康正	前田　圭介
堀之内　満康	古市　拓也	石山　重行	中島　さおり	隈元　満広
松野下　直美	前原　邦章	岩下　守良	藤崎　誠	末永　浩二
山元　政裕	村山　恵洋	東　幸浩	日高　浩文	山本　愛
福留　慎也	下園　大介			

（敬称略、順不同）

平成20年度鹿児島支部役員

支部長	坂下周一郎	（鹿児島大学病院）
副支部長	隈元　満広	（鹿児島生協病院）
総務	中島さおり	（鹿児島厚生連病院）
学術	川畑　歳文	（今村病院）
	末永　浩二	（南風病院）
	松下　芳正	（今給黎病院）
組織・表彰	本田　城二	（鹿児島医療技術専門学校）
	岩下　守良	（南風病院）
広報	坂元　成行	（鹿児島医療センター）
	前原　邦章	（鹿児島生協病院）
監事	石山　重行	（鹿児島厚生連病院）
	飯伏　順一	（今給黎病院）

鹿児島支部会につきまして、ご質問・ご要望等ございましたら、何なりとメールにてご連絡下さいますようお願い申し上げます。

連絡先：sakasita@m3.kufm.kagoshima-u.ac.jp

平成２１年度　第８５回通常総会　および特別講演

日 時：平成２１年６月２０日（土）１４：００～１６：３０
会 場：鹿児島県歴史資料館　黎明館　２階　講堂

●特別講演：「食と農に吹く風」　１４：００～１５：００
講　　師：萬田　正治　先生　　座長：池田副会長





●通常総会：１５：３０～１６：３０
議　　題：平成２０年度事業報告　および　決算報告について

第８５回（社）鹿児島県放射線技師会通常総会報告

平成２０年度事業報告

１．総括

当会設立の目的である「県民保健の維持発展に寄与する」ために必要な事業を事業計画に基づいて遂行してきた。この目的を達成するためには、会員の職業倫理の高揚や診療放射線学および診療放射線に関する技術の向上、ならびに、放射線や放射線診療に関する知識を県民に普及させることが不可欠である。併せて、「国民から見える職業へ」のスローガンのもと、放射線技師職のアピールに関する事業を中心に事業を進めてきたので報告する。

会員の資質の向上を目的としての事業として、フレッシャーズセミナー、リーダー育成研修会、秋季学術大会、支部研修会を開催した。リーダー育成研修会では診療報酬に関する研修、秋季学術大会は大島支部会員のご尽力により盛大に開催された。支部研修会については、複数回開催の支部が増えてきており、支部の熱意の高さがうかがわれるところである。

放射線や放射線診療に関する知識を県民に普及させる事業として、健康ハート展・レントゲン週間イベント、市民健康まつりを計画していたが、平成２０年度は鹿児島で「ねんりんピック」が開催されたので、他医療関連団体においても団体単独でのイベントは縮小された。健康ハート展は中止、市民健康まつりは特別講演のみで展示等は中止となった。当会においても足並みを揃え、単独事業であるレントゲン週間イベントは開催を見送った。

放射線技師職を行政機関、医療機関、市民にアピールに関する事業としては、県が主催する原子力防災訓練に県技師会チームとして、汚染測定担当２名・住民の健康相談担当１名・通信連絡担当１名が参加した。また、鹿児島市夜間急病センターの委託業務ならびに医療機関の漏えい線量測定や放射線の安全に関する指導を行った。

平成２１年６月に当会が開催した「第２５回放射線技師総合学術大会」ならびに「第１２回東アジア学術交流大会」の準備については組織委員会を１０回開催し、詳細について検討してきた。

① 特別講演、モダリティー別技術セミナー、シンポジウム、市民公開講座の企画。
② 機器展示、ランチョンセミナー、セミナーや市民公開講座の座長及び演者、開会式来賓出席、オープニングコンサート演奏等の依頼。
③ 演題募集要項、発表要項の決定。
④ 懇親会の企画、運営の決定。
⑤ プログラムの決定。
⑥ 実行委員の組織化。

３管理士部会を開催し、会則・活動方針の検討を行った。

新公益法人制度へ移行するためには、定款の改正が必須条件である。過去において、新制度移行とは関わりなく他の目的で検討されてきたが、定款改正の条件が厳しく未解決のままである。県が開催する説明会に参加し、情報の収集に務めるとともに、日本放射線技師会や都道府県放射線技師会の動向に注視してきた。

以上、概要について報告しましたが、詳細につきましては担当理事より報告します。一年間、会員の皆様のご協力に感謝致します。

平成20年度活動報告

総　務

会員数　460名（平成21年3月31日現在）

新入会　20名

退会　　6名

転入　　11名　・　転出　2名

平成 20 年

5月14日　第1回理事会

5月18日　財務監査

5月27日　第1回市民健康祭り実行・運営委員会
西本会長

6月　7日　第66回日本放射線技師会通常総会
（東京）　西本会長・新村理事・西元理事

6月　8日　全国会長会議　（東京）

6月21日　第83回通常総会（黎明館・2階講堂）
特別講演
医療の崩壊と今後の地域医療
県立北薩病院・院長
高橋　浩一　先生
県理事・支部長連絡会

6月22日　第5回フレッシャーズセミナー
（鹿児島大学病院・第4講義室）

7月4日 ～ 7月9日
放射線技師総合学術大会視察（札幌市）
理事10名・組織委員2名参加

7月24日　第2回理事会

7月26日　大隅画像研究会
新村理事・冨松理事　参加

8月23日　九州地域放射線技師研修会（熊本市）
西本会長

9月20日　鹿児島支部研修会

9月24日　第3回理事会

10月　1日　学術大会 JIRA 挨拶回り
（東京）西本会長

10月　2日　公益法人説明会
鹿児島県庁　　永田

10月　4日　支部長会議
リーダー育成研修会

10月11日　九州検査技師会学会レセプション
西本会長

10月18日　第25回市民健康まつり

10月21日　鹿児島県による公益法人監査
西元理事・永田

10月25日　秋季学術大会（大島支部）
西本会長以下、理事5名参加

11月　1日　第3回九州放射線医療技術学術大会
（宮崎）

11月　5日　第2回市民健康祭り実行・運営委員会

11月20日　県技師会中間監査

11月21日　日放技実務担当者会議（東京）
永田

12月　4日　第3回理事会

平成 21 年

1月　8日　第4回理事会

1月10日　鹿児島県医師会賀詞交歓会
西本会長

1月16日　原子力防災訓練打ち合わせ会（川内）
永田

1月20日　第3回市民健康祭り実行・運営委員会

1月28日　原子力防災訓練参加者打ち合わせ会

1月31日　原子力防災訓練（川内・鹿児島）
九州地域役員研修会（福岡）
西本会長
霧島支部研修会

2月　1日　九州地域役員会議（福岡）
西本会長

2月14日　鹿児島支部研修会

2月17日　緊急被ばく医療会議

2月21日　大隅支部研修会
放射線治療セミナー

2月28日　南薩支部研修会

3月　4日　第5回理事会

3月　6日　夜間急病センター連絡会議

3月14日　九州地域役員会議（福岡）
西本会長
3月15日　第84回通常総会
春季学術大会
3月28日　日放技理事会（東京）
隈・学会組織委員

学　術

Ⅰ．支部研修会・学術大会

1．鹿児島支部研修会

日時：平成20年9月20日（土）
会場：JA厚生連健康管理センター

日時：平成21年2月14日（土）
会場：鹿児島厚生連病院

2．南薩支部研修会

日時：平成21年2月28日（土）
会場：県立薩南病院

3．大隅支部研修会

日時：平成21年2月21日（土）
会場：鹿屋県民健康プラザ医療センター

4．霧島・姶良支部研修会

日時：平成21年1月31日（土）
会場：霧島市立医師会医療センター

Ⅱ．学術大会

1．平成20年度鹿児島県放射線技師会

秋季学術大会（大島支部）
日時：平成20年10月25日（日）
会場：奄美市　奄美会館

2．平成20年度鹿児島県放射線技師会

春季学術大会
日時：平成21年3月15日（土）
会場：鹿児島県歴史資料館 黎明館
2階 講堂
内容：会員発表4台
シンポジウム：機器管理について

Ⅲ．研究会

鹿児島消化器画像研究会（白政会）

H20年4月24日
定例研究会　参加者：74名

H20年7月26日
定例研究会　参加者：82名
基調講演
親愛天神クリニック　森一宏先生
学術講演
慶応義塾大学医学部付属病院
放射線診断科准教授　杉野吉則先生

H20年10月24日
定例研究会　参加者：61名

H20年12月6日
第1回大隅支部鹿児島消化器画像研究会
参加者：26名
教育講演
超音波：鹿児島厚生連病院　西憲一
消化管：鹿児島共済会南風病院
石本裕二

H20年11月9日
第1回胃X線実技講習会　参加者：20名

H21年1月24日
定例研究会　参加者：65名
研究発表　3演題
基調講演　島津製作所　田中修二先生
学術講演　久留米大学病院
消化器科講師　中原慶太先生

Ⅳ．フレッシャーズセミナー

日時：平成19年6月24日（土）

会場：鹿児島大学病院　第4講堂

内容：患者接遇・ＣＴ・

ＭＲ・一般撮影

広報・編集

1．鹿児島県放射線技師会会報発行

第108号　（平成２０年９月）

第109号　（平成２１年３月）

2．総会資料作成

第83回（平成20年 6月）

第84回（平成21年 3月）

3．行事等の写真撮影および編集

4．鹿児島市医師会夜間急病センターに関する業務

（勤務作成・連絡網作成　等）

福利・厚生

1．リーダー育成研修会（懇親会）

日時：平成20年10月 4日（土）

場所：高田屋

組織・表彰

1．フレッシャーズセミナーにて会員勧誘を実施

日時：平成20年 6月22日（日）

場所：鹿児島大学病院

2．表彰委員会

日時：平成21年3月15日（日）

場所：鹿児島県歴史資料センター

収支計算書総括表

社団法人　鹿児島県放射線技師会

平成20年4月1日から平成21年3月31日まで

（単位：円）

勘定科目	
Ⅰ 事業活動収支の部	
1. 事業活動収入	
入会金収入	30,000
会費収入	2,937,000
事業収入	873,000
補助金等収入	500,000
負担金収入	723,000
雑収入	111,676
前受金	165,000
他会計からの繰入金収入	0
事業活動収入計（A）	5,134,296
2. 事業活動支出	
(1) 事業費支出	2,919,413
事業対策費	428,798
学術研究事業費	412,230
支部助成金	440,000
出版事業費	396,000
福利厚生費	0
放射線啓発事業費	654,490
本部会費負担金	453,000
通信運搬費	79,825
その他必要経費	55,070
(2) 管理費支出	1,091,210
会議費	268,387
旅費交通費	417,720
需要費	76,799
渉外費	0
賃貸費	0
事務所運営費	151,904
租税公課	124,500
雑費	165,000
次年度会費繰越金	154,000
次年度負担金繰越金	11,000
事業活動支出計（B）	4,175,623
事業活動収支差額（A）－（B）	958,673
Ⅱ 投資活動収支の部	0
1. 投資活動収入	0
投資活動収入計	0
2. 投資活動支出	0
投資活動支出計	0
投資活動収支差額	0
Ⅲ 財務活動収支の部	0
1. 財務活動収入	0
財務活動収入計	0
2. 財務活動支出	0
財務活動支出計	0
財務活動収支差額	0
Ⅳ 予備費支出	0
当期収支差額	958,673
前期繰越収支差額	14,107,864
次期繰越収支差額	15,066,537

収支計算書

社団法人　鹿児島県放射線技師会

平成20年4月1日から平成21年3月31日まで

（単位：円）

勘定科目	予算額	決算額	差異
Ⅰ　事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
入会金収入	0	30,000	△ 30,000
日本放射線技師会入会金収入	0	30,000	△ 30,000
会費収入	3,694,000	2,937,000	757,000
正会員会費収入	3,374,000	1,561,000	1,813,000
前年度繰越前受正会員会費収入		1,288,000	△ 1,288,000
過年度正会員会費収入		28,000	△ 28,000
準会員会費収入	320,000	60,000	260,000
事業収入	900,000	873,000	27,000
研修会会費収入	100,000	0	100,000
広告収入	500,000	530,000	△ 30,000
環境測定事業収入	300,000	343,000	△ 43,000
補助金等収入	500,000	294,620	205,380
民間補助金収入	500,000	294,620	205,380
負担金収入	533,000	723,000	△ 190,000
日本放射線技師会会費負担金収入	0	165,000	△ 165,000
前年度繰越前受金日本放射線技師会会費収入		45,000	△ 45,000
過年度日本放射線技師会負担金収入		15,000	△ 15,000
九州地域放射線技師会会費負担金	241,000	112,000	129,000
前年度繰越前受九州負担金収入		92,000	△ 92,000
過年度九州地域放射線技師会会費負担金		2,000	△ 2,000
市医師会負担金	292,000	292,000	0
雑収入	310,000	111,676	198,324
受取利息収入	10,000	1,676	8,324
雑収入	300,000	110,000	190,000
前受金		165,000	△ 165,000
前受会費		154,000	△ 154,000
前受負担金		11,000	△ 11,000
他会計からの繰入金収入		0	0
他会計からの繰入金収入		0	0
事業活動収入計　（A）	5,937,000	5,134,296	802,704

収支計算書

社団法人　鹿児島県放射線技師会

平成20年4月1日から平成21年3月31日まで

（単位：円）

勘定科目	予算額	決算額	差異
2. 事業活動支出			
(1) 事業費支出	4,115,000	2,919,413	1,195,587
事業対策費	770,000	428,798	341,202
広報活動費	20,000	0	20,000
調査事業費	70,000	0	70,000
講習会対策費	50,000	0	50,000
渉外対策費	50,000	0	50,000
旅費交通費支出	360,000	307,806	52,194
表彰対策費	50,000	0	50,000
出版物頒布費	170,000	120,992	49,008
学術研究事業費	662,000	412,230	249,770
鹿児島県学術大会費	150,000	83,000	67,000
生涯教育セミナー費	100,000	228,230	△ 128,230
学術助成金	60,000	30,000	30,000
管理士部会費	90,000	10,000	80,000
夜間急病センター研修委託費	262,000	61,000	201,000
支部助成金	440,000	440,000	0
鹿児島支部助成金	150,000	150,000	0
川薩支部助成金	50,000	50,000	0
大隅支部助成金	70,000	70,000	0
大島支部助成金	50,000	50,000	0
霧島姶良支部助成金	50,000	50,000	0
南薩支部助成金	70,000	70,000	0
出版事業費	480,000	396,000	84,000
会報印刷費	330,000	396,000	△ 66,000
小冊子印刷費	70,000	0	70,000
ニュース印刷費	80,000	0	80,000
福利厚生費	50,000	0	50,000
慶弔費	50,000	0	50,000
放射線啓発事業費	1,102,000	654,490	447,510
環境測定事業費	200,000	271,000	△ 71,000
ホームページ運営費	100,000	36,000	64,000
放射線展費	100,000	0	100,000
関連団体会議費	652,000	347,490	304,510
放射線管理士事業費	50,000	0	50,000
本部会費負担金	241,000	453,000	△ 212,000
日本放射線技師会費	0	210,000	△ 210,000
九州地域放射線技師会費	241,000	228,000	13,000
過年度日本放射線技師会負担金		15,000	△ 15,000

収支計算書

社団法人　鹿児島県放射線技師会

平成20年4月1日から平成21年3月31日まで

（単位：円）

勘定科目	予算額	決算額	差異
通信運搬費	120,000	79,825	40,175
通信運搬費支出	120,000	79,825	40,175
その他必要経費	250,000	55,070	194,930
保険料	10,000	0	10,000
租税公課支出	120,000	53,070	66,930
雑支出	120,000	2,000	118,000
(2) 管理費支出	1,822,000	1,091,210	730,790
会議費	330,000	268,387	61,613
総会費	200,000	247,898	△ 47,898
理事会費	20,000	7,520	12,480
委員会費	60,000	11,289	48,711
支部長会費	40,000	1,680	38,320
部会会議費	10,000	0	10,000
旅費交通費	810,000	417,720	392,280
会長会議旅費	500,000	286,920	213,080
理事会旅費	40,000	13,500	26,500
委員会旅費	140,000	47,000	93,000
支部長会議旅費	110,000	70,300	39,700
部会会議旅費	20,000	0	20,000
需要費	320,000	76,799	243,201
什器・備品費	100,000	0	100,000
備品管理費	50,000	0	50,000
消耗品費支出	50,000	26,538	23,462
印刷製本費	30,000	20,000	10,000
通信運搬費支出(管理)	50,000	4,911	45,089
夜間急病センター通信費	30,000	20,000	10,000
部会通信費	10,000	5,350	4,650
渉外費	50,000	0	50,000
役員渉外費	50,000	0	50,000
賃貸費	30,000	0	30,000
賃貸料支出	30,000	0	30,000
事務所運営費	184,000	151,904	32,096
維持管理費	100,000	79,358	20,642
事務所雑費	10,000	0	10,000
火災保険料支出	74,000	72,546	1,454
租税公課	53,000	51,900	1,100
租税公課支出(管理)	53,000	51,900	1,100
雑費	45,000	124,500	△ 79,500
雑支出	45,000	124,500	△ 79,500
次年度会費繰越金		154,000	
次年度負担金繰越金		11,000	
事業活動支出計　(B)	5,937,000	4,175,623	1,761,377
事業活動収支差額　(A)－(B)	0	958,673	△ 958,673

収支計算書

社団法人　鹿児島県放射線技師会

平成20年4月1日から平成21年3月31日まで

（単位：円）

勘定科目	予算額	決算額	差異
Ⅱ　投資活動収支の部			0
1．投資活動収入			0
(2) 特定資産取崩収入			0
減価償却引当資産取崩収入	0	0	0
投資活動収入計	0	0	0
2．投資活動支出			0
(2) 特定資産取得支出			0
減価償却引当資産取得支出	0	0	0
投資活動支出計	0	0	0
投資活動収支差額	0	0	0
Ⅲ　財務活動収支の部			0
1．財務活動収入	0	0	0
財務活動収入計	0	0	0
2．財務活動支出	0	0	0
財務活動支出計	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0
Ⅳ　予備費支出	14,107,864	0	14,107,864
当期収支差額	△ 14,107,864	958,673	△ 15,066,537
前期繰越収支差額	14,107,864	14,107,864	0
次期繰越収支差額	0	15,066,537	△ 15,066,537

計算書類に対する注記

(社)鹿児島県放射線技師会　　平成21年　3月31日現在

1．重要な会計方針

(1)固定資産の減価償却について

什器備品、事務所備品、事務所(建物)について:
定額法にて減価償却を行っている。
残存価額は取得価額の10%とする。
減価償却期間について
什器備品及び、事務所備品については6年
不動産に関しては建物は25年

(2)資金の範囲

資金の範囲には、流動資産、流動負債のすべてを含めることにしている。
なお、当期末残高は下記2に記載するとおりである。

2．前年度未払金の1,320,000円(延べ88名分)は日本放射線技師会の負担金であり、この分の収入は直納制となった為、収入が見込めなくなった。そのため未収負担金と未払金を相殺する。

3．次期繰越収支差額の内容は、次のとおりである。

(単位:円)

科　　目	当期末残高		
1．流動資産			
現金預金	14,721,037		
未収会費	476,000		
未収負担金	34,500		
小計		15,231,537	
2．流動負債			
未払金	0		
前受金	165,000		
小計		165,000	
合計			15,066,537
次期繰越収支差額			15,066,537

4. 固定資産の取得価額、取得日、当期減価償却額、累積減価償却額及び、期末評価額については次のとおりである。

科　目	名　称	取得価格	取得日	減価償却回数	当期減価償却額	累積減価償却額	期末評価額
什器備品	DVDレコーダー	96,495	平成15年	6	14,474	86,844	9,651
	ノートパソコン	168,000	平成15年	6	25,200	151,200	16,800
	PCプロジェクター	577,500	平成15年	6	86,625	519,750	57,750
	デジタルカメラ	52,500	平成15年	6	7,875	47,250	5,250
	DVビデオカメラ	94,500	平成15年	6	14,175	85,050	9,450
	財務会計システム	564,200	平成18年	3	84,630	253,890	310,310
	総務用ノートパソコン	117,800	平成19年	2	17,670	35,340	82,460
不動産	建物(事務所)	11,330,000	平成11年	7	407,880	2,855,160	8,474,840
	土地	7,900,000	平成11年	0	0	0	7,900,000

建物:木造スレート葺き2階建て　67.9平米
土地:鹿児島市東坂元4丁目28－11　132.24平米

5. 以下の資産は、減価償却が終了したので除却する。
除却資産リスト

科　目	名　称	期首評価額	除却年月	累積減価償却額	期末評価額
什器備品	サーベイメーター	27,870	平成21年3月	278,718	0
	パソコン一式	52,836	平成21年3月	528,390	0
	ビデオ・デッキ	2,730	平成21年3月	27,300	0
	線量計ケース	3,150	平成21年3月	31,500	0
事務所備品	コピー機	19,200	平成21年3月	192,000	0
	テレビ	3,036	平成21年3月	30,390	0
	エアコン	20,556	平成21年3月	205,560	0
	エアコン	5,330	平成21年3月	53,330	0
	電話機	4,530	平成21年3月	45,330	0
	ベッド	5,980	平成21年3月	59,800	0
	事務机	3,100	平成21年3月	31,000	0
	キャビネット(2)	10,400	平成21年3月	104,000	0
	書架	5,984	平成21年3月	59,840	0
	収納棚	3,400	平成21年3月	34,000	0
	ホワイトボード	3,800	平成21年3月	38,000	0

平成21年　3月31日現在

社団法人　鹿児島県放射線技師会

貸借対照表

平成21年3月31日現在

（単位:円）

科　　目	当 年 度	前 年 度	増　減
Ⅰ. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	14,721,037	15,022,364	△ 301,327
現金	51,150	10,135	41,015
普通預金	2,523,298	1,431,790	1,091,508
定期預金	5,899,000	5,899,000	0
郵便貯金	6,247,589	7,681,439	△ 1,433,850
未収会費	476,000	582,000	△ 71,500
未収負担金	34,500	1,248,500	△ 1,214,000
流動資産合計	15,231,537	16,852,864	△ 1,586,827
2. 固定資産			
(1)基本財産			
土地	7,900,000	7,900,000	0
建物	11,330,000	11,330,000	0
減価償却累計額　△	2,855,160	2,447,280	△ 407,880
基本財産合計	16,374,840	16,782,720	△ 407,880
(2)特定資産			
(3)その他固定資産			
什器備品	3,390,153	3,390,153	0
減価償却累計額　△	2,898,482	2,475,931	△ 422,551
その他固定資産合計	491,671	914,222	△ 422,551
固定資産合計	16,866,511	17,696,942	△ 830,431
資産の部合計	32,098,048	34,549,806	△ 2,417,258
Ⅱ. 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	0	1,320,000	△ 1,320,000
前受金	165,000	1,425,000	△ 1,260,000
流動負債合計	165,000	2,745,000	△ 2,580,000
2. 固定負債			
負債の部合計	165,000	2,745,000	△ 2,580,000
Ⅲ. 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
2. 一般正味財産	31,933,048	31,804,806	162,742
(うち基本財産への充当額)	(16,374,840)	(16,782,720)	(△ 407,880)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
一般正味財産	31,933,048	31,804,806	162,742
正味財産の部合計	31,933,048	31,804,806	162,742
負債及び正味財産合計	32,098,048	34,549,806	△ 2,417,258

＊前年度未払金の1,320,000円は日本放射線技師会の負担金であり、この分の収入は直納制となった為、収入が見込めなくなった。そのため未収金と未払金を相殺する。

正味財産増減計算書

社団法人　鹿児島県放射線技師会

平成20年4月1日から平成21年3月31日まで

（単位：　円）

科　　目	当年度	前年度	増　減
Ⅰ　一般正味財産増減の部			
1．経常増減の部			
(1)経常収益			
受取入会金	30,000	65,000	△ 35,000
日本放射線技師会入会金	30,000	65,000	△ 35,000
受取会費	3,091,000	3,289,000	△ 198,000
鹿児島県放射線技師会会費	2,849,000	2,877,000	△ 28,000
準会員会費	60,000	300,000	△ 240,000
過年度正会員会費収入	28,000	112,000	△ 84,000
次年度正会員会費収入	154,000		154,000
事業収益	873,000	1,031,000	△ 158,000
研修会会費収益	0	0	0
広告収入	530,000	480,000	50,000
環境測定事業収入	343,000	231,000	112,000
技師会創立60周年事業収入	0	320,000	△ 320,000
受取補助金等	294,620	567,400	△ 272,780
受取民間補助金	294,620	567,400	△ 272,780
受取負担金	734,000	6,817,300	△ 6,040,300
日本放射線技師会負担金	210,000	6,045,000	△ 5,835,000
九州地域放射線技師会会費負担金	204,000	206,500	△ 2,500
市医師会負担金	292,000	292,800	△ 800
過年度日本放射線技師会負担金収入	15,000	210,000	△ 195,000
過年度九州地域放射線技師会会費負担金	2,000	9,000	△ 7,000
次年度九州地域放射線技師会会費負担金	11,000		11,000
雑収益	111,676	113,214	△ 1,538
受取利息	1,676	2,214	△ 538
雑収益	110,000	111,000	△ 1,000
前受金		3,015,000	△ 3,015,000
前受会費	*次年度会費へ	1,288,000	△ 1,288,000
前受負担金	*次年度九州負担金へ	1,727,000	△ 1,727,000
前年度繰越前受金収入		72,500	△ 72,500
経常収益合計	5,134,296	14,970,414	−9,836,118

正味財産増減計算書

社団法人　鹿児島県放射線技師会

平成20年4月1日から平成21年3月31日まで

（単位：　円）

科　　目	当年度	前年度	増　減
(2)経常費用			
事業費	2,919,413	11,736,934	△ 8,817,521
事業対策費	428,798	565,412	△ 136,614
広報活動費	0	0	
調査事業費	0	279,400	△ 279,400
講習会対策費	0	39,000	△ 39,000
渉外対策費	0	0	0
旅費交通費	307,806	163,000	144,806
表彰対策費	0	25,568	△ 25,568
出版物頒布費	120,992	58,444	62,548
学術研究事業	412,230	481,920	△ 69,690
鹿児島県学術大会費	83,000	135,920	△ 52,920
生涯教育セミナー費	228,230	272,000	△ 43,770
学術助成金	30,000	20,000	10,000
管理士部会費	10,000	0	
夜間急病センター研修委託費	61,000	54,000	7,000
支部助成金	440,000	420,000	20,000
鹿児島支部助成金	150,000	150,000	0
川薩支部助成金	50,000	50,000	0
大隅支部助成金	70,000	50,000	20,000
大島支部助成金	50,000	50,000	0
霧島姶良支部助成金	50,000	50,000	0
南薩支部助成金	70,000	70,000	0
出版事業費	396,000	433,500	△ 37,500
会報印刷費	396,000	396,000	0
小冊子印刷費	0	0	0
ニュース印刷費	0	37,500	△ 37,500
福利厚生費	0	83,820	△ 83,820
慶弔費	0	30,000	△ 30,000
レクレーション費	0	53,820	△ 53,820
放射線啓発事業費	654,490	765,515	△ 111,025
環境測定事業費	271,000	146,000	125,000
ホームページ運営費	36,000	36,000	0
放射線展費	0	40,388	△ 40,388
関連団体会議費	347,490	543,127	△ 195,637
放射線管理士事業費	0	0	0
本部会費負担金	453,000	8,236,000	△ 7,783,000
日本放射線技師会費	210,000	6,170,000	△ 5,960,000
九州地域放射線技師会費	228,000	227,000	1,000
全国総合学術大会会費	0	54,000	△ 54,000
過年度日本放射線技師会負担金	15,000	195,000	△ 180,000
次年度前受負担金支出	0	1,590,000	△ 1,590,000
技師会創立60周年事業	0	656,779	△ 656,779
記念事業費	0	634,779	△ 634,779
記念誌発行費	0	22,000	△ 22,000

正味財産増減計算書

社団法人　鹿児島県放射線技師会

平成20年4月1日から平成21年3月31日まで

（単位：　円）

科　　目	当年度	前年度	増　減
通信運搬費	79,825	35,590	44,235
通信運搬費	79,825	35,590	44,235
その他必要経費	55,070	58,398	△ 3,328
保険料	0	0	0
租税公課	53,070	57,298	△ 4,228
雑費	2,000	1,100	900
管理費	1,091,210	1,665,235	△ 579,375
会議費	268,387	236,527	31,860
総会費	247,898	212,200	35,698
理事会費	7,520	2,307	5,213
委員会費	11,289	19,500	△ 8,211
支部長会費	1,680	2,520	△ 840
部会会議費	0	0	0
旅費交通費	417,720	707,000	−289,280
会長会議旅費	286,920	571,400	△ 284,480
理事会旅費	13,500	41,000	△ 27,500
委員会旅費	47,000	30,500	16,500
支部長会議旅費	70,300	64,100	6,200
部会会議旅費	0	0	0
需要費	76,799	294,606	△ 223,157
什器・備品費	0	117,800	△ 117,800
備品管理費	0	0	0
消耗品費	26,538	41,521	△ 14,983
印刷製本費	20,000	78,700	△ 58,700
通信運搬費	4,911	36,585	△ 31,674
夜間急病センター通信費	20,000	20,000	0
部会通信費	5,350	0	5,350
記念事業経費	0	0	0
渉外費	0	83,400	△ 83,400
役員渉外費	0	83,400	△ 83,400
賃貸費	0	0	0
賃貸費	0	0	0
事務所運営費	151,904	155,122	△ 3,218
維持管理費	79,358	82,576	△ 3,218
雑費	0	0	0
保険料	72,546	72,546	0
租税公課	51,900	51,400	500
租税公課（固定資産税）	51,900	51,400	500
雑費	124,500	137,180	△ 12,680
雑費	124,500	137,180	△ 12,680
次年度会費繰越金	154,000	1,288,000	△ 1,134,000
次年度負担金繰越金	11,000	92,000	△ 81,000
減価償却費	830,431	916,405	△ 85,974
経常費用合計	5,006,054	15,698,574	△ 10,697,870
当期経常増減額	128,242	△ 728,160	861,752

正味財産増減計算書

社団法人　鹿児島県放射線技師会

平成20年4月1日から平成21年3月31日まで

（単位：円）

科　　目	当年度	前年度	増　減
2. 経常外増減の部			
(1)経常外収益			
当期固定資産増加額		117,800	△ 117,800
経常外収益合計		117,800	△ 117,800
(2)経常外費用			
経常外費用合計			
当期経常外増減額			
当期一般正味財産増減額	128,242	△ 610,360	861,752
一般正味財産期首残高	31,804,806	32,415,166	△ 610,360
一般正味財産期末残高	31,933,048	31,804,806	251,392
Ⅱ　指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増加額			
指定正味財産期首残高			
指定正味財産期末残高			
Ⅲ　正味財産期末残高	31,933,048	31,804,806	251,392

社団法人　鹿児島県放射線技師会

財産目録

平成21年3月31日現在

（単位:円）

科　　目	金　額		
Ⅰ　資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	14,721,037		
現金	51,150		
鹿児島銀行普通預金　675652	2,523,298		
定期郵便貯金	5,899,000		
郵便振替口座　02030-3-12696	6,247,589		
未収会費	476,000		
未収負担金	34,500		
流動資産合計		15,231,537	
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
土地(132.24m^2)東坂元4丁目28-11	7,900,000		
建物(67.9m2)木造スレート葺き2階建て	11,330,000		
減価償却累計額　△	2,855,160		
基本財産合計	16,374,840		
(2) 特定資産			
特定資産合計	0		
(3) その他固定資産			
什器備品	3,390,153		
減価償却累計額　△	2,726,580		
除却による財産減	171,902		
その他固定資産合計	491,671		
固定資産合計		16,866,511	
資産の部合計			32,098,048
Ⅱ　負債の部			
1. 流動負債			
未払金	0		
前受金	165,000		
流動負債合計		165,000	
2. 固定負債			
固定負債合計			
負債の部合計			165,000
正味財産			31,933,048

平成21年度　予算書

1. 収支予算書総括表

自　平成21年4月　1日
至　平成22年3月31日

社団法人　鹿児島県放射線技師会

単位(円)

Ⅰ　事業活動収支の部	
1. 事業活動収入	
会費収入	3,455,000
事業収入	730,000
補助金等収入	300,000
負担金収入	534,500
雑収入	160,000
事業活動収入計	5,179,500
2. 事業活動支出	
(1) 事業費支出	3,567,500
事業対策費	520,000
学術研究事業費	722,000
支部助成金	440,000
出版事業費	440,000
福利厚生費	50,000
放射線啓発事業費	920,000
本部会費負担金	242,500
通信運搬費	123,000
その他必要経費	110,000
(2) 管理費支出	1,612,000
会議費	225,000
旅費交通費	510,000
需要費	480,000
渉外費	50,000
賃貸費	30,000
事務所運営費	184,000
租税公課	53,000
雑費	80,000
事業活動支出計	5,179,500
事業活動収支差額	0
Ⅱ　投資活動収支の部	
1. 投資活動収入	
特定資産取崩収入	658,529
投資活動収入計	658,529
2. 投資活動支出	
特定資産取得支出	658,529
投資活動支出計	658,529
投資活動収支差額	0
Ⅲ　財務活動収支の部	
1. 財務活動収入	
財務活動収入計	0
2. 財務活動支出	
財務活動支出計	0
財務活動収支差額	0
Ⅳ　予備費支出	14,236,864
当期収支差額	△ 14,236,864
前期繰越収支差額	14,236,864
次期繰越収支差額	0

2. 平成21年度 収支予算書

自　平成21年4月 1日
至　平成22年3月31日

社団法人 鹿児島県放射線技師会
単位(円)

勘定科目	次期予算額	当年度予算額	増 減	備考
Ⅰ 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
会費収入	3,455,000	3,694,000	△ 239,000	
正会員会費収入	3,395,000	3,374,000	21,000	7,000×465名＋新入会20名
準会員会費収入	60,000	320,000	△ 260,000	20,000×3社
事業収入	730,000	900,000	△ 170,000	
研修会会費収入	50,000	100,000	△ 50,000	
広告収入	330,000	500,000	△ 170,000	30,000×11社
環境測定事業収入	350,000	300,000	50,000	
補助金等収入	300,000	500,000	△ 200,000	
民間補助金収入	300,000	500,000	△ 200,000	全国・九州会長会議等
負担金収入	534,500	533,000	1,500	
九州地域放射線技師会会費負担金	242,500	241,000	1,500	500×465名＋新入会20名
市医師会負担金	292,000	292,000	0	800円×365日　通信・研修等
雑収入	160,000	310,000	△ 150,000	
受取利息収入	10,000	10,000	0	
雑収入	150,000	300,000	△ 150,000	
事業活動収入計	5,179,500	5,937,000	△ 757,500	
2. 事業活動支出				
(1) 事業費支出	3,567,500	4,115,000	△ 547,500	
事業対策費	520,000	770,000	△ 250,000	
広報活動費(事業)	20,000	20,000	0	
調査事業費(事業)	30,000	70,000	△ 40,000	
講習会対策費(事業)	30,000	50,000	△ 20,000	講習会・研修会等の調査・対策
渉外対策費(事業)	30,000	50,000	△ 20,000	
旅費交通費支出(事業)	190,000	360,000	△ 170,000	大島支部研修会5名参加
表彰対策費(事業)	50,000	50,000	0	
出版物頒布費(事業)	170,000	170,000	0	会報・ニュース等の頒布費
学術研究事業費	722,000	662,000	60,000	
鹿児島県学術大会費(事業)	150,000	150,000	0	
生涯教育セミナー費(事業)	100,000	100,000	0	フレッシャーズ・リーダー育成等
学術助成金(事業)	120,000	60,000	60,000	研究会助成金合算上限　比率制
管理士部会費(事業)	90,000	90,000	0	線管理・機器・医用画像管理士部会費
夜間急病センター研修委託費(事業)	262,000	262,000	0	夜間急病センター派遣員研修委託費
支部助成金	440,000	440,000	0	
鹿児島支部助成金(事業)	150,000	150,000	0	支部研修会助成金
川薩支部助成金(事業)	50,000	50,000	0	支部研修会助成金
大隅支部助成金(事業)	70,000	70,000	0	支部研修会助成金(支部会2回開催)
大島支部助成金(事業)	50,000	50,000	0	支部研修会助成金
霧島姶良支部助成金(事業)	50,000	50,000	0	支部研修会助成金
南薩支部助成金(事業)	70,000	70,000	0	支部研修会助成金(支部会2回開催)
出版事業費	440,000	480,000	△ 40,000	
会報印刷費(事業)	330,000	330,000	0	
小冊子印刷費(事業)	70,000	70,000	0	
ニュース印刷費(事業)	40,000	80,000	△ 40,000	
福利厚生費	50,000	50,000	0	
慶弔費(事業)	50,000	50,000	0	

2. 平成21年度　収支予算書

自　平成21年4月　1日
至　平成22年3月31日

社団法人　鹿児島県放射線技師会

単位(円)

勘定科目	次期予算額	当年度予算額	増　減	備考
放射線啓発事業費	920,000	1,102,000	△ 182,000	
環境測定事業費(事業)	220,000	200,000	20,000	
ホームページ運営費(事業)	100,000	100,000	0	広報委員会/HP充実
放射線展費(事業)	100,000	100,000	0	放射線啓発等
関連団体会議費(事業)	450,000	652,000	△ 202,000	市民健康まつり等
放射線管理士事業費(事業)	50,000	50,000	0	放射線啓発事業
本部会費負担金	242,500	241,000	1,500	
九州地域放射線技師会費(事業)	242,500	241,000	1,500	500×465名＋新入会20名
通信運搬費	123,000	120,000	3,000	
通信運搬費支出(事業)	123,000	120,000	3,000	
その他必要経費	110,000	250,000	△ 140,000	
保険料(事業)	10,000	10,000	0	
租税公課支出(事業)	50,000	120,000	△ 70,000	
雑支出(事業)	50,000	120,000	△ 70,000	
(2) 管理費支出	1,612,000	1,822,000	△ 210,000	
会議費	225,000	330,000	△ 105,000	
総会費(管理)	150,000	200,000	△ 50,000	
理事会費(管理)	15,000	20,000	△ 5,000	
委員会費(管理)	30,000	60,000	△ 30,000	
支部長会費(管理)	20,000	40,000	△ 20,000	
部会会議費(管理)	10,000	10,000	0	
旅費交通費	510,000	810,000	△ 300,000	
会長会議旅費(管理)	300,000	500,000	△ 200,000	
理事会旅費(管理)	30,000	40,000	△ 10,000	
委員会旅費(管理)	80,000	140,000	△ 60,000	
支部長会議旅費(管理)	80,000	110,000	△ 30,000	
部会会議旅費(管理)	20,000	20,000	0	
需要費	480,000	320,000	160,000	
什器・備品費(管理)	300,000	100,000	200,000	
備品管理費(管理)	50,000	50,000	0	備品の修理・管理等
消耗品費支出(管理)	40,000	50,000	△ 10,000	
印刷製本費(管理)	30,000	30,000	0	
通信運搬費支出(管理)	20,000	50,000	△ 30,000	
夜間急病センター通信費	30,000	30,000	0	
部会通信費	10,000	10,000	0	
渉外費	50,000	50,000	0	
役員渉外費	50,000	50,000	0	
賃貸費	30,000	30,000	0	
賃貸料支出(管理)	30,000	30,000	0	リース契約等
事務所運営費	184,000	184,000	0	
維持管理費	100,000	100,000	0	
事務所雑費	10,000	10,000	0	
火災保険料支出	74,000	74,000	0	
租税公課	53,000	53,000	0	
租税公課支出(管理)	53,000	53,000	0	
雑費	80,000	45,000	35,000	
雑支出	80,000	45,000	35,000	

2. 平成21年度　収支予算書

自　平成21年4月 1日
至　平成22年3月31日

社団法人　鹿児島県放射線技師会
単位(円)

勘定科目	次期予算額	当年度予算額	増　減	備考
事業活動支出計	5,179,500	5,937,000	△ 757,500	
事業活動収支差額	0	0	0	
Ⅱ 投資活動収支の部			0	
1. 投資活動収入			0	
特定資産取崩収入			0	
建物減価償却引当資産取崩収入	407,880	407,880	0	
備品減価償却引当資産取崩収入	250,649	508,525	△ 257,876	
投資活動収入計	658,529	916,405	△ 257,876	
2. 投資活動支出			0	
特定資産取得支出			0	
建物減価償却引当資産取得支出	407,880	407,880	0	
備品減価償却引当資産取得支出	250,649	508,525	△ 257,876	
投資活動支出計	658,529	916,405	△ 257,876	
投資活動収支差額	0	0	0	
Ⅲ 財務活動収支の部			0	
1. 財務活動収入			0	
財務活動収入計	0	0	0	
2. 財務活動支出			0	
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
Ⅳ 予備費支出	14,236,864	13,919,619	317,245	
当期収支差額	△ 14,236,864	△ 13,919,619	△ 317,245	
前期繰越収支差額	14,236,864	13,919,619	317,245	
次期繰越収支差額	0	0	0	

（注）1. 借入金限度額　0円
　　2. 債務負債額　0円

平成２０年度監査報告書

平成２１年５月２１日

社団法人　鹿児島県放射線技師会
会　　長　西本　孝市　　殿

社団法人　鹿児島県放射線技師会
監事　鮫嶋　宗俊
監事　西元　広男

社団法人鹿児島県放射線技師会定款第１４条第５項に基づき、平成２０年１１月２０日中間監査ならびに平成２１年５月１４日の２回にわたり、社団法人鹿児島県放射線技師会事務所において、平成２０年度会務監査および会計監査を実施し協議の上、平成２０年度の監査報告書を作成したので、以下のとおり報告する。

記

１．会務監査

業務執行状況の監査に関しては、理事会に出席して担当理事の会務報告ならびに審議事項を聴取するとともに、総会決議事項および理事会の議事録を閲覧した結果、平成２０年度事業計画に基づき順調に執行運営されていることを認める。

２．会計監査

財務状況の監査に関しては、収支計算書ならびに証拠書類などを審査した結果、諸帳簿類の記載ならびに会計処理は間違いなく適正に処理されていることを認める。

以　上

平成２１年度事業計画

本会創立の目的である、診療放射線学および診療放射線に関する技術の向上発展ならびに県民保健の維持発展に寄与するため以下の事業を行う。

１．生涯学習の推進

安全で質の高い医療の提供を求める県民の負託に応えるためには、卒後教育が重要である。また、大きく変化していく診療放射線技術や社会状勢に対応すべく生涯学習の推進に努める。

２．フレッシャーズセミナーの開催

社会人・医療人としての心構えや接遇についての教育を行うとともに、臨床現場ですぐに役に立つ一般撮影・CT・MRI等の研修を行う。

３．レントゲン週間に放射線展ならびに市民公開講座の開催

日本放射線技師会が推進する『国民から見える職業へ』・『期待に応える専門職種として』のスローガンを達成するために、県民と直に接し、放射線技師の業務等を紹介するため、当会独自のイベントを開催する。また、市民公開講座や無料検診を行うことにより、より公益性を高めていく。

４．秋季学術大会を鹿児島地区で開催

秋季学術大会は、隔年毎に各支部の持ち回りで企画・開催しているが、平成２１年度は鹿児島地区で開催する。各支部の持ち回りで開催することにより、支部間の協力体制の強化を図る。

５．リーダー及びリーダー育成研修会

放射線部門のリーダーとして、いかにして優秀な人材を育ていくか、どのように行動することが県民や病院に貢献できるか等の研修会を開催する。また、次代を担うリーダーの育成に努めるとともに施設間の情報の交換を行う。

６．学術大会の開催

第８６回総会時に、会員研究発表およびシンポジウムを開催し、技術の向上を図るとともに、時代に即したテーマについての討論を行う。

７．支部研修会の実施

６支部（鹿児島支部、南薩支部、川薩支部、霧島・姶良支部、大隅支部、大島支部）研修会を支部長の企画において開催する。また、開催の規模や頻度に応じた助成を行う。

8．支部長会議の開催

各支部と県理事との連携を密にするための支部長会議を開催し、会務運営に支部の要望や意見を反映していく。また、各支部の行事等の調整を図っていく。

9．各研究会の実施

各研究会を、それぞれの研究会の企画において実施する。また、研究会が拡大していくための助成を行う。

10．ホームページの活用促進

ホームページを充実し、会員、県民に積極的に情報を発信する。くわえて、公開する情報の拡大を図っていく。

11．各種イベント等への積極的参加・協力

他関係団体との共催である市民健康まつり・健康ハート展・テャリティーグリーンウオーク等に積極的に参加し、他職種との連携を深めるとともに公益法人としての社会的役割を果たす。

12．原子力防災支援

原子力災害時に適正かつ迅速に対応するために必要な研修に出席する。また、県が開催する原子力防災訓練に参画し、放射線に関する専門家としての放射線技師の存在を誇示していく。

13．地域保健協力事業

鹿児島市医師会より委託を受けた鹿児島市夜間救急センター放射線業務に対して、診療放射線技師を派遣する。業務の安全ならびに質の高い画像情報を提供するために必要な連絡調整会議や研修会を開催する。

14．管理士部会による研修会開催

安全で質の高い医療を提供するためには、放射線管理・機器管理・画像情報管理を適正に行うことが不可欠である。これらの管理は、日々の業務の中で継続的に実践することが重要である。より効率的な管理を行ううえで必要な講習会を管理士部会主催で開催する。

15．第25回放射線技師総合学術大会・第12回東アジア学術交流大会の開催

開催県である鹿児島県放射線技師会としての責務を果たすとともに、行政機関や県民に大きなインパクトを与える大会にしたい。また、県技師会の威信にかけて
大成功に導いていく。

１６．定款改正準備

公益法人３法の改正により、社団法人格を維持するためには、新法に基づく社団法人としての認可を受ける必要がある。そのためには定款の改正が必要であるので、平成２４年度末を目標に取り組んでいく。

１７．その他の事業

環境測定事業	各施設からの依頼を受け、環境測定を実施するとともに、放射線施設や機器の安全性に関する指導を行う。
出版事業	会報を２回発行するとともに、緊急連絡が必要な場合にはニュースを発行する。
福利・厚生事業	叙勲や表彰の申請をおこなう。 会員の弔事見舞いを行う。
組織拡大事業	各種の行事に非会員も参加させ、入会の勧誘を行う。
他団体との連携	日本放射線技師会や関連団体と協力し、歩調を合わせて進むことにより連携を強化していく。

平成21年度　予算書

1. 収支予算書総括表

自　平成21年4月　1日
至　平成22年3月31日

社団法人　鹿児島県放射線技師会

単位(円)

Ⅰ　事業活動収支の部	
1. 事業活動収入	
会費収入	3,455,000
事業収入	730,000
補助金等収入	300,000
負担金収入	534,500
雑収入	160,000
事業活動収入計	5,179,500
2. 事業活動支出	
(1) 事業費支出	3,567,500
事業対策費	520,000
学術研究事業費	722,000
支部助成金	440,000
出版事業費	440,000
福利厚生費	50,000
放射線啓発事業費	920,000
本部会費負担金	242,500
通信運搬費	123,000
その他必要経費	110,000
(2) 管理費支出	1,612,000
会議費	225,000
旅費交通費	510,000
需要費	480,000
渉外費	50,000
賃貸費	30,000
事務所運営費	184,000
租税公課	53,000
雑費	80,000
事業活動支出計	5,179,500
事業活動収支差額	0
Ⅱ　投資活動収支の部	
1. 投資活動収入	
特定資産取崩収入	658,529
投資活動収入計	658,529
2. 投資活動支出	
特定資産取得支出	658,529
投資活動支出計	658,529
投資活動収支差額	0
Ⅲ　財務活動収支の部	
1. 財務活動収入	
財務活動収入計	0
2. 財務活動支出	
財務活動支出計	0
財務活動収支差額	0
Ⅳ　予備費支出	14,236,864
当期収支差額	△ 14,236,864
前期繰越収支差額	14,236,864
次期繰越収支差額	0

平成21年度　予算書

自　平成21年4月　1日
至　平成22年3月31日

社団法人　鹿児島県放射線技師会
単位(円)

勘定科目	次期予算額	当年度予算額	増　減	備考
Ⅰ　事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
会費収入	3,455,000	3,694,000	△ 239,000	
正会員会費収入	3,395,000	3,374,000	21,000	7,000×465名＋新入会20名
準会員会費収入	60,000	320,000	△ 260,000	20,000×3社
事業収入	730,000	900,000	△ 170,000	
研修会会費収入	50,000	100,000	△ 50,000	
広告収入	330,000	500,000	△ 170,000	30,000×11社
環境測定事業収入	350,000	300,000	50,000	
補助金等収入	300,000	500,000	△ 200,000	
民間補助金収入	300,000	500,000	△ 200,000	全国・九州会長会議等
負担金収入	534,500	533,000	1,500	
九州地域放射線技師会会費負担金	242,500	241,000	1,500	500×465名＋新入会20名
市医師会負担金	292,000	292,000	0	800円×365日　通信・研修等
雑収入	160,000	310,000	△ 150,000	
受取利息収入	10,000	10,000	0	
雑収入	150,000	300,000	△ 150,000	
事業活動収入計	5,179,500	5,937,000	△ 757,500	
2. 事業活動支出				
(1) 事業費支出	3,567,500	4,115,000	△ 547,500	
事業対策費	520,000	770,000	△ 250,000	
広報活動費(事業)	20,000	20,000	0	
調査事業費(事業)	30,000	70,000	△ 40,000	
講習会対策費(事業)	30,000	50,000	△ 20,000	講習会・研修会等の調査・対策
渉外対策費(事業)	30,000	50,000	△ 20,000	
旅費交通費支出(事業)	190,000	360,000	△ 170,000	大島支部研修会5名参加
表彰対策費(事業)	50,000	50,000	0	
出版物頒布費(事業)	170,000	170,000	0	会報・ニュース等の頒布費
学術研究事業費	722,000	662,000	60,000	
鹿児島県学術大会費(事業)	150,000	150,000	0	
生涯教育セミナー費(事業)	100,000	100,000	0	フレッシャーズ・リーダー育成等
学術助成金(事業)	120,000	60,000	60,000	研究会助成金合算上限　比率制
管理士部会費(事業)	90,000	90,000	0	線管理・機器・医用画像管理士部会費
夜間急病センター研修委託費(事業)	262,000	262,000	0	夜間急病センター派遣員研修委託費
支部助成金	440,000	440,000	0	
鹿児島支部助成金(事業)	150,000	150,000	0	支部研修会助成金
川薩支部助成金(事業)	50,000	50,000	0	支部研修会助成金
大隅支部助成金(事業)	70,000	70,000	0	支部研修会助成金(支部会2回開催)
大島支部助成金(事業)	50,000	50,000	0	支部研修会助成金
霧島姶良支部助成金(事業)	50,000	50,000	0	支部研修会助成金
南薩支部助成金(事業)	70,000	70,000	0	支部研修会助成金(支部会2回開催)
出版事業費	440,000	480,000	△ 40,000	
会報印刷費(事業)	330,000	330,000	0	
小冊子印刷費(事業)	70,000	70,000	0	
ニュース印刷費(事業)	40,000	80,000	△ 40,000	
福利厚生費	50,000	50,000	0	
慶弔費(事業)	50,000	50,000	0	

2. 平成21年度　収支予算書(案)

自　平成21年4月 1日
至　平成22年3月31日

社団法人　鹿児島県放射線技師会
単位(円)

勘定科目	次期予算額	当年度予算額	増　減	備考
放射線啓発事業費	920,000	1,102,000	△ 182,000	
環境測定事業費(事業)	220,000	200,000	20,000	
ホームページ運営費(事業)	100,000	100,000	0	広報委員会/HP充実
放射線展費(事業)	100,000	100,000	0	放射線啓発等
関連団体会議費(事業)	450,000	652,000	△ 202,000	市民健康まつり等
放射線管理士事業費(事業)	50,000	50,000	0	放射線啓発事業
本部会費負担金	242,500	241,000	1,500	
九州地域放射線技師会費(事業)	242,500	241,000	1,500	500×465名＋新入会20名
通信運搬費	123,000	120,000	3,000	
通信運搬費支出(事業)	123,000	120,000	3,000	
その他必要経費	110,000	250,000	△ 140,000	
保険料(事業)	10,000	10,000	0	
租税公課支出(事業)	50,000	120,000	△ 70,000	
雑支出(事業)	50,000	120,000	△ 70,000	
(2) 管理費支出	1,612,000	1,822,000	△ 210,000	
会議費	225,000	330,000	△ 105,000	
総会費(管理)	150,000	200,000	△ 50,000	
理事会費(管理)	15,000	20,000	△ 5,000	
委員会費(管理)	30,000	60,000	△ 30,000	
支部長会費(管理)	20,000	40,000	△ 20,000	
部会会議費(管理)	10,000	10,000	0	
旅費交通費	510,000	810,000	△ 300,000	
会長会議旅費(管理)	300,000	500,000	△ 200,000	
理事会旅費(管理)	30,000	40,000	△ 10,000	
委員会旅費(管理)	80,000	140,000	△ 60,000	
支部長会議旅費(管理)	80,000	110,000	△ 30,000	
部会会議旅費(管理)	20,000	20,000	0	
需要費	480,000	320,000	160,000	
什器・備品費(管理)	300,000	100,000	200,000	
備品管理費(管理)	50,000	50,000	0	備品の修理・管理等
消耗品費支出(管理)	40,000	50,000	△ 10,000	
印刷製本費(管理)	30,000	30,000	0	
通信運搬費支出(管理)	20,000	50,000	△ 30,000	
夜間急病センター通信費	30,000	30,000	0	
部会通信費	10,000	10,000	0	
渉外費	50,000	50,000	0	
役員渉外費	50,000	50,000	0	
賃貸費	30,000	30,000	0	
賃貸料支出(管理)	30,000	30,000	0	リース契約等
事務所運営費	184,000	184,000	0	
維持管理費	100,000	100,000	0	
事務所雑費	10,000	10,000	0	
火災保険料支出	74,000	74,000	0	
租税公課	53,000	53,000	0	
租税公課支出(管理)	53,000	53,000	0	
雑費	80,000	45,000	35,000	
雑支出	80,000	45,000	35,000	

2. 平成21年度　収支予算書(案)

自　平成21年4月　1日
至　平成22年3月31日

社団法人　鹿児島県放射線技師会

単位(円)

勘定科目	次期予算額	当年度予算額	増　減	備考
事業活動支出計	5,179,500	5,937,000	△ 757,500	
事業活動収支差額	0	0	0	
Ⅱ　投資活動収支の部			0	
1. 投資活動収入			0	
特定資産取崩収入			0	
建物減価償却引当資産取崩収入	407,880	407,880	0	
備品減価償却引当資産取崩収入	250,649	508,525	△ 257,876	
投資活動収入計	658,529	916,405	△ 257,876	
2. 投資活動支出			0	
特定資産取得支出			0	
建物減価償却引当資産取得支出	407,880	407,880	0	
備品減価償却引当資産取得支出	250,649	508,525	△ 257,876	
投資活動支出計	658,529	916,405	△ 257,876	
投資活動収支差額	0	0	0	
Ⅲ　財務活動収支の部			0	
1. 財務活動収入			0	
財務活動収入計	0	0	0	
2. 財務活動支出			0	
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
Ⅳ　予備費支出	14,236,864	13,919,619	317,245	
当期収支差額	△ 14,236,864	△ 13,919,619	△ 317,245	
前期繰越収支差額	14,236,864	13,919,619	317,245	
次期繰越収支差額	0	0	0	

(注) 1. 借入金限度額　0円
2. 債務負債額　0円

第84回社団法人鹿児島県放射線技師会通常総会議事録

・日時：平成21年3月15日（日）　10時00分～11時00分

・場所：鹿児島県歴史資料センター黎明館　講堂
〒892-0853　鹿児島市城山町7－2

総会次第

1．開会の辞
2．会長挨拶
3．資格審査
4．議長団選出
5．議事録署名人選出
6．議事
　議案第1号
　平成21年度事業計画案に関する件
　議案第2号
　平成21年度収支予算案に関する件
　議案第3号
　平成21・22年度役員選挙に関する件
　議案第4号
　その他
7．議長団解任
8．その他
9．閉会の辞

・日時：平成21年3月15日（日）10時00分～11時00分
・場所：鹿児島県歴史資料センター黎明館　講堂
　　〒892-0853　鹿児島市城山町7－2
・正会員数　458名（平成21年3月1日　現在）
・出席会員数　76名　委任状数　158名　合計　234名
・出席者氏名　別記

1．開会の辞
池田睦副会長による84回総会開会の辞が行われた。

2．会長挨拶
西本孝市会長の挨拶が行われた。

3．資格審査
永田隆二総務理事より正会員数（平成21年3月1日現在）458名のうち出席76名、書面表決者158名、合計234名が出席し、過半数以上にあたるため本総会は成立したことを認める旨の報告が行われた。

4．議長団選出
会場からの立候補はなく、執行部一任との発言により、正議長に鹿児島厚生連病院の原口宏典氏、副議長に昭南病院の小浜剛氏を推薦し、満場一致で選出した。

議長登壇

5．議事録署名人選出
会場からの立候補はなく、執行部一任との発言により、新村栄次理事、西元辰也理事を推薦し満場一致で選出した。

6．議事
1）議案第1号　平成19年度事業計画案
西本孝市会長より別冊配布した総会資料により説明が行われた。

2）議案第2号　平成19年度収支予算案
西元辰也財務理事より別冊配布した総会資料により説明が行われた。
ここで、西本会長より、平成21年6月に鹿児島県で開催される全国放射線技師

総合学術大会の予算見通しについての補足説明がなされた。

＊最近の世界的経済状況の悪化に伴い、参加登録者数の減少による参加費収入の減・協賛企業の減少など、厳しい状況であり参加登録者の数によっては、鹿児島での大会も赤字になりそうである。前年の札幌での同大会では500万円の赤字決済であり日本放射線技師会と北海道放射線技師会で負担額等を含めて、協議が引き続きなされている。

したがって、鹿児島での大会が赤字決済となった場合、鹿児島県放射線技師会の繰越金が現在約1,400万円あり、これは先輩方が積み上げてこられた大切な財産であるが、全国放射線技師総合学術大会も40～50年に一度の大変なイベントであることをご理解いただき、鹿児島県放射線技師会一般会計の予備費から負担することも含め、今総会で十分ご審議願いたい。

正議長：議事議案第1号から議事議案第2号までの質疑を受けた。

質疑がないため、採決により挙手多数で議事議案第1号及び議事議案第2号は承認された。

3）議案第3号　平成21・22年度の役員選挙に関する件

永田隆二総務理事より、任期満了に伴い、役員選挙規定に基づいて選挙がおこなわれる旨の説明がなされた。

副議長:役員選挙について質疑を受けた。

質疑がないため、瀬戸和人選挙管理委員長より役員選挙について報告が行われた。

選挙管理委員長：

役員任期満了となり、全員が退任することになった。そこで、平成21年2月会報109号に平成21・22年度役員選挙の公示を掲載した結果、平成21年3月8日午後5時までに立候補・推薦候補あわせて12名の届出があった。候補者が役員定数を超えなかったことより、役員選挙規定の第4章第10条無投票当選に当てはまり候補者12名を当選者とする旨の報告が行われた。

続いて立候補者の氏名が読み上げられた。

理事　鹿児島市立病院　西本　孝市
理事　川内市医師会立市民病院　大久保　光男
理事　今給黎総合病院　新村　栄次
理事　鹿児島大学病院　池田　睦
理事　鹿児島大学病院　藤﨑　拓郎
理事　鹿児島大学病院　中島　裕二
理事　鹿児島大学病院　豊田　雅彦
理事　鹿児島市医師会病院　冨松　正明
理事　鹿児島厚生連健康管理センター　原口　誠
理事　南風病院　石本　裕二
監事　田平整形外科クリニック　鮫嶋　宗俊
監事　元鹿児島信用金庫　西元　広男

副議長：議事議案第３号の質疑を受けた。

質疑がないため、採決により挙手多数で議事議案第３号は承認された。

４）議案第４号　その他
副議長：執行部並びに会場からの意見・提案を求めた。

：垂水中央病院・島児氏より質問
先日、川内で行われた原子力防災訓練に参加させていただいたが、県技師会として今後も支援・参加するのであれば、技師会の名称・マーク等の付いた白衣を用意すると、県民や他の団体へのアピールにもなるのではないか？

：西本会長より返答
仰せのとおりであり、県民や他の団体へのアピールにもなるので検討いたしたい。

：高原病院・塔尾氏より質問
フレッシャーズセミナーの話があったが、新人教育において規模の大きい技師数の多い病院では出席しやすいが、地方や技師数の少ない病院ではなかなか出席できない場合も多いので、地方との連携強化を行なっていただけると組織率も上がるのでは？と思うが、県技師会の見解をお聞かせ願いたい。

：西本会長より返答

日本放射線技師会もE－ラーニングシステムの導入により学習の裾野を広げる方向であるし、鹿児島県放射線技師会としても、技師会主催の講習会・勉強会等があった場合、講師の承諾を得てメディアを作成して各支部に配布しメディア講習を行なう、など地方との連携・教育に注力できるよう検討したい。

それ以上の質疑はなし。

7．議長団退席

8．その他

その他、執行部・会場からは特になし。

9．閉会の辞

承認された新役員の挨拶が行われ、本総会は終了し、池田睦副会長による閉会の辞が行われた。

平成21年3月25日

正　議　長　原口宏典

副　議　長　小浜　剛

議事録署名人　新村栄次

西元辰也

議事録作成　永田隆二

平成21年3月31日
社団法人鹿児島県放射線技師会

会　長　西本孝市

第85回社団法人鹿児島県放射線技師会通常総会

・日時：平成21年6月20日（土）15時30分～16時30分

・場所：鹿児島県歴史資料センター　黎明館2階講堂
〒892-0853　鹿児島市城山町7－2

総会次第

1．開会の辞
2．会長挨拶
3．資格審査
4．議長団選出
5．議事録署名人選出
6．議事
　議案第1号
　　平成20年度会務報告に関する件
　議案第2号
　　平成20年度決算報告に関する件
　議案第3号
　　平成20年度監査報告に関する件
　議案第4号
　　その他
7．議長団解任
8．その他
9．閉会の辞

・日時：平成21年6月20日（土）15時30分～16時30分
・場所：鹿児島県歴史資料センター　黎明館2階講堂
　　〒892-0853　鹿児島市城山町7－2

・正会員数　460名（平成21年6月1日現在）
・出席会員数　48名　委任状数204名　合計252名
・出席者氏名　別記

総会開始

1．開会の辞
池田睦副会長による第85回総会開会の辞が行われた。

2．会長挨拶
西本孝市会長の挨拶が行われた。

3．資格審査
藤崎拓郎学術理事より正会員数（平成21年6月1日現在）460名のうち出席48名、書面表決者204名、合計252名が出席し、過半数以上にあたるため本総会は成立したことを認める旨の報告が行われた。

4．議長団選出
会場からの立候補はなく、執行部一任との発言により、正議長に昭南病院の小濱剛氏、副議長に今村病院の直竜貴氏を推薦し、満場一致で選出した。

議長登壇

5．議事録署名人選出
会場からの立候補はなく、執行部一任との発言により、池田睦副会長、石本裕二理事を推薦し満場一致で選出した。

6．議事
1）議案第1号　平成20年度会務報告
西本孝市会長より事業報告（総括）が行われた。
永田隆二氏（前総務理事）、新村栄次学術理事、冨松正明広報理事、大久保光男福利厚生理事より別冊配布した総会資料により活動報告が行われた。

2）議案第2号　平成20年度決済報告
西元辰也氏（前財務担当理事）より別冊配布した総会資料により説明が行われた。
3）議案第3号　平成20年度監査報告
西元広男監事より別冊配布した総会資料により説明が行われた。

正議長：議事議案第1号から議事議案第3号までの質疑を受けた。
質疑がないため、採決により挙手多数で議事議案第1号及び議事議案第3号は承認された。

議長交代

4）議案第4号　その他
副議長：執行部並びに会場からの意見・提案を求めたが、発言がなかったので議事終了を宣言した。

7．議長団退席

8．その他
総合司会：その他について会員及び執行部より発言を求めた。

西本孝一会長より
1）第25回放射線技師総合学術大会報告及び謝辞があった。（一部会長挨拶に含む）
2）第67回日本放射線技師会総会について
・平成20年度事業報告・決算報告、平成21年度事業計画・予算案等の報告があった。
・「分かりやすく、開かれた、信頼される運用」を目指し、e-ラーニング整備状況、AIの取組み等の報告があった。
・医療従事者の免許更新制度の導入は時間的、物理的に困難であり、導入は当分ないとの報告があった。
・第24回学術大会（札幌大会）の決算処理について
赤字額500万円の3分の2を日放技、3分の1を北海道が負担する。
これまでの学術大会の収支等に関して約束事がなかったため、学術大会あり方検討委員会を行う予定である。委員会に札幌大会を含んで検討するか否かにつ

いて議論となった。

総合司会：その他について会場からの質疑を求めた。

質疑応答以下

会員：放射線管理士、放射線機器管理士の更新に関する問合せは中央（日放技）にすればよいのか、県の部会にすればよいのか？

会長：県の部会長にお願いします。

会員：更新した場合は自動的に中央（日放技）の部会員になるのか？

会長：特に中央の方から話はないが、県の部会員には自動的になります。

3）平成21年度第2回理事会において鹿児島県技師会会長の互選決議の報告後、西本孝一現会長より退任挨拶、池田睦新会長（現副会長）より就任挨拶があった。

9．閉会の辞

池田副会長による閉会の辞が行われた。

平成21年7月14日

正　議　長　小　濱　　剛

副　議　長　直　　竜　貴

議事録署名人　池　田　　睦

石　本　裕　二

議事録作成　豊　田　雅　彦

平成21年7月24日

社団法人鹿児島県放射線技師会

会　長　池　田　　睦

（社）鹿児島県放射線技師会

平成21年度　第1回　理事会　議事録

平成21年4月9日（木）　18:00～20:30
（社）鹿児島県放射線技師会事務所

出席者
監事　鮫嶋宗俊
理事　西本孝市　池田睦　大久保光男　藤崎拓郎　新村栄治　石本裕二
　　中島裕二　富松正明　原口誠　豊田雅彦

議事録署名人
　西本孝市　豊田雅彦

＜報告事項＞
1．全国学会の準備状況について
2．川薩支部の支部長選出について
　支部長の業務引継ぎがなされておらず、事実上活動できていないので、新たに支部長を任命する。
　引継ぎを考えると、過去の理事経験者の中から選出

＜議題＞
1）理事の役職について
　会長は、全国学会も控えており、引き続き西本孝市氏に決定。
　新会長提案の役職（案）のとおり各役職は以下のように決定。

会長	西本　孝市	
副会長	池田　睦	
監事	鮫嶋　宗俊	
監事	西元　広男	
総務担当	原口　誠	（HP作成委員）
総務担当	豊田　雅彦	
財務担当	中島　裕二	
学術担当	藤崎　拓郎	
学術担当	新村　栄次	
学術担当	石本　裕二	
広報編集担当	冨松　正明	

福利厚生担当　　大久保　光男

2）第85回通常総会について

日時：平成21年6月20日（土）

場所：黎明館

特別講演・・・　14：00～15：00

講師は

万田先生（食についての講演・タイトル未定）

大久保理事に依頼してもらう

第2候補も検討（大学病院の西郷技師の留学報告など）

総会・・・・・　15：30～16：30

3）フレッシャーズセミナーについて

例年6月の開催であったが、全国学会・通常総会も6月であり時期を変更する

秋のリーダー育成研修会と同日に開催

9月27日（日）大学病院の講義室をお借りする

午前中：フレッシャーズセミナー

9:00開始

接遇、一般撮影、CT、MRIの内容で開催

接遇・・・・・・・・・　プラスピュアの野口順子さんに依頼予定。

その他に関しては学術の方に人選を依頼。

MRI・・・・・・・・　藤﨑氏または浮田氏

CT・・・・・・・・　新村氏

消化管・超音波・・・　石本氏

12:00～13:00支部長会議

午後：リーダー育成研修会

14:00開始

研修会の内容については、検討事項

医療監視についての講演はどうか？（2演題ほど）

候補・・鹿児島市中央保健所の高野さん

西本（弟）さん

4）その他

臨床工学技師会から（石本理事）

5月24日（日）臨床工学技師会の研修会に当技師会から1名、講師依頼があった。

鮫嶋監事から

公益社団法人化への本格的活動を開始しなくてはならない
プロジェクトチームの立上げ等、検討してはどうか？

次回理事会の日程

６月１０日（水）

議事録作成　総務担当　豊田雅彦　印

議事録署名人　副会長　池田　睦　印

総務担当　豊田雅彦　印

（社）鹿児島県放射線技師会
平成21年度　第2回　理事会　議事録

平成21年6月10日（水）　18:30～20：30
（社）鹿児島県放射線技師会事務所

出席者

西本　孝市　　池田　　睦　　大久保光男　　藤﨑　拓郎　　新村　栄治　　石本　裕二
中島　裕二　　富松　正明　　原口　　誠　　豊田　雅彦

議事録署名人

西本　孝市　　豊田　雅彦

＜報告事項＞

（1）　第25回放射線技師総合学術大会報告

参加登録（事前：1116名、当日：1225名）　懇親会（事前：293名、当日：330名）
決算：中間報告では約137万円の黒字だが、未払い分を含んでの報告。
マンモの申込みが約130人あり、60名を抽選。当日何名受診されたかは情報が収集できていない。
実行委員打上げ　6月20日　18：00～　城山観光ホテルを検討中。

（2）　第67回日本放射線技師会総会　　6月6日（土）　　13：00～17：00

・平成20年度事業報告・平成20年度決算報告
・平成21年度事業計画・平成21年度予算案
e-ラーニング整備状況、公益法人化等についての報告があった。
医療従事者の免許更新制度の導入は時間的、物理的に困難であり、導入は当分ないとの事。

（3）　第24回学術大会（札幌大会）の決算処理について

赤字額の3分の2を日放技、3分の1（約170万円）を北海道が負担する。
学術大会の収支等に関して約束事がなかったため、学術大会あり方検討委員会を行う予定である。委員会に札幌大会を含んで検討するか否かについて議論となった。

＜議題＞

（1）　第85回鹿児島県放射線技師会通常総会・特別講演について

日時：平成21年6月20日（土）
場所：黎明舘

・特別講演　14:00～15:00

「食と農に吹く風」　萬田　正治先生　　司会：池田理事

・総会　15:30～16:30

議長：小浜氏（大隈支部）　　副議長：鹿児島支部より選出

司会：鹿児島市立病院より選出

（2）フレッシャーズ・セミナー

日時：平成21年9月27日（日）9:00～12:00　理事集合時間　8：00

場所：大学病院　第4講義室

＜セミナー内容＞

接　遇　：野口順子先生（プラスピュア）

C　T　：CT検討会（新村理事）にて選出

消化管 超音波：石本理事

マンモ　：馬場氏（今給黎総合病院）

（3）支部長会議

日時：平成21年9月27日（日）12:00～13:00

場所：大学病院　3階カンファルームを予定

（4）リーダー研修会

平成21年9月27日（日）13：30～15：30

場所：大学病院　第4講義室

① 医療監視のチェックポイント　折田氏に依頼予定

② 診療報酬制度について　鍵谷氏（エルク）に依頼予定　（市立病院から依頼）

（5）第26回市民健康まつり

平成21年10月25日（日）10:00～15:00　搬入日：10月24日（土）集合は午後

場所：アリーナ

（6）会報第110号の発行について（9月発行予定）

学術大会特集　各担当　印象記　7月末に原稿締切り　原稿用紙1～2枚程度

（7）レントゲン週間イベントについて

日時：11月7日（土）　場所未定（大学で場所を検討）

内容：パネル展示予定であるが、次回理事会までに各自、人が集まるイベントを考える。

（8）会長の互選について

6月20日通常総会より　池田理事（鹿児島大学）に会長を互選。それに伴う役職分担は後日決める。

（9）鹿児島県秋季学術大会　（担当　鹿児島支部）

日時：11月14日（土）

場所：南風病院　ＡＮＮＥＸ　Ⅰ

その他

・ ホームページの契約を6月で更新。
・ 放射線治療と緩和ケア（9月）　川内医師会三木先生より県技師会に後援依頼。
・ 次回理事会の日程
　8月7日　18：30　　理事会後暑気払い　場所未定（大久保理事で検討）

議事録作成　　総務担当　　豊　田　雅　彦

議事録署名人　会長　　西　本　孝　市

総務担当　　豊　田　雅　彦

開会式の挨拶

組織委員会
委員長　西本孝市

この度、第２５回放射線技師総合学術大会並びに第１２回東アジア学術交流大会を鹿児島県放射線技師会の担当で開催できますことを光栄に存じます。

また、ご来賓の皆様のご臨席のもと、開会式を執り行うことができますことは、多大なる慶びであります。ご来賓の皆様におかれましては、公私共にご多忙の中、ご出席賜り、篤くお礼申し上げます。

さて、サブプライムローンの破綻に端を発したアメリカ発の金融危機の影響は、当初の予測をはるかに超える勢いで全世界を経済危機に陥れました。この影響は、医療界また医療機器メーカーにとりましても例外ではなく、厳しい状況下にさらされております。

くわえて、大会開催間際には追い打ちをかけるように、新型インフルエンザの流行により、事前参加登録の取り消しが相次ぎ、開催そのものが危ぶまれ、非常に危惧致しておりました。事実、延期になった学会もあると聞いております。このような状況下にも関わらず、事前登録者数は千名を超え、本日、開会の日を迎えることができ安堵致しております。

本大会におきましては、特別講演２題・シンポジウム５題・モダリティー別技術セミナー７題・市民公開講座１題を企画致しております。この他、敷地内で『乳がん無料検診』を実施致します。また、一般演題１９７題、インターナショナルセッション２１題の申込みがあり、内容的には充実したものになっていると思っております。

私ども医療従事者の使命は、患者が満足する医療を提供することであります。そのためには日々研鑽を重ね、技術的・人間的に向上することが不可欠であります。本大会が有意義で、また、明日からの診療の糧となることを願って止まないところであります。

また、当県は、風光明媚な観光地、また、豊かな食に恵まれております。学術大会は土曜日で終了致しますので、その後は、鹿児島を満喫していただきたいと思います。また、大会期間中の夜の街もお楽しみくださいますようお願い致します。

万事、おこたりなく準備を整えてきたつもりではありますが、不行き届きの点がありますことは、私に免じてお許し願いたいと思います。

最後になりましたが、開催に向けてご指導・ご支援を賜りました、日本放射線技師会・都道府県放射線技師会、並びに関連企業の皆様に、組織委員会を代表致しまして篤く御礼を申し上げまして、開催にあたってのご挨拶といたします。

学術大会を終えて

組織委員長　西　本　孝　市

まず初めに、第２５回放射線技師総合学術大会並びに第１２回東アジア学術交流大会が無事終了しましたことをご報告致します。

本大会は経済不況及び新型インフルエンザの流行という最悪の環境下での開催となりました。参加者は国内会員1,１５７名、海外３７名であり、懇親会参加者は招待者を除き３０２名となりました。鹿児島県会員の参加者は１２８名、参加率にすると２８％となり、県技師会員の皆様の意識の高さと組織力の強さを改めて認識致しました。

開催にあたっては、組織委員１７名、実行委員２９名で企画・準備を進めてきました。平成１９年８月３１日の第１回組織委員会開催を皮切りに、合計２３回の組織委員会にて検討を重ねてきました。２３回のうち３回は実行委員会と合同で開催し、大会当日の担当会場や業務分担について詰めてまいりました。また、日本放射線技師会との意思疎通を図るため合計４回の会議をもちました。

開会式に先立ってのオープニングセレモニーでは、鹿児島大学学友会管弦楽団 OB・OG の皆様によるバッハとモーツァルトの弦楽四重奏、また、ハープとフルートによる二重奏では歌の翼に・アルルの女よりメヌエットが演奏され、優雅なコンサートとなりました。

開会式は、鹿児島県副知事、鹿児島市副市長、韓国・台湾から参加の代表者、日本放射線技術学会長、JIRA 副会長の方々のご臨席のもと、厳粛且つ滞りなく執り行われました。

大会は、医療機器メーカーや薬品メーカー様よりの労務提供者３６名を加え、総勢８２名のスタッフにより運営され、滞りなく進行致しました。懇親会は城山観光ホテルにて３００名を超す参加があり、和気あいあいの中親睦も深まりました。霧島九面太鼓を堪能してもらうとともに、焼酎のお楽しみ抽選会では一喜一憂の歓声や溜息が漏れました。

万時怠りなく準備を進めてきたつもりではありましたが、初日が終わるまでは緊張の連続でした。しかし、懇親会が終了しますと緊張も解れ、二日目からは流れるように進行したように思っています。懸念材料出ありました収支面でもバランスがとれ、県技師会からの拠出金も不要となり安堵致しております。学術大会の開催は、４０～５０年に一度の大イベントであり、県技師会の歴史に新たな一ページを刻んだものと信じています。

最後に、長期にわたる準備から開催にご尽力いただきました組織委員の皆様、大会当日にご支援いただきました実行委員・労務提供者の皆様、多数の参加をいただきました県会員の皆様、並びに開催に向けてご指導賜りました日本放射線技師会・ご支援賜りました都道府県技師会・協賛メーカー各位に篤くお礼を申し上げまして印象記と致します。

第25回放射線技師総合学術大会 印象記

実行委員長　池　田　　睦

県民交流センターで第25回放射線技師総合学術大会が終了して、すでに2ケ月になろうとしている。

2年前の石川県の学術大会視察から始まり、組織委員会の立ち上げ、学会開催日の決定、運用の方法の選択等、考えなければならない事項は数限りなかった。

石川の学術大会視察時では、会場の規模もそれほど大きくなく、1施設に留まらず、数会場が散在する形をとっていた。鹿児島においては県民交流センターを利用することで、ほぼ、6～7会場を用意することができると考えた。また、1年前の札幌大会では、メイン会場の大きさに驚かされ、各会場とも余裕の大きさ、数の多さに驚かされた。果たしてここまで必要なのかと感じた覚えがある。

札幌大会を終えて、いよいよ本格的に鹿児島大会の準備をしなければならなくなった。組織委員長の西本会長はじめ総務の隈さん、永田さん、財務の西元さんの頑張りで、鹿児島大会の骨組みを作成してもらい、組織委員会がそれを実現に向けて取り組むという形を取り始めた。組織委員会構成委員は鹿児島県放射線技師会の理事が占めていたので、理事会の中の議案という事で学術大会の話し合いを行ってきた。ただ、それ以外にも組織委員長、総務、財務に関しては細かな打ち合わせが本部事務局やコングレとの間で終始交わされていた。

学術大会の懸念事項は数多くあるが、1番の問題は収支、2番目は運営方法、3番目は参加人数である。学術大会の運用方法については、鹿児島市で何度も大きな学術大会を開催した経験があるために、それほどの心配はしていなかった。要は学術発表が滞りなく進行するような手順作りを行えば、発表自体は問題なく行える。ただ、式典や技師会本部主催の会議やシンポジウムが細かな打ち合わせが必要になり、手順や決まり事を何度も確認する必要がある。その点、総務の隈さんが非常に頑張ってくれて、準備から当日の学術大会運営がスムーズに進みました。最も心配なのは収支の問題です。折しも100年1度にという世界的な不況と重なり、放射線機器関連メーカー、薬剤メーカーさん等の企業収益が激減し、学術大会運営の協力を得る事が非常に困難になりました。さらに、昨年末からの新型インフルエンザの世界的な流行が生じ、国内においても感染拡大の抑制措置の関係で、6月までの間で他の学術大会の延期や中止が相次ぎました。本学術大会の開催も危ぶまれた状態での開催でした。

収支に関しては、財務の西元さんが予算書を細かに何度も修正してくれました。また、当初予定していた予算も、前年の札幌大会の赤字決済を確認したのち、下方修正を加え、学会支援会社の可能な限りの撤退とそれに代わる運用方法の再検討を行ないました。そういう努力が実って、第25回放射線技師総合学術大会は無事大過なく終了することができた。これもひとえに組織委員や実行委員の皆様、また、不況の折、

鹿児島県放射線技師会に、お忙しい中にもかかわらず、お手伝いいただきました放射線機器関連メーカーや薬剤メーカーの皆様のおかげだと感謝しています。誠にありがとうございました。今回、実行委員長という肩書だけで、実際にはほとんどの実務は、組織委員長はじめ総務、財務の市立病院の方々 にお願いしてしまいました。この場をお借りしましてお礼申し上げます。

学術大会終了後、日本放射線技師会は、放射線技師総合学術大会の運用において、検討委員会を立ち上げました。これまでの学術大会開催にあたって、放射線技師会で学術大会の運用規定なるものが定められていませんでした。先の札幌大会の赤字決算にしても補填はどうするのか、責任の所在等が明確ではなかったことが先の大会終了後のゴタゴタを未だに引きずっている原因だとも思います。

第 1 回の検討委員会が 7 月下旬に開催されました。学術大会運用の方法や開催準備金の有無、またその額、その他いろいろな問題をこれから審議していかなければなりません。組織委員の方、実行委員の方で学術大会運営に関しご意見がありましたら私の方までよろしくお願いいたします。

長々 と綴ってまいりましたが、第25回放射線技師総合学術大会の印象記を終わります。また、この場を借りて、これからも放射線技師会活動にご協力のほど、よろしくお願いいたします。

総務担当・第25回放射線技師総合学術大会印象記

鹿児島市立病院　永　田　隆　二

第25回放射線技師総合学術大会に組織委員（総務担当）として運営に参加し、無事終えることが出来たことにホッとしています。

西本組織委員長・池田実行委員長をはじめ、組織委員・実行委員の皆様の頑張りで大変充実した学術大会になったと思っています。

総務担当の大きな仕事としては本部（日本放射線技師会）との連絡があります。一番大変な役割ですが、そこは隈さんが一手に引き受けてくださり、日本放射線技師会と組織委員会の連携がしっかりととれた良い関係で運営できたと思います。

隈さん、本当にご苦労様でした。

事前の準備としては、組織委員会の開催、実行委員の依頼、機器展示・ランチョンセミナーのお願い、座長依頼、そしてそれらの依頼状の作成・送付・・・etc。隈さん、原口さんに多大な協力をいただきながら日々黙々とPCに向かい、いつになったら終わるのだろう・・・という思いと、時間がない！！という矛盾した焦りに追われる毎日でした。

大会前日も夜遅くまで、懇親会の打ち合わせ（城山観光ホテル）、大会の鐘の運搬、ランチョンセミナー・運営委員のお弁当の手配などなど、技師会事務所で西元さん、隈さんとミニ組織委員会を開き、その時点でも解決していない問題が山積みだったことが印象に残ります。

財務に関しても西元さんを中心に、

① 参加登録数の予想が当初より少なくなった。
② 世界的不況で企業の協力（機器展示・ランチョンセミナーetc）が、なかなか見込みの数に達しなかった。
③ 直前に流行した新型インフルエンザの影響。

といった苦境により、度重なる予算の下方修正に苦しんで、苦しんで・・・。

しかし柔軟に対応し、西本組織委員長にはコンベンション業者のコングレさんに直前に業務縮小の連絡をしていただく等、嫌な仕事も引き受けていただきました。

組織委員・実行委員の皆様の仕事はその分だいぶ増えましたが、最終的に若干（ほんの若干）ではありますが収支が黒字であったのはすごいことだと思います。

私自身、大会期間中は、一言で言うと「嵐のような3日間」でした。
始まってみないと解らない新たな問題が続出で、無線に振り回されながら、とにかく走り回りました。もう県民交流センターについては、端から端まで、裏の裏まで（各会場はもちろ

ん、楽屋・控え室・リハーサル室・・・・そしてそれらを結ぶ最短ルート）知らないことは無いぐらい、とにかく走り回った3日間でした。

各会場で発生する問題点の解決に向かったり、空調の温度管理のお願いに何度も事務局に足を運んだり、体調不良者を救護室に連れて行ったり・・・・。

一番大変だったのは、各国代表者による代表者会議に用意したミネラルウォーターが、ぬるくて飲めない・・・との指摘をうけ（韓国代表より）、急遽ドリンクコーナーで冷やして会議開始ぎりぎりに交換したことでした。

また、最終日には会場の鍵を返却する時間ぎりぎりまで、各部屋の後片付け・チェックのため原口さんとセンター内を走りまわりました（結局時間を超過してちょっと叱られましたが・・・）。さらに時間を超過して部屋を明け渡した某団体の山のようなゴミに呆然とし、フタバさん（運営業者さん）に処理していただけるよう頼み込んで、原口さん・西元さんと一緒に、私の車で運んだり・・・。とにかく最後の最後まで息の抜けないスリルと興奮？？？の3日間でした。

各会場担当、受付担当の皆さんもそれぞれいろんな問題が発生したと思いますが、柔軟に対応して頂き感謝しています。本当にお疲れ様でした。

また、至らない所もいっぱいあった私たちの運営に理解を示してくださり、大きな心でバックアップしてくださった西本組織委員長・池田実行委員長には、本当に感謝しております。

第25回放射線技師総合学術大会の運営に関わったすべての皆様、参加されたすべての皆様に感謝して私の印象記とさせていただきます。

第２５回放射線技師総合学術大会　印象記

受付・財務担当　西　元　辰　也

受付業務の印象としては、とにかく初日は何が何だかわかりませんでした。開始前8時30分、実行委員と挨拶をする間もなく参加者の登録が始まり（組織委員の登録も行う暇もないくらいでした）そのまま、昼2時くらいまで何をしていたかわからないくらい（領収書の発行しかしてないですが）忙しかったです。

日放技の方に後で聞いてみると初日からこんなに受付に来るのは前代未聞だそうです。かなり驚いておられました。

「こんなに領収書が必要なのだろうか」というくらい領収書が出ました200通分の領収書を用意していたのですが1日目で150通以上の領収書の需要がありました。参加登録証に領収書は印刷してあったのですが、これではだめなのでしょうか？疑問に思いながら、1日目は、ほんとに前を向いて仕事をしてなかったです。

領収書発行用のPCとプリンターをもう一台用意する必要があったのではないかと思いました。受付の責任者として、他の業務が全くできなかったのが心残りです。

懇親会の時は、1人先に城山観光ホテルに行き受付の準備を行いました。

そのうち応援の方が来てくれて皆様を迎えたのですが19時半になっても遅れてくる方がいらっしゃるのでなかなか受付を空けられずそのまま終演となりました。九面太鼓、抽選会の音だけ受付で聞いていました。仕事だと諦めて外に座っていました。そのうち皆様が出てきました。「終わったんだなー」と思いました。

それよりも、翌日以降の領収書が足りないと思い心配しました文房具屋は開いてないし翌日も買いに行く暇はないと思い懇親会後、市立病院に鹿児島県放射線技師会の買い置きの領収書を永田さんと一緒に夜中に取りに行きました。お疲れさまでした。

2日目は、座長の仕事が2件入っていたので受付業務を原口さんに、午前中から昼2時ぐらいまでお願いしました。この時間は、受付でもなく、学会参加でもない中途半端な時間を過ごしていました申し訳ないと思いながら座長の準備をしていたように思います。

その後は、原口さんの邪魔をしないように受付にもどって仕事を見ていました。

さすがに2日目は受付の業務は少なくなっていました。安心しました。

この頃で領収書の発行枚数は200枚弱です。まだ余裕があります（前日200通分持ってきましたので）原口さんお疲れさまでした。

3日目は、さすがに忙しくはありませんでした。付け加えると、原口さんが領収書の発行関係を覚えていただいていたので仕事自体は楽になりました。感謝です。

しかし、日本放射線技師会の総会がありその準備にボランティアセンターに行き氷の準備が大変でした。受付の仕事ではなく、日本放射線技師会総会の準備という想定外の仕事に追

われていました。このような仕事ができたのも、それだけ受付が落ち着いていたというか原口さんの活躍でしょうか。午後からは、総会に参加するために会場を離れました、後始末を人任せにしてしまい、とても申し訳なく思います。
これが受付に関する感想です。

財務面に関しては、今現在、残務処理を行っておりまだ終わっていません。
機器展示オプション経費、ランチョン関係経費がすべて振り込まれていない状態です。
その後、８月中に鹿児島県の監査を行って、日放技に提出し、厚労省に提出の予定です。

当初、予算面ではコンベンション会社が持ってきた予算から始まっています。
当初は２，２００名以上の参加者、機器展示５０小間を見込んでいたので黒字予定でした。
コンベンション会社がすべて行い、実行委員はあまりすることがない状態でした。
その後、去年の札幌大会の結果報告（５００万赤字）が入ってから参加人数の大幅な下方修正（１，５００名参加）を強いられ、予算の組み直しを行った。その際、コンベンション会社の下請けが地元の企業だったので直接依頼することにし、中間マージンのカットを出来るだけ試みました。そのため組織・実行委員の仕事は増える結果になり、皆様には非常にご迷惑をかける結果となりましたことをこの場を借りてお詫びいたします。
一方、実行委員の数が確保できない状況でもありましたので、当初予算には計上がなかった人件費もアルバイトを雇うことを想定し、計上しました。また、突然の必要・経費が出てくる可能性があった為、会場費に組み込み、結果予算上の出費が多くなってしまいした。
このように予備費をそれぞれの科目に含ませていた結果、予算上２００万程度の赤字となりました。（しかし、含みを持たせたつもりだったので、赤字は少ないと思っていました。）
これで、大会に挑むことになりました。

結果、収支はまだ正式に終わっていませんが、黒字でした。実行委員の皆様、組織員の皆様、そして鹿児島県の会員の皆様とても感謝しています。ありがとうございました。
お疲れ様でした。

第25回放射線技師総合学術大会印象記

第1会場担当　新　村　栄　次

放射線技師学術大会の鹿児島開催が決定した時、本当に実現できるのだろうかと思ったのが最初の印象でした。前年度の開催地北海道に視察に行き、会場の規模の大きさと実行委員の多さに驚かされました。鹿児島でも組織委員会が召集されるようになると、世界的な不況が押し寄せ医療機器メーカー・医薬品メーカーへの影響が大きく、学会運営としては赤字覚悟のスタートでした。しかし、組織委員の全員の努力により開催にこぎ着けました。私自身、全国規模での学術大会は初めての経験で不安を抱えての開催となり、さらに新型インフルエンザの流行が発生し、国内では学会等が中止や延期になる団体も出てきて、本学術大会も危ぶまれながらの開催となりました。

第1会場では、日本放射線技師会の主催で、表彰式、開会式、シンポジウム、閉会式が行われ、鹿児島放射線技師会の担当でオープニングセレモニー、特別講演が行われました。我々第1会場担当は時間に合わせて段取りし順調に会場設営をしていきました。

オープニングセレモニーでは、鹿児島大学管弦楽団による弦楽四重奏やハープ、フルートが奏でられ、優雅な演奏を堪能することができました。個人的には音量が少し小さいような気もしました。

特別講演1では、落語家三遊亭歌之介師匠により「感謝のプラス志向」と題しご講演いただきました。一般の皆様も含めほぼ満員の会場で、歌之介師匠の鹿児島弁による講演にもかかわらず、会場は笑いの渦に包まれて私自身涙を拭きながら笑っていました。

特別講演2では、鮫島吉廣先生に「焼酎」のご講演をしていただきました。蒸留酒は高いアルコール度で飲まれるのが一般的ですが、焼酎は清酒と同等もしくはお湯割りで薄めて飲むのが一般的でどんな料理にも合い、世界的にもまれで健康的な蒸留酒の世界を作り出したようです。またおいしい焼酎の飲み方を教えていただき、焼酎好きにはたまらない講演だったと思います。

私が担当した技術セミナーCT「多列CTの血管撮影法」は、当初座長・講師はシニア格以上と難しい人選でしたが、組織委員会の意向を汲んでいただき、また九州CT研究会の応援を受け開催することができました。当日、会場は立ち見が出るほどの大盛況で、座長、講師の皆様には感謝いたします。

放射線技師総合学術大会は大成功で終了しましたが、各会場の連絡用に持っていたトランシーバーから聞こえてきた実行委員長の池田さん、総務の隈さん、永田さん、会計の西元さんの声が今でも耳に残っています。

第一会場の会場設営にご協力いただいた組織委員、実行委員の皆様、会場担当の馬場さん、永山さん、労務提供していただいたコニカミノルタの宮崎さん、島津の田中さん有難うございました。

この放射線技師総合学術大会を通して、鹿児島県放射線技師会の結束の強さを感じました。

第25回放射線技師総合学術大会印象記

第2会場　石　本　裕　二

鹿児島県放射線技師会が学術大会を受諾したときは、前会長の鮫島会長（前鹿児島市立病院技師長）のときであったが、あれから月日が経つのも早いものであっという間に学術大会は終了した。当初私は、鹿児島県放射線技師会の理事になったばかりで上の空のように聞いていましたが、県技師会の学術担当を職務している以上、全うしなければならないことに気づかされる日々が会議をもつごとに感じられてきました。

私が、学術大会にむけ与えられた役割として一番つらかったことは、座長やシンポジストの方々の選任をするときでした。現状の日本放射線技師会ではシニア資格でないとこの分野は担当できないことになっており、私を含め多くの担当者が頭を抱えていたことが印象に残っています。確か、締め切りを過ぎても提出できていなかったのは私1人だったような気がします。これに伴い総務担当の隈さん（鹿児島市立病院）には、大変ご迷惑おかけしたと思っております。これらの全国大会を成功させるにあたり、できる限りのご協力はしたつもりでありますが、西本組織委員長をはじめ池田実行委員長、総務の隈さん、永田さん、財務の西元さんは大変苦労なさったと推察しています。紙面をお借りしてご苦労様といいたいです。とにかく苦労はあったものの無事学術大会を終えることができ、この大きな大会に携わったことができたことに大変感謝したいと思っています。

さて、私は学術大会の3日間では第2会場を担当させていただきました。担当された方々は私を含め5～6人の構成で会場を担当しました。日頃から技師会で活動している仲間の皆さんでありメーカーの方々にもご協力いただき何事もなく3日間が無事終了してほっとした次第でした。皆さんが共通していっていたのは、慣れない立ち仕事で足が痛いことだったでしょうか・・・・(笑)

第2会場では、第1会場と同じく初日から最終日までスケジュールが組まれており、特に初日のCTセッションでは、会場内は満席に近い状態でした。特に2日目のCTの技術セミナーでは、容易した椅子に座りきれず、追加で椅子を出しても足らず、立見がでるくらいの反響で参加者として200名程入られておられたのではないかと思っています。参加された方々にゆっくりと見ていただくことができず反省するところでした。現状のCTに関する注目度の現れだと改めて体験し、日常このモダリティーに携わっていない自分にもどかしさを覚えております。多列化するCT装置はまだ、発展途上の段階でありFPDのCT装置や10年後にはどうなるのか・・・？と考えると想像もつかない状況です。

第2会場の印象記としてかいてみましたが、この大会を通じて鹿児島県放射線技師会の結束がさらに強くなったような気がします。平成23年度には、九州地域放射線医療技術学術大会が鹿児島にて開催されます。この結束さをさらにバネにして、また成功させていただきたいと思います。簡単ではありますが、学術大会の印象記として書かせていただきました。皆様、ご苦労様でした。また、ありがとうございました。

放射線技師学術大会印象記

第3会場・大研修室　　鹿児島厚生連病院　　石　山　重　行

第3会場・大研修室の責任者として3日間携わらしていただきましたが、組織委員の皆さんに比べたらあまり仕事もしなかったような気がします。池田実行委員長をはじめ隈さんや他の組織員の皆さんには頭が下がります。大会が済んで今考えれば会場責任者としてのことと超音波技術セミナーのコーディネーターとしての思い出になります。

第3会場は1日目、午前中のみMRIとCTの一般演題でした。2日目、午前はマンモグラフィーの技術セミナーと消化管の一般演題、ランチョンセミナーをはさんで午後九州地域企画、超音波の技術セミナー続けて超音波の一般演題と9時から6時近くまでと盛りだくさんでした。3日は午前中のみで血管造影の技術セミナーでした。やはり2日目が大変で発表が詰まっていたのもありましたが、超音波技術セミナーは前セッションとの間が全くない状況で超音波装置を持ち込んでの実技を予定していましたので心配しました。業者の方の協力で装置の設置場所やベッドの位置等を前日に決めテーピングしていました。その結果、発表に問題ないくらいの短い準備時間で済みました。

個人的に大変だったのがやはり超音波のセミナーでした。プログラムの編集委員会の時から何をやるか、誰に頼むかというのがあり“できれば九州の人たちで”と考えたのですがシニアクラス問題でつまずき最後は関東の3名にお願いして決めました。誰もいなければ自分でも発表しなければと思ったのですがシニアを取っていなかったためだめでした。今度は座長を誰にするかで困りましたが紹介で大分の方にお願いしました。内容は今話題になっている頚部血管、下肢血管、消化管についてプレゼンテーションの後実技行なうということにしました。お願いした技師の方々は忙しいのにもかかわらず快く引きくけてくださり、また、装置をお借りした業者の方も装置の提供からセッティングまでしてくださり大変助かりました。

この大会で感じたことは色々な方に助けられたということと、シニアとかマスターとか資格を取得していないと何にもできないと実感した大会でした。

最後にミスはありましたが第3会場のスタッフが良く動いてくれたことに感謝しています。最初は実行委員会がなかなく開かれずどうなっているのか心配でしたが、組織委員のおかげですばらしい大会が開くことができました。その1人として関われたことをうれしく思います。

第25回放射線技師総合学術大会印象記

第4会場担当　平　賀　真　雄

第25回放射線技師総合学術大会 in 鹿児島が開催され、もう2ヶ月が過ぎ本当に月日の立つのは早いものだなと思っています。

私が今学会に関わったのは、昨年の1月頃からで7月には視察団の1員として第24回放射線技師総合学術大会（北海道）にも参加さえて貰いました。

その後は組織委員会に数回参加しましたが、ほとんどを鹿児島県放射線技師会の理事の皆さんが準備をされ本当に大変だったろうと思っています。

学会では第4会場の担当となり、一般演題では『被曝管理』『リスクマネージメントペイシェントケア』『画像情報』『装置管理』『MR』などのセッションが開催され、最近ほとんど超音波や透視検査しかしていない私にとっては非常に良い刺激になりました。また、International Session も開催されましたが、英語が苦手の私には本当にチンプンカンプンで前日遅くまで呑んでいたこともあり、睡魔との戦いで大変でした。

その他には大規模災害対策委員会シンポジュームも開催され、基調講演として『鹿児島県における災害対策』各シンポジストの『阪神淡路大震災を経験して』『台風23号による大規模水害を経験して』『中国・四川大地震での救援活動を経験して』などの今まではテレビのニュースでしか知らなかった事にも体験を通じての報告を聞ける機会を得て非常に勉強になりました。私の病院も災害指定病院になっていますが、本当にシンポジストの方々が体験した様な災害が起こった場合、充分な対応が出来るのかと不安に思いました。

私事ですがこの大会がありました3週間後の6月27、28日に、日本超音波検査学会も同じ会場である、かごしま県民交流センターで開催され、同じ月に全国大会を2大会開催することに関わることになり、今までの私の技師人生の中でも初めての経験でした。本当にハードな1ヶ月を無事過ごすことができ、これも私の職場の仲間の協力と理解があって初めて出来たことであり、この場をお借りしまして感謝の気持ちを伝えたいと思います。

やはり今回経験させて頂きました、学会を運営するということは本当に大変なこともたくさんありますが、やはりやりきったという充実感ものこるものです。

今後もこのような機会がありましたら積極的に参加したいと思います。

第25回放射線技師総合学術大会 第5会場印象記

薩南病院　下　吉　則　孝

大会を終えて、第5 会場で印象に残ったものと言えば、あの思わぬアクシデントだったと思います。次のセッションに（CT）待ちで、会場前には多くの参加者が並んでいる中、ランチョン終了直後に参加者が急に倒れ、救急車を呼ぶ騒ぎとなった。一時期は会場内は騒然とした状態であったが、医療従事者としての、周りの方々の迅速な対応もあり、搬送先の病院では、無事に回復されたと聞き安堵しましたが、当日の会場内は参加者が多く冷房も殆ど効かない状況で、かなり蒸し暑かったのも体調不良の一因となったのかも知れません。その後10分遅れで開始したCT セッションは、かなりの人気で、会場内は、溢れんばかりの参加者で、メジャーな部門であることを痛感しました。

また、不安の一つであったインターナショナルセッションでは、ＰＣセンターへの登録がなかったり、発表間際に直接会場のＰＣ担当へ持って来たりとか、発表者が見えないので、もう「取り消しにしましようか」とＪＡＲＴ本部の中澤先生に確認している途端に来場したりとか、最後までハラハラ・どきどきのセッションでした。会場担当者としては、かなりルーズな印象を受けました。（・・後で聞くところによると、インターナショナルセッションは、毎年こんな感じだ、とのことであったが・・）

大会全体を通じて、当初は検討もつかない不安な気持ちが大きく、４月からの異動により、なかなか、組織委員会にも出席出来なかったりではあったが、大会が近づくに連れて、除々にハッキリと見えてきて、技師会の組織力の強さを感じました。第５会場担当として、会場スタッフの足りない不安もありましたが、会場スタッフの協力の下、三日間の大会を無事に終えることができました。頼りない組織委員ではあったが、本大会へ少しでも関わることが出来たことに感謝しています。 最後に組織委員長をはじめ組織委員・実行委員の方々には色々 とご指導を頂き有り難うございました。

第25回放射線技師総合学術大会印象記

第6会場担当　島　児　末　治

鹿児島県民交流センターにて6月4～6日の3日間、放射線技師総合学術大会が開催された。当初、開催に当たり、不況により医療機器・医薬品メーカーの賛同や新型インフルエンザの流行の影響を危惧する意見もあったが大盛況の中、無事終了した。大会運営の準備委員会には遠方の為、会議に参加できない事も多かったが組織委員会の共通メールにて情報を入手しながら意見交換を行う中で学術大会開催に向けての意気込みが伝わり、役員の一人としての責務を痛感した。

大会に当たり、大隅支部学術担当理事3名が実行委員として参加をさせて頂いた。市外組織強化委員の具体的活動として、大隅支部の会員に準備委員会の経過報告と学術大会への参加を促すことであった。私は、学術大会では第6会場を担当させて頂いたが、第1日目は、日本放射線技師教育学会の役員との打ち合わせの甲斐あって午前中は無事終了した。その後、無線にて第2会場のランチョンへの応援要請があり参加者の座席の追加準備と終了後の座席の片付けをスタッフと共に行った。第2日目は、放射線管理士部会・日本公衆安全学会・日本医用画像管理学会があり、開催当日に各責任者との打ち合わせを行い要望に沿った学会となるよう備品やスクリーンを用意した。また、途中で座長の役割もあり他のスタッフと交代し滞りなく遂行できた。第5会場で気分不良により来場者が救急搬送となり会場が騒然としていた為、我々も会場に向かった。会場整理や他の会員の誘導を行い研究発表は滞りなく終了した。第3日目は、機器管理士部会があり運営の打ち合わせや備品を前日より常備していた為、スムーズに進行した。

学術大会を振り返り、少ないスタッフで効率良く運営できたのも大会運営に向け準備委員会での綿密な打ち合わせと同時に大会を成功させるという使命感に燃え各人が協力し合った賜物と考える。さらに、大会運営が黒字になった事は総務・財務の方々がコスト削減に向け一生懸命企画を模索された結果と感謝致します。

今回、全国規模の学術大会は県技師会の会員にとって誇れるイベントだったと高く評価すると共に実行委員として参加させて頂いた事に深く感謝します。

総合学術大会　印象記（第７会場）

第７会場責任者　野　中　康　博（菊野病院）

平成２１年６月４日から６日の３日間、県民交流センターにて総合学術大会が開催されました。第７会場は示説会場となっておりポスターでの発表が４８演題ありました。

会場が総合受付のお向かいで幅広の通路になっており、通り沿いの大ホールは機器展示会場、奥は第２会場（中ホール）で主にシンポジウムの会場として人の往来が激しい場所でありました。位置的にも会場の中央であるため、１階からの連絡通路（エレベーターが隣接）にもなっており、通る方々からは各会場の案内やトイレ、駐車場などの問い合わせまで担当以外の対処が多かったのが印象的でした。特に県外からの演者、座長、参加者は面識がなく戸惑いもあり、今考えてみますと学会に関係ない一般の方の対応も中には数名いたのではないかと思います。会場の位置関係も手助けし、三日間通してこの通路（第７会場）は大盛況でありました。ひとつの会場をまかされたおかげで、またポスター一枚に全国の会員がこれほど熱く討論しあう姿を間近に接することができて全国学会に参加した実感が大きく沸きました。慣れないリクルートスタイルのスーツ、ズボン、ネクタイ... さすがに一日のほとんどを革靴を履いたままでは限界に陥り二日目からこっそりトレシューに代えさせていただきました（情けない限りであります）。

全国規模の学会になると準備も大変で１年以上前から会を支えた実行委員会、特に市内所属の方々には開催当日まで大変な思いをされたことと思います。改めて敬意を表したいと思います。次回、何十年後かわかりませんが総合学術大会が鹿児島で開催するときは協力の要請をお願いいたします。身体の続く限り協力したいと思います。

第25回放射線技師総合学術大会に実行委員として参加して

鹿児島大学病院　臨床技術部放射線部門　藤　﨑　拓　郎

第25回放射線技師総合学術大会に、実行委員として私はPCセンターの役割で参加した。当初、PCセンターの人員配置は、実行委員としては私1名のみで、後は、舞研さんのスタッフ8名の配置人数であった。全国レベルの学術大会でもPCセンターを経験していたが、その時は学生さんの手伝いをもらい6名ぐらいの配置と記憶している。学会の規模は違うとは言えとても1名では対応できないが、舞研さんが受付も手伝って下さるのだろうと、後で確認しようと考えていた。そしたら、舞研さんの方から受付まではできないので、PCセンターの受付担当人数を増やすように申し出があった。平日でただでさえ少ないのに実行委員をやりくりしてもらい、今給黎総合病院の福崎さん、大学病院の小屋さん、労務提供である富士メディカルの三木さん等を配置してもらい、取り敢えず日ごとに何とか3名をもらい対応する事になった。又、PCセンターから各セクションの受付状況等を会場責任者へ連絡するため、第4会場の責任者へも無線の配備をお願いした。少ない人数でスムーズな受付の作戦として、テーブル毎に各日の演者受付カードを置けば、すぐに見つけやすくなると考えて、テーブルが1つしかなかったため、後2つを本部の方に無理やりお願いした。今思えば、本部総務の実行委員の方は、毎晩徹夜気味の準備で疲れているところに、うるさい奴を担当にしてしまったと思っていた事でしょう。この場をお借りしてお詫び致します。その他の作戦として、2名はPC受付業務に専念してもらい、私は連絡係とトラブル対処係、その他補助として担当することにした。心配される当日の朝9時開始のセクションについては遅れないように配慮し、混んだ場合は状況に応じて、私が声を出して9時開始セクション以外の方は受付を制限して、9時開始のセクションを優先して受付、PCチェックをしてもらい、会場まで案内する予定でいた。又、その他、混んでいる場合、当日以外の受付は、私に振ってもらい私が受付する事とした。学会当日は、1、2回声を出して優先的にチェックを行ってもらったが、担当者のお陰で遅れることなくスムーズにPC受付できたと思われる。担当者の皆様に感謝しています、有難うございました。

長くなり申し訳ありませんが、もうひとつ気がついた点として、無線連絡について、当初PC受付完了したセクションの報告は、無線で会場責任者に報告しないことになっていたが、実行委員長の要望もあり報告する事になった。やはり組織委員長を含め本部の方は進行状況を確認しておきたいと思われます。自分としても1日中PCセンターにいるため、何をやっているのかが分からないので、たとえば会場ごとの進行状況とか、各セクション終了報告など無線でみんなに報告した方が一体となって運営しているという実感があり良いのではと思います。その成果は、会場で会員が倒れた際、エレベーターの確保の連絡があった時、1Fのエレベーター前にすぐに飛んで行って乗り込みの制限を行ったが、受付担当の実行委員の方も駆けつけて来ました。

以上、長々と書きましたが、PCセンター受付の立場から報告します。これらが次の学会時の参考となれば幸いです。

第25回放射線技師総合学術大会機器展示印象記

機器展示会場担当　坂　下　周一郎

去る6月4～6日、鹿児島県民交流センターにて放射線技師総合学術大会が盛大に開催された。

私は、当初、発表会場を担当と聞き、北海道まで視察に行かせてもらったが、実際蓋を開けてみると、なんと機器展示担当になっていた。なんとも難しい部署になってしまった。マニュアルも無く、視察でも、全くのノーマークで、北海道でも一技師として展示会場を回っていた。メインの仕事は、展示ブースの設営、備品の手配であったが、県理事の方におんぶにだっこ状態で、当日を迎えた。

第一日目、展示ブースの設営は、前日の設営で準備万端、あとは、オープニングセレモニー、テレビでよく見るテープカットである。双葉さんにいろいろアドバイスを頂きながら何とか無事？終了できた。テープカットも何かと奥の深いもであると思った。メインのイベントが終わると、第二会場と機器展示会場を行ったり来たりしながら、視察者も多く一日目は、機器展示会場の戸締りをして、懇親会場に向かった。

第二日目、学会メインの日である。機器展示会場も朝から大盛況であった。しかし、事件はおこった。ランチョンで人が倒れたと無線で連絡が入った。慌てて会場に行って見ると、人だかりが出来ていて、応急処置が行われていた。一番動ける実行委員として、初めて、救急車に乗って、市立病院の救急部へ行った。救急部は隈さんの迅速な対応であった。そのまま、その日は過ぎって行った。展示会場が気にはなったが、うまく取りまとめてくれていた。不謹慎ではあるが、初の体験を数多く経験した一日であった。

第三日目、機器展示会場も人数が少なくなり、休憩や雑談をする姿が目立ったが、中には熱心にメーカーさんの説明をきいている方や、書籍コーナーで本を探す人の姿もあった。昼前には、人の姿もまばらになり、静かに撤収作業が始まり、市民公開講座が始まるころには、運送会社を待つまでに片付いていた。

三日間をとして機器展示に関して、展示に協力していただいたメーカーの方々にこの場を借りてお礼申し上げると共に、引き続き技師会へのご協力申し上げます。

最後に、大会期間中はもちろん、準備期間も、ご尽力いただいた実行委員の団結力を称えると共に、鹿児島県放射線技師会のますますの繁栄をおし乗り申し上げます。

懇親会印象記

大久保　光　男

懇親会は、城山観光ホテルのエメラルドホールにて、海外からの参加者も交え盛大に開催された。当初参加者が少ないのではと心配したが、県内会員および協賛メーカーの方々に多数参加していただき３３０名の懇親会となり、ホット胸をなでおろしました。

会場では、焼酎の水割りやソフトドリンクなどウエルカムドリンクで、開宴までの時間を楽しんでいただいた。

１８時　西元組織委員長による歓迎の挨拶に始まり、来賓挨拶の後県技師会の鮫島監事の乾杯で開宴となった。県内の焼酎や各県から贈られた焼酎・日本酒を飲みながら薩摩料理は勿論、和・洋・中華料理など多彩な料理を堪能していただき、中でも屋台での揚げたてのさつまあげ、鶏飯などが特に人気であり海外からの参加者にも、好評であった。

アトラクションは、霧島市の九面太鼓保存会による、霧島神宮の宝物として保存されている九つの天狗面をつけて太鼓を打ち鳴らし、神話「天孫降臨」を再現し演じる九面太鼓の演奏である。宴が盛り上がり、演奏者の紹介アナウンスも聞き取れにくいなかで、演奏が始まると音の迫力、そして荘厳さ・勇壮さに参加者の注目を引きつけ、演奏が終わると会場から盛大な拍手が送られた。

ひき続き、幻の焼酎と言われる銘柄を景品に抽選会を行った。西本組織委員長の抽選により当選番号が読まれると、会場内は溜息と当選者への拍手で大いに盛り上がり、最後の景品は森伊蔵、抽選は北村大会長が行い会場内は一段と盛り上がり、当選番号が読まれ当選者がステージに上がると、更に大きな拍手が送られ大盛況であった。抽選会は景品代など予算的に厳しい状況ではあったが、参加者に懇親会を楽しく過ごしてもらうために池田実行委員長の提案で実施された。

なお当日は天気にも恵まれ、城山からの桜島や錦江湾、鹿児島市街地の素晴らしい眺望にも、参加者の方々には満足していただけたと思います。

第２５回放射線技師総合学術大会　印象記

組織委員　隈　　浩　二

第25回放射線技師総合学術大会を無事終えましたことに、まず皆様に感謝申し上げます。

この学会は、全国というより、地方の会員の結束をみる学会ではないかと思います。準備から学会終了まで、たくさんの方々にお手伝い頂きました。本当に有難うございました。
本音を申しますとここまで出来ないと思っていました。組織委員、実行委員はしょうがなくでも参加してくれるだろう、鹿児島の会員は、興味があれば参加してみるか？地元だし！というくらいのものではないかと思っていましたが、たくさんの方々が参加してくださり、運営側としましてが、非常にびっくりしていました。

今回、総務担当として、2大会前の金沢大会から視察を兼ねて参加し、北海道大会は、
マンモグラフィ講習会のため参加出来ませんでしたが、今大会まで非常に長かったでした。
当直明けは、ほとんど、県民交流センターへ通い、鹿児島コンベンション協会へ資料やポスターなどを取りに行ったり、城山観光ホテルへも何度となく足を運びました。今回は、鹿児島県放射線技師会の理事では有りませんでしたので、西本会長、総務の永田さん、原口さん、財務の西元さんの理事の仕事でバタバタしているときは、自分が動かねばと思い、がむしゃらに学会準備をしていました。北海道大会が終わり、理事の方々もだんだん本気モードになってきまして、それから最終予算の作成作業をコンベンション業者と土日も関係なくやり取りし、その情報を逐次西本組織委員長、西元財務担当に報告しながらの毎日でした。業務中も電話は頻繁にかかり、その対応でも苦労しました。業務終了後は、連絡をしなければならない場所やさまざまなことを一つ一つと思い、毎晩取り組んできました。座長の選出、打診などは、組織委員の方々にお世話になりました。有難うございました。鹿児島担当の依頼状発送100通以上は、永田さんと手分けして発送しまして、非常に助かりました。永田さん有難うございました。また、予算関係も他の組織委員が印象記で述べているように非常に大変でした。2月には、組織委員長の代わりに、ＪＡＲＴ理事会へ出席した際は、収支についてどのようになるかを説明しまして、赤字をいかに少なくするかを問題提起されながら落ち込んで帰ってきたのを覚えています。それから西元さんとは、顔を合わす度に、あの項目をどうするか？どのようにしたら経費を下げられるか？などを練り練りながら本大会に臨みました。このような下準備を続けながら、特別講演の三遊亭歌之介さんや鮫島教授、オープニングコンサートの方々、地元コンベンション業者（フタバ）や舞研さんとのの最終調整を整えながら本大会に突入しました。

今大会の企画・運営もしました。まず、特別講演が２つ、モダリティー別技術セミナー（ＣＴ，マンモ、治療、超音波、血管造影、消化管、デジタルマンモモニタ診断）の７つ、市民公開講座、乳がん検診デモ車展示など盛りだくさんの企画で開催されました。
私が企画しました、モダリティーセミナー（乳房）では、朝早くからたくさんの会員が聴講してくれました。マンモグラフィへの関心が高いことが示されました。演者には、精中委の立場から宇治病院の井本厚志先生を京都から迎えて、精中委の活動とデジタルマンモグラフィの精度管理についてのテクニカルセミナーでした。また久留米第一病院の中原博子先生

には、マンモグラフィの基礎であるポジショニングについて、上手に撮影するコツを解りやすく解説していただきました。

デジタルマンモグラフィモニタ診断セミナーでは、福井県立病院の西出裕子先生と長崎市立市民病院の時田善博先生に進行をしていただき、５ＭＰモニタを５企業から借用して、マンモグラフィ教材は、相良病院の田口俊樹先生にご提供いただき、１例づつ解説付きで開催されました。最後に、精度管理の実際について講義して終了した。

市民公開講座は、午前中、会場庭園でマンモグラフィ検診車を乗り入れ、60名対象に無料乳がん検診を実施しました。お一人残念ながら乳がんが見つかりました。午後からは、県民ホールにて市民公開講座が開催されました。演者には、①疫学、臨床について、九州がんセンター 乳腺外科部長　大野 真司先生が、市民に解りやすく乳がんの成り立ちや臨床について講演頂いた。②診断部門について、北九州市立医療センターの畑田　俊和先生に、マンモグラフィの実際、乳腺診療の流れ、精中委について講演頂いた。③治療部門について、久留米大学病院放射線治療センター　川田　秀道先生より、乳がん患者の放射線治療について精度管理や患者さんとの触れあい方について講演頂いた。④ トピックスとして、兵庫県立粒子線医療センター院長の菱川 良夫先生にメディポリス指宿での乳がんの粒子線治療について、「切らずに治す」ということで乳がんへの新しい治療について講演頂きました。⑤がん患者の立場から、ピンクリボンかごしまから帖佐　理子先生にピンクリボンかごしまの活動報告とアンケート結果などについて、市民の方々が乳がんをどのように思っているのかを講演頂き、がんサポートかごしま代表の三好綾先生から自分の体験談をもとに、乳がんへの思いを伝えてもらいました。私も座長として参加しましたが、非常にいい公開講座となりました。講演頂いた先生方、お忙しい中、有難うございました。

また、今回、東芝メディカルシステムズ株式会社からのご協賛で、マンモグラフィ検診車（フラットパネル搭載車）をお借りして、女性会員をターゲットに、実際にポジショニングしていただいたり、自分が疑似体験をすることで、患者さんにやさしく接して頂ければという思いで今回企画しました。たくさんの方々が見学していました。とてもよかったと自負しております。

学会全体を通して、非常に鹿児島県の会員の皆様のご協力に、ただただ感謝するだけです。各パート（受付、各会場係、雑用係）がとてもスムーズに動いて頂き、無事終了しましたことをこの場を借りて御礼申し上げます。また、協賛頂いた企業の方々にも深く御礼申し上げます。有難うございました。

最後に、西本組織委員長、さまざまな障害（世界的な不況で企業からの協賛が難しいこと、参加者が少ないこと、新型インフルザなど）にも負けずに、舵取り本当にお疲れさまでした。また、ご成功おめでとうございました。また、池田実行委員長、小林副実行委員長には、いつも相談にのっていただき、また各企業、会員参加などにご尽力いただき有難うございました。また組織委員の方々はもちろん、実行委員の皆様合わせて、運営委員の皆様、本当に有難うございました。

今後も、社団法人鹿児島県放射線技師会が会員の皆様のご協力で、益々発展しますことを祈っています。

当日ご協力いただいたメンバーを下記に示します。

西本　孝市	鹿児島市立病院
池田　睦	鹿児島大学病院
西元　辰也	鹿児島市立病院
隈　浩司	鹿児島市立病院
永田 隆二	鹿児島市立病院
原口　誠	JA厚生連健康管理センター
小林　保浩	鹿児島大学病院
新村　栄次	今給黎総合病院
石本　裕二	（社）鹿児島共済会南風病院
冨松 正明	鹿児島市医師会病院
大久保 光男	川内市医師会立市民病院
石山　重行	鹿児島厚生連病院
下吉　則孝	鹿児島県立薩南病院
平賀　真雄	霧島市立医師会医療センター
島児　末治	垂水市立医療センター垂水中央病院
野中　康博	菊野病院
出水田 尚文	県立大島病院
日高　稔	(社)鹿児島共済会南風病院
坂口　己右	霧島市立医師会医療センター
永山照明	今給黎総合病院
丸尾美由紀	今給黎総合病院
馬場なつき	今給黎総合病院
平田　勝	鹿児島市医師会病院
脇田　慎一	今村病院本院
恵　智徳	今村病院分院
藤﨑　拓郎	鹿児島大学病院
坂下　周一郎	鹿児島大学病院
小磯　美奈	鹿児島大学病院
谷本　江利子	鹿児島大学病院
宮島　隆一	鹿児島医療センター

濱田　睦美	鹿児島生協病院
猿渡　悠樹	鹿児島生協病院
宇都　浩一朗	済生会　川内病院
松崎　栄子	県民保健センター
藤坂　文江	県民保健センター
小屋　保浩	鹿児島大学病院
千葉　調	鹿児島大学病院
宮崎　芳成	コニカミノルタヘルスケア(株)
大戸　新	コニカミノルタヘルスケア(株)
田中　祐介	コニカミノルタヘルスケア(株)
田口　浩一	東和薬品(株)
永野　恭平	東芝メディカルシステムズ(株)
児玉　国大	東芝メディカルシステムズ(株)
室町　昌吾	東芝メディカルシステムズ(株)
松下 靖彦	富士フィルムメディカルシステム(株)
三木 祐司	富士フィルムメディカルシステム(株)
内田 和広	富士フィルムメディカルシステム(株)
永吉　美香	エーザイ(株)
吉田　徹	第一三共
横山　正幸	第一三共
友田　信宏	富士フィルムファーマ
若山　政博	富士フィルムファーマ
	アステム
	メディカルアプライアンス
	ITI

20090606終了時参加状況

第25回放射線技師総合学術大会・参加人数等

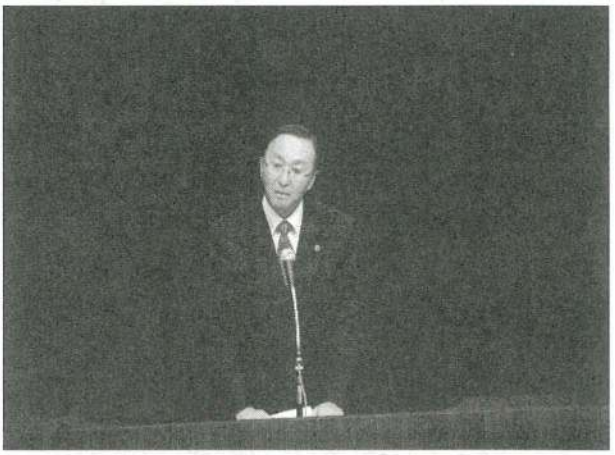
	所属	事前参加登録	当日参加登録	合　計	会員数	参加率
1	北海道	67	7	74	1,859	3.98%
2	青森県	7	0	7	350	2.00%
3	岩手県	10	0	10	411	2.43%
4	宮城県	8	1	9	532	1.69%
5	秋田県	8	1	9	328	2.74%
6	山形県	7	0	7	379	1.85%
7	福島県	10	0	10	559	1.79%
8	茨城県	20	1	21	691	3.04%
9	栃木県	10	0	10	468	2.14%
10	群馬県	14	0	14	533	2.63%
11	埼玉県	28	3	31	1,159	2.67%
12	千葉県	25	3	28	631	4.44%
13	東京都	67	3	70	2,194	3.19%
14	神奈川	44	6	50	1,650	3.03%
15	新潟県	13	0	13	599	2.17%
16	富山県	10	0	10	428	2.34%
17	石川県	6	0	6	313	1.92%
18	福井県	8	1	9	300	3.00%
19	山梨県	5	0	5	216	2.31%
20	長野県	9	0	9	580	1.55%
21	岐阜県	24	3	27	665	4.06%
22	静岡県	12	0	12	902	1.33%
23	愛知県	48	1	49	1,862	2.63%
24	三重県	19	1	20	481	4.16%
25	滋賀県	13	1	14	395	3.54%
26	京都府	21	0	21	528	3.98%
27	大阪府	61	5	66	1,414	4.67%
28	兵庫県	40	1	41	1,348	3.04%
29	奈良県	13	1	14	370	3.78%
30	和歌山	6	0	6	299	2.01%
31	鳥取県	5	0	5	195	2.56%
32	島根県	6	0	6	240	2.50%
33	岡山県	17	1	18	686	2.62%
34	広島県	31	3	34	708	4.80%
35	山口県	13	0	13	445	2.92%
36	徳島県	5	0	5	203	2.46%
37	香川県	9	0	9	303	2.97%
38	愛媛県	10	0	10	412	2.43%
39	高知県	11	1	12	222	5.41%
40	福岡県	95	6	101	1,642	6.15%
41	佐賀県	15	1	16	193	8.29%
42	長崎県	15	2	17	368	4.62%
43	熊本県	28	2	30	432	6.94%
44	大分県	22	4	26	351	7.41%
45	宮崎県	32	1	33	363	9.09%
46	鹿児島	110	18	128	460	27.83%
47	沖縄県	22	0	22	362	6.08%
国内合計		1079	78	1157	30,029	3.85%
海　外		37		37		
総　計		1116	78	1194		

第25回放射線技師総合学術大会・第12回東アジア学術交流大会　スナップ写真







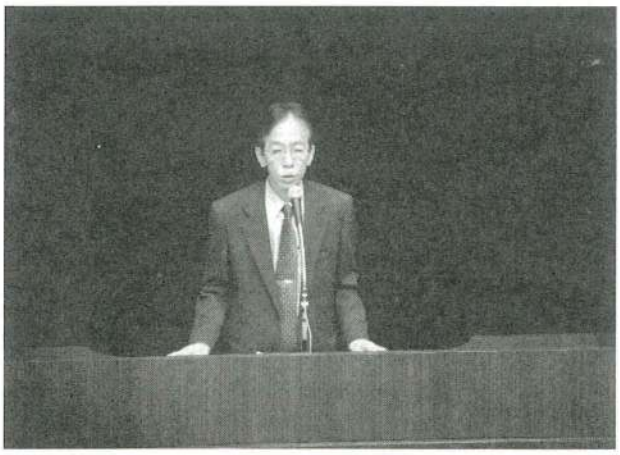








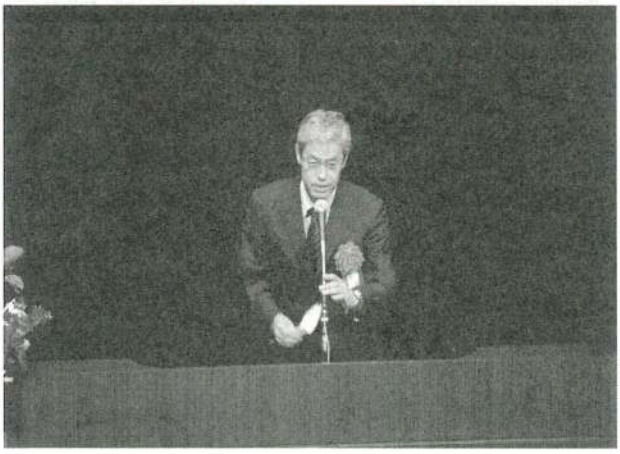
オープニングセレモニー 弦楽四重奏　①	オープニングセレモニー ハープ&フルート　②
開会式風景	北村大会長挨拶
大会長・組織委員長・副大会長席	開会の打鐘
来賓の方々	















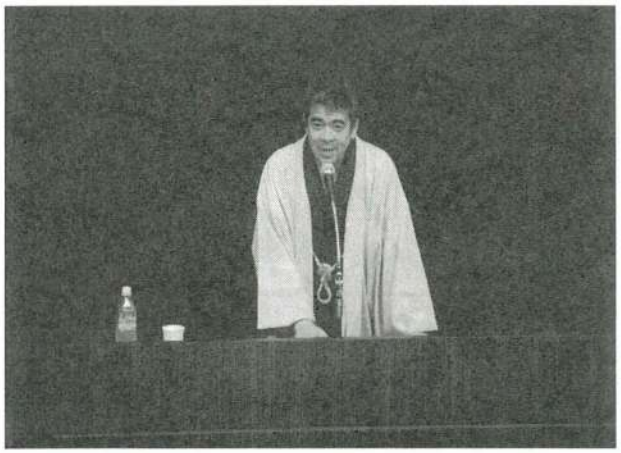
西本組織委員長挨拶	韓国来賓者挨拶
台湾来賓者挨拶	県知事挨拶
市長挨拶	機器展示オープニングセレモニー挨拶
機器展示セレモニーテープカット	

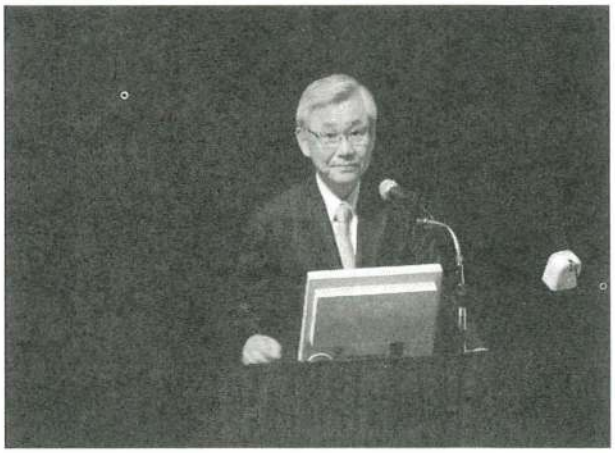














永年勤続３０年表彰式 風景	永年勤続３０年表彰者
永年勤続５０年表彰式 風景	永年勤続５０年表彰者
特別講演 三遊亭歌之介　師匠	特別講演　鹿児島大学 農学部　鮫島吉廣教授
懇親会　鮫島監事 乾杯挨拶	















記念品交換　①	記念品交換　②
余興　九面太鼓	余興　風景
焼酎抽選会　風景	懇親会　風景
池田実行委員長　閉会挨拶	

平成21年6月6日

日本放射線技師会会長
北村　善明　殿

第25回日本放射線技師会総合学術大会　技術セミナー（放射線治療）開催報告書

技術セミナーで得られた提言

【セミナーの主旨】

医療事故や安楽死を次々と刑事事件化しているのは世界の中で日本の国だけです。報道の介在もあいまって、医療者や患者の心を深く傷つけあう結果になっています。

医療技術を運用するわれわれにとって事故を明日はわが身の関心事としてとらえなければなりません。最近、いくつかの冤罪裁判を振り返ると、技術の管理や運営が組織として正しく行われなければならないにも関わらず、その責任が個人に向かってしまうという事実が認められます。我々放射線技師を含めて医療の現場で働く多くの専門家がその職に苦しみ、組織のとるべき責めを負い、職を離れざるを得ない状況が生まれています。結果として、患者を救う多くの有能な人材を失ってしまいました。

今回、我々は専門家の組織としてこういった社会の悲劇が拡大しないように、事故の真の予防策も含めて具体的な提言をまとめていきたいと考えています。

【セミナー内容】

1．基調講演

「放射線治療の危機管理 - 体験・反省・分析・提言」

岸　和史（和歌山県立医科大学病院）

2．シンポジウム

①「最先端の放射線治療施設における危機管理の現状と問題点」

下東　吉信（熊本放射線外科）

②「放射線治療施設の危機管理意識の改革」

川村　慎二（宮崎大学医学部附属病院）

1．入り口アンケート調査（調査結果を別紙1に掲載）

セミナー参加者の危機管理の認識に関するアンケート調査を行った。

2．参加者のセミナーに関する意見・感想（別紙2に掲載）

【セミナーによる提言】

1．「事故当事者を孤立させない」

医療事故が発生した場合、発生した組織や警察、および、報道によって、その責任追及が個

人に向けられてしまうという現状がある。JCOの事故のように事故発生の真の原因は決して当事者の責任に帰して終わらせるべきものではない。事故が発生した際に、正しい事故内容の調査を行うために、背景となった原因の分析段階において事故当事者を糾弾したり孤立させたりしない取り組みを組織的に行っていく必要があるのではないか。この取り組みは「国民から見える職業」をテーマに掲げる日本放射線技師会が医療提供者である我々の擁護を念頭において取り組むべき課題であると考える。

2．「事故の責任を正しく評価する」

個人への責任転嫁によって事故を解決しようとする考え方を改めて、事故の内容を詳しく調査し、事故当事者や関係者、装置やシステム、および、環境や組織について公正な原因評価を実施し責任の所在を明らかにするべきである。これまでの事故発生時には、医学放射線物理連絡協議会による事故調査が実施されており、専門的な技術や管理状況に関する有意義な調査報告が行われてきた。今後は、調査内容を拡大して医療施設全体の管理体制などについても行い、事故発生の潜在的な原因についても調査するべきである。

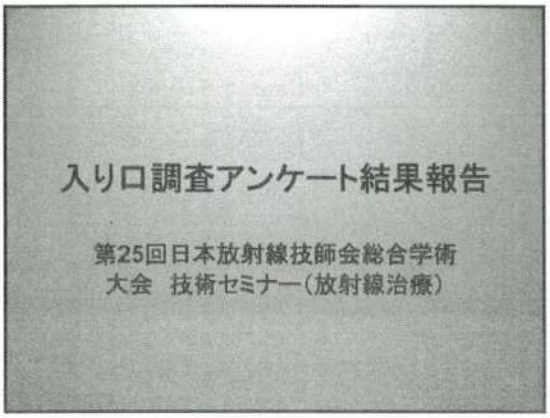
3．「危機管理意識の改革を推進する」

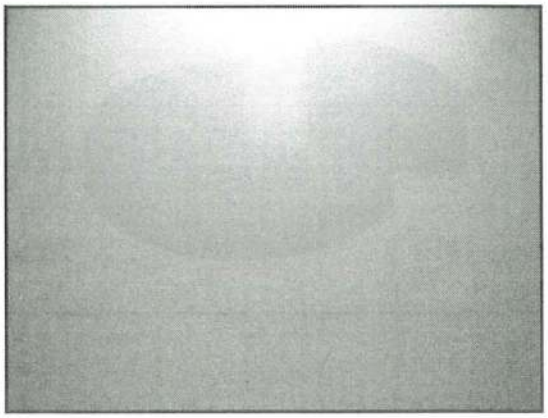
放射線部門はその専門性から、医療施設における孤立した部門になりがちで、情報開示や第三者評価が浸透しにくく、事実認識と危機意識が甘いという問題点が指摘される。事故防止の真の危機管理を行うために我々放射線技師が考えなければならないことは、情報開示や情報共有の必要性の認識を高めることである。現在、医療施設に浸透しているリスクマネジメント組織の対応は非熟練業務あるいは業務初心者への管理が中心である。放射線治療部門のように専門的な分野におけるリスクマネジメント体制を確立するためには、我々放射線技師が積極的にリスクマネジメント組織に介入し連携していく必要がある。

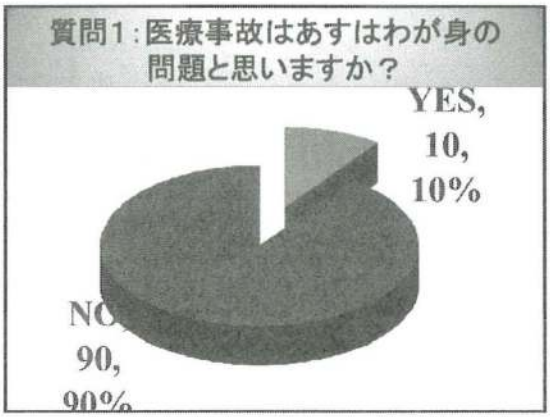
4．事故当事者を擁護する組織の必要性

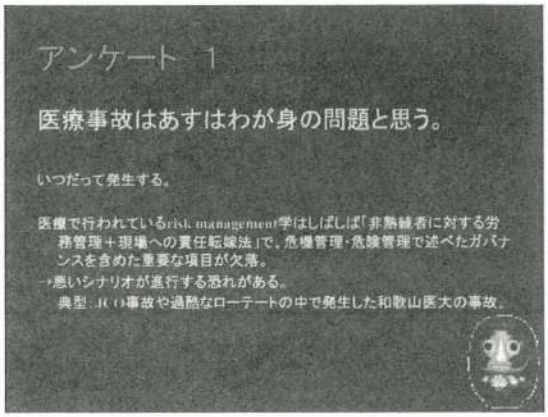
事故発生によって、個人への責任追及から事故当事者が孤立してしまうことを防ぎ、臨床現場で活躍する有能な人材を失わないため、また、事故から得られた真の教訓を生かして“第二の事故”を発生させないためにも、多職種に渡る事故当事者の会などの組織を設立する必要あると考える。日本放射線技師会が率先して設立支援に取り組んでいただきたい。

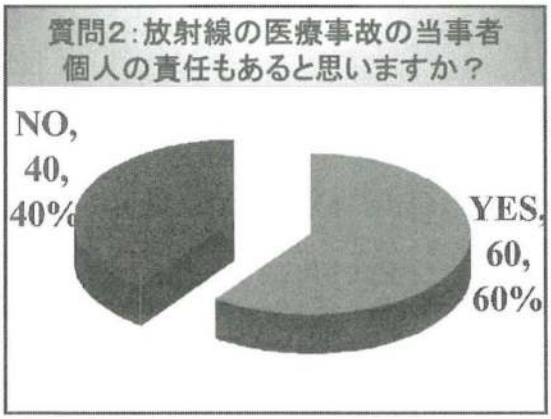
入り口アンケート調査結果報告（別紙１）

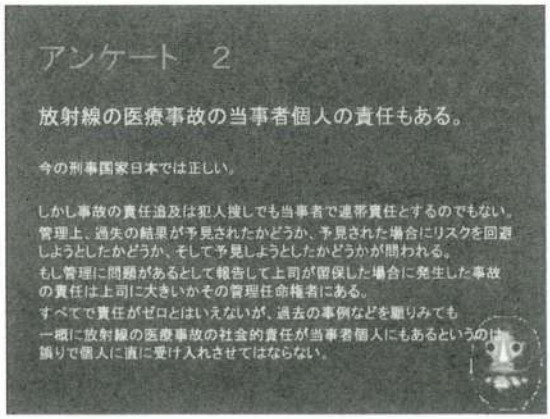


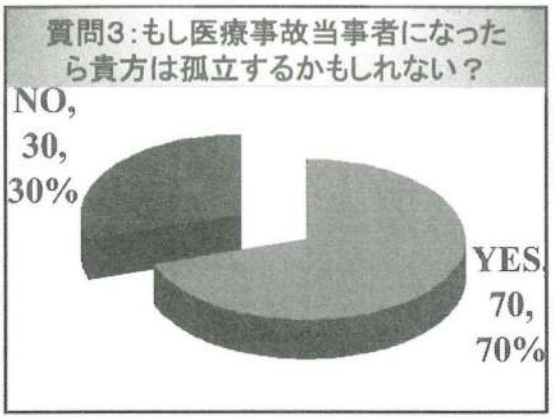








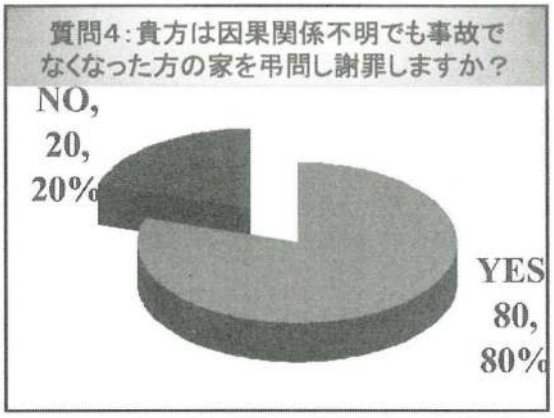




アンケート　3

もし医療事故当事者になったら貴方は孤立するかもしれない。

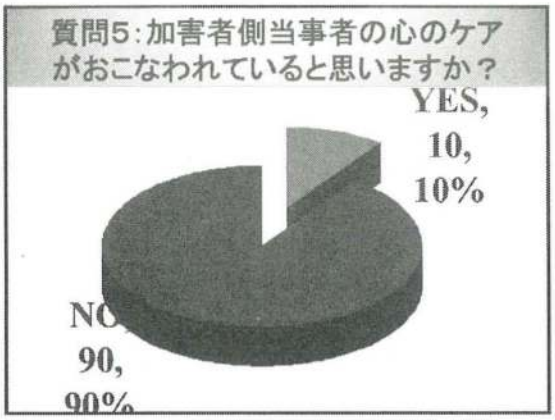
私は経験しました。
いまの病院のリスクマネージメントシステムはしばしばガバナンスの責任を回避し個人に責任転嫁する形をとります。あなたが責任を問われなくとも誰かが取ることになれば、結局あなたも連座し、最初から孤立しなくとも最終的に孤立するかも知れません。
ガバナンスの責任を最初から明確にしなければいけません。



アンケート　4

貴方は因果関係不明でも事故でなくなった方の家を弔問し謝罪しますか？

訴訟社会では弁護士は法廷の利害関係の延長線上の理由でこれを阻止するため、弔問謝罪は社会圧力下か結審後に可能となることが多い。
人間性を失わない人間であれば心から弔意をのべるのが当然。
また因果関係不明でも加害した可能性がある側ならば真摯な原因究明と救済努力を約束することは人として正しい。



アンケート　5

加害者側当事者の心のケアがおこなわれていると思いますか？

医療で行われているrisk management学はしばしば「非熟練者に対する労務管理＋過誤への責任転嫁法」の学問であり、その場合に演繹されるのは、誤った糾弾があっても救済は組み込まれていない。

その結果、我々放射線技師を含めて医療の現場で働く多くの専門家がその職に苦しみ、組織のとるべき責めを負い、職を離れざるを得ない状況が生まれています。結果として患者を救う多くの人材を失った。

自分達の社会を守るためにしなければいけないことがある。

第25回放射線技師総合学術大会技術セミナーに参加して

「参加者からのメッセージ」（別紙２）

意見１：　治療業務を行って約15年の技師です。恥ずかしい話ですが、今日初めて岸先生の事（事故）を知りました。一番強く思うことは誰が悪いとかではないのですが常識的に考えていくらＤｒ．がＲＴＰで計画されたものでも１回10Ｇｙすることで疑問を持つのでは？なぜ技師は照射前に疑問を持たなかったのか。またそれに対しての医師とのコミュニケーションや話し合いの場がなかったのかと思います．私は現在治療専任で行っていますがローテーションで治療を行うのは反対です。しかし、治療は他業務と違い色々な面で大変辛いものがありすぎます。

意見２：　貴重な生の声を聞くことができ、とても考えさせられるものであった。

意見３：　今回、岸先生の講演を聞いて今一度自分が行っている業務の重要さを再確認しました。自らの知識の向上も計ると共に同じ仕事をする同僚との情報の共有化、レベルアップは大切と思いました。　私自身もローテーション前には前者との引継ぎをとても重要視しています。

もう一人は専任技師ですが私はその方に丸投げはしてはいけないと考えて行っております。今回はありがとうございました。

意見４：　個人としての危機管理はもちろんですが組織としての管理の重みを認識して管理建てさせることが事故防止になるように思う。各個人が取り組みやすいことから始められるように望みます。

意見５：　医療事故の当事者になった時にどこまで自分自身の言葉で事情を説明できるのか不安に感じてしまう。

意見６：　岸先生の話は治療のみでなく、どの場においても考えておかなければならないと思う。危険・危機管理体制の見直しと、再構築をしなければならないと思う。

意見７：　正直に申しますと、自施設における放射線治療部門の危機管理また品質管理はまったく機能する状態にありません。専任は私一人のみであり、もう一人はローテーションです。それに加え、岸先生の施設と同様、私も診断系の当直業務、自宅待機業務も任っているため、専門技師不在で治療業務を行っている日は少なくありません。この状況に私自身は強い焦りと、危機感を持って毎日仕事をするのが、正直恐いです。私の間違いをチェックできる人材がいません。状況の改善を技師長に説きますが、なかなか進みませ

ん。しかし、本セミナーで岸先生の話を聞き根気強く行動していくことを決意しました。とにかく、動き続け，訴え続けていこうと思います。私自身の成長のために安全な治療をうけられる患者様のために。

意見８：　昨今の放射線治療の事故もあって一年位前から放射線治療は二人の技師で行っている。しかし今まで一人でやっていたものを二人にしたのだから放射線部門で一人増加したわけでなく、他部門から一人減らして治療に一人増加させたものです。放射線治療もそうですが他部門でもやはり危機管理は重要なので人員をなかなか増やせない現状の中で大変です。岸先生の話は心に沁みました。自分もそういう立場で岸先生のようにアクションを起こせるかわかりません。

意見９：　事故原因について仕事のいそがしさによるヒロウの蓄積による注意力の低下によるものがあると考えられるが、業務量の多さ、疲労の蓄積についての表現はどうしたらよい？大変有意義なセミナーでした。

意見１０：　ヒヤリハット報告の重要性が再確認できました。当事者のみではなくシステムとしての対応、責任を負うべきであると考えられた。

意見１１：技術的なこと、技師教育、危機管理等、幅広いことが分かり有意義であると思います。

意見１２：　岸先生の貴重なお話、ありがとうございました。私の施設でも似たような状況に置かれており、自分たちのこととして考えさせられました。また、自分の危機管理に対する考えの甘さを反省することができました。施設に戻ったら他の治療担当技師と危機管理についてもう一度話し合ってみたいと思います。

意見１３：　自分達が行っている仕事に対してより自覚をもって行う必要性を感じました。大切なことを改めて学ばせていただきました。もう一度仕事を見直してみようと思います。ありがとうございます。

意見１４：　医療の事故は本当にいつ、どこで、誰に起こるか分からないものであってそれぞれ個人、組織で対策、話し合いが必要不可欠だと思いました。

意見１５：　岸先生のお話にはすごくインパクトがあり、身がしまる思いでした。これからの過剰照射などの事故時に技師会主導の調査委員会などを発足させて第三者的な立場で正しい調査、報告などできるようにしたら働く技師にとっても心強い味方になるのではないでしょうか

意見１６：　医療におけるリスクについて個人的にはみな同じ様に大変意識していることとは思

います政治的、法律的整備がなくても治療において品質管理機構をあげても病院レベルで、真剣に取り組むなどなかなかないように思えます。技師会の力を発揮し、法の整備に挺なします。

意見１７：　当院は人数不足により、治療担当者は、1 名で行っており、非常にリスキーな状態で業務を行っています。いつも事故が起こりやすい状態です。治療計画はできるだけ2人体制で行っていますが、ダブルチェック、情報の共有の不安を重く感じました。Drと技師の共通した理解、情報共有の重要さを再確認させられました。個人が、リスクに対しての意識改革をして早急に組織的に取り組んで行きたい。

意見１８：　医療安全に対して定例、当事者の考え、意見が聞けて大変参考になり、社会、医療界のシステムの不備により、事例生かされてないと思う。自分も経験したがみんな、個人に責任をなすりつけるばかりで何も進歩していない。組織（医療界だけでなく社会を変えないと医療事故は減らないと思う）それがあるために真の情報の共有がされていない。特に今日は、治療を行うことが不安なので、組織として取り組んでほしい。岸先生の生活に大変勇気をもって医療行為ができます。

意見１９：　事故について、明日はわが身と痛感しました。現場での線量チェックや品質管理について１人の技師(物理士)で行っているのが現状です。他のスタッフは測定技術はほとんど知らなく、また上席者が全くセミナーや勉強会に出席しない事に機器を感じます。上席者をどう動かすかを考えるべきか悩みます。

意見２０：　第三者評価の必要性を強く感じました。個人の能力だけでなく、異なった視点からの評価がリスク減少につながると感じた。当事者に対する心のケアは誰がいつごろ取り組めばいいのか大変難しいと思う。

意見２１：　私も常に思っていますが、自分に決しておごらず、明日はわが身と思っています。下の後輩達にもいつも言っています。今回の岸先生のお話は本当に貴重なものでした。今までは事故報告の上っ面しか聞いていませんでしたが、当事者の話が聞けて、今回の学会に出た価値がありました。ありがとうございました。国立大学で人事交流をしていますが、地域を越えてでもいいので、今までとは違う形で治療の人事交流をすればいいと以前から思っています。自分以外の施設を知ることは大変大事だと思っています。

意見２２：　事故が発生する時は何らかのシステム上の不備があり、その責任はそのようなシステムに問題があると思うが、私個人としては技師という仕事をしている以上、何らかのミスがあってその事故につながっていると思うし、個人にも責任はあると思う。

会計だより

平成２１年度会費について

■正会員

九州地域放射線技師会会費	500円
(社)鹿児島県放射線技師会費	7,000円
合　計　金　額	7,500円

日本放射線技師会会費として	
(社)日本放射線技師会費	13,000円
日本放射線技師会雑誌購読料	2,000円
合　計　金　額	15,000円

昨年の３月に日本放射線技師会から振込依頼書が送付されています。直接日本放射線技師会に振り込むようになっておりますので、ご注意ください。納入先は別々です。

【日本放射線技師会会費規程】（抜粋）

会費額は、年額13,000円とする。

(1)　本会に入会しようとする者の会費額は入会初年度に限り18,000円とする。

(2)　診療放射線技師籍登録年度内の入会者に限り、初年度会費額を5,000円とする。

2.　前項の会費額は、納入時期による割引はしない。

3.　本条第１項に定める会費額の他、本会定期刊行物の購読料（2,000円）を併せて納入するものとする。但し、第１項第２号に規定する者は、この限りではない。

■準会員

(社)鹿児島県放射線技師会費　20,000円

（備考）

○ 郵便振替払込の際は下記宛までお願いします。

［口座番号］ 02030−3−12696

［加入者名］ 鹿児島県放射線技師会

○ 銀行口座振込の際は下記の口座宛てまでお願いします

普通預金口座

鹿児島銀行高見馬場支店

口座番号：675652

社団法人鹿児島県放射線技師会

○ 受領証は発行しませんので、振替払込時の払込票で代用していただくようお願いします。

○ 日本放射線技師会の会費は直納制で、期限は、４月１日となっております。県会費につきましては事務処理上９月２０日までに納入をお願いします。

問い合せ先

鹿児島大学病院　臨床技術部放射線技術部内

(TEL)099−275−5664　中島

《《《　会費納入について　》》》

鹿児島県放射線技師会の会費納入期限は、年度内の９月３０日までとなっておりますので、振込みをお済みでない方は、期日までに振り込まれますようお願い申し上げます。２年以上年会費の未納がある場合には会報及び、ニュースの発送が停止しますので御注意ください。未納年度会費がある場合は、当該年度会費として納入されましても自動的に未納年度に振り替えられます。また、平成20年度より日本放射線技師会の会費は前納制となりました。本年度の会費を４月１日までに納付しないと未納扱いとなり、日本放射線技師会会誌及び、Network－Newsの発送が停止いたしますのでご注意ください。

お　詫　び　と　訂　正

前々回発行の会報108号に掲載されておりました決算総会の資料に関しまして、
手違いにより、平成19年度決算書の資料が落丁しておりました、改めて記載いたします。また、平成20年度の予算書（案）に関しましては、予算総会時と異なる予算書が掲載されておりますので、お詫びして訂正いたします。改めて、平成20年度の予算書を掲載いたしますので、ご査収くださいますようお願いいたします。

収支計算書総括表

社団法人　鹿児島県放射線技師会

平成19年4月1日から平成20年3月31日まで

（単位:円）

勘定科目	
Ⅰ　事業活動収支の部	
1. 事業活動収入	
入会金収入	65,000
会費収入	3,289,000
事業収入	1,031,000
補助金等収入	567,400
負担金収入	6,817,300
雑収入	113,214
前受金	3,015,000
前年度繰越前受金収入	72,500
事業活動収入計　(A)	14,970,414
2. 事業活動支出	
(1) 事業費支出	11,736,934
事業対策費	565,412
学術研究事業費	481,920
支部助成金	420,000
出版事業費	433,500
福利厚生費	83,820
放射線啓発事業費	765,515
本部会費負担金	8,236,000
技師会創立60周年事業	656,779
通信運搬費	35,590
その他必要経費	58,398
(2) 管理費支出	1,665,235
会議費	236,527
旅費交通費	707,000
需要費	294,606
渉外費	83,400
賃貸費	0
事務所運営費	155,122
租税公課	51,400
雑費	137,180
次年度会費繰越金	1,288,000
次年度負担金繰越金	92,000
事業活動支出計　(B)	14,782,169
事業活動収支差額　(A)－(B)	188,245
Ⅱ　投資活動収支の部	
1. 投資活動収入	0
投資活動収入計	0
2. 投資活動支出	0
投資活動支出計	0
投資活動収支差額	0
Ⅲ　財務活動収支の部	
1. 財務活動収入	0
財務活動収入計	0
2. 財務活動支出	0
財務活動支出計	0
財務活動収支差額	0
Ⅳ　予備費支出	0
当期収支差額	188,245
前期繰越収支差額	13,919,619
次期繰越収支差額	14,107,864

収支計算書

社団法人　鹿児島県放射線技師会

平成19年4月1日から平成20年3月31日まで

（単位:円）

勘定科目	予算額	決算額	差異
Ⅰ　事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
入会金収入			
日本放射線技師会入会金収入	50,000	65,000	15,000
会費収入			
正会員会費収入	3,262,000	2,877,000	△ 385,000
準会員会費収入	320,000	300,000	△ 20,000
過年度正会員会費収入		112,000	112,000
事業収入			
研修会会費収入	600,000	0	△ 600,000
広告収入	480,000	480,000	0
環境測定事業収入	300,000	231,000	△ 69,000
技師会創立60周年事業収入	500,000	320,000	△ 180,000
補助金等収入			
民間補助金収入	450,000	567,400	117,400
負担金収入			
日本放射線技師会会費負担金収入	6,890,000	6,045,000	△ 845,000
九州地域放射線技師会会費負担金	233,000	206,500	△ 26,500
全国総合学術大会会費負担金	100,000	54,000	△ 46,000
市医師会負担金	292,000	292,800	800
過年度日本放射線技師会負担金収入		210,000	210,000
過年度九州地域放射線技師会会費負担金		9,000	9,000
雑収入			
受取利息収入	10,000	2,214	△ 7,786
雑収入	300,000	111,000	△ 189,000
前受金			
前受会費		1,288,000	1,288,000
前受負担金		1,727,000	1,727,000
他会計からの繰入金収入			
他会計からの繰入金収入			
前年度繰越前受金収入		72,500	
事業活動収入計　(A)	13,787,000	14,970,414	1,183,414

収支計算書

社団法人　鹿児島県放射線技師会

平成19年4月1日から平成20年3月31日まで

（単位：円）

勘定科目	予算額	決算額	差異
2. 事業活動支出		0	0
(1) 事業費支出	11,825,000	11,736,934	△ 88,066
事業対策費	670,000	565,412	△ 104,588
広報活動費	20,000	0	△ 20,000
調査事業費	200,000	279,400	79,400
講習会対策費	120,000	39,000	△ 81,000
渉外対策費	10,000	0	△ 10,000
旅費交通費支出	120,000	163,000	43,000
表彰対策費	50,000	25,568	△ 24,432
出版物頒布費	150,000	58,444	△ 91,556
学術研究事業費	1,142,000	481,920	△ 660,080
鹿児島県学術大会費	120,000	135,920	15,920
生涯教育セミナー費	700,000	272,000	△ 428,000
学術助成金	60,000	20,000	△ 40,000
管理士部会費	90,000	0	△ 90,000
夜間急病センター研修委託費	172,000	54,000	△ 118,000
支部助成金	420,000	420,000	0
鹿児島支部助成金	150,000	150,000	0
川薩支部助成金	50,000	50,000	0
大隅支部助成金	50,000	50,000	0
大島支部助成金	50,000	50,000	0
霧島姶良支部助成金	50,000	50,000	0
南薩支部助成金	70,000	70,000	0
出版事業費	480,000	433,500	△ 46,500
会報印刷費	330,000	396,000	66,000
小冊子印刷費	70,000	0	△ 70,000
ニュース印刷費	80,000	37,500	△ 42,500
福利厚生費	140,000	83,820	△ 56,180
慶弔費	40,000	30,000	△ 10,000
レクレーション費	100,000	53,820	△ 46,180
放射線啓発事業費	950,000	765,515	△ 184,485
環境測定事業費	200,000	146,000	△ 54,000
ホームページ運営費	50,000	36,000	△ 14,000
放射線展費	50,000	40,388	△ 9,612
関連団体会議費	600,000	543,127	△ 56,873
放射線管理士事業費	50,000	0	△ 50,000
本部会費負担金	7,273,000	8,236,000	963,000
日本放射線技師会費	6,940,000	6,170,000	△ 770,000
九州地域放射線技師会費	233,000	227,000	△ 6,000
全国総合学術大会会費	100,000	54,000	△ 46,000
過年度日本放射線技師会負担金		195,000	195,000
次年度前受負担金支出		1,590,000	1,590,000
技師会創立60周年事業	450,000	656,779	206,779
記念事業費	250,000	634,779	384,779
記念誌発行費	200,000	22,000	△ 178,000

収支計算書

社団法人　鹿児島県放射線技師会

平成19年4月1日から平成20年3月31日まで

（単位：円）

勘定科目	予算額	決算額	差異
通信運搬費	70,000	35,590	△ 34,410
通信運搬費支出	70,000	35,590	△ 34,410
その他必要経費	230,000	58,398	△ 171,602
保険料	10,000	0	△ 10,000
租税公課支出	120,000	57,298	△ 62,702
雑支出	100,000	1,100	△ 98,900
(2) 管理費支出	1,962,000	1,665,235	△ 296,765
会議費	330,000	236,527	△ 93,473
総会費	200,000	212,200	12,200
理事会費	20,000	2,307	△ 17,693
委員会費	60,000	19,500	△ 40,500
支部長会費	40,000	2,520	△ 37,480
部会会議費	10,000	0	△ 10,000
旅費交通費	760,000	707,000	△ 53,000
会長会議旅費	450,000	571,400	121,400
理事会旅費	40,000	41,000	1,000
委員会旅費	140,000	30,500	△ 109,500
支部長会議旅費	110,000	64,100	△ 45,900
部会会議旅費	20,000	0	△ 20,000
需要費	460,000	294,606	△ 165,394
什器・備品費	100,000	117,800	17,800
備品管理費	50,000	0	△ 50,000
消耗品費支出	50,000	41,521	△ 8,479
印刷製本費	30,000	78,700	48,700
通信運搬費支出(管理)	50,000	36,585	△ 13,415
夜間急病センター通信費	120,000	20,000	△ 100,000
部会通信費	10,000	0	△ 10,000
記念事業経費	50,000	0	△ 50,000
渉外費	50,000	83,400	33,400
役員渉外費	50,000	83,400	33,400
賃貸費	70,000	0	△ 70,000
賃貸料支出	70,000	0	△ 70,000
事務所運営費	194,000	155,122	△ 38,878
維持管理費	100,000	82,576	△ 17,424
事務所雑費	20,000	0	△ 20,000
火災保険料支出	74,000	72,546	△ 1,454
租税公課	53,000	51,400	△ 1,600
租税公課支出(管理)	53,000	51,400	△ 1,600
雑費	45,000	137,180	92,180
雑支出	45,000	137,180	92,180
次年度会費繰越金		1,288,000	1,288,000
次年度負担金繰越金		92,000	92,000
事業活動支出計　(B)	13,787,000	14,782,169	995,169
事業活動収支差額　(A)－(B)	0	188,245	188,245

収支計算書

社団法人　鹿児島県放射線技師会

平成19年4月1日から平成20年3月31日まで

（単位：円）

勘定科目	予算額	決算額	差異
Ⅱ　投資活動収支の部			
1．投資活動収入			
(2) 特定資産取崩収入			
減価償却引当資産取崩収入	0	0	0
投資活動収入計	0	0	0
2．投資活動支出			
(2) 特定資産取得支出			
減価償却引当資産取得支出	0	0	0
投資活動支出計	0	0	0
投資活動収支差額	0	0	0
Ⅲ　財務活動収支の部			
1．財務活動収入	0	0	0
財務活動収入計	0	0	0
2．財務活動支出	0	0	0
財務活動支出計	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0
Ⅳ　予備費支出	13,919,619	0	△ 13,919,619
当期収支差額	△ 13,919,619	188,245	14,107,864
前期繰越収支差額	13,919,619	13,919,619	0
次期繰越収支差額	0	14,107,864	14,107,864

計算書類に対する注記

(社)鹿児島県放射線技師会　　平成20年　3月31日現在

1. 重要な会計方針

(1)固定資産の減価償却について

什器備品、事務所備品、事務所(建物)について:
定額法にて減価償却を行っている。
残存価額は取得価額の10%とする。
減価償却期間について
什器備品及び、事務所備品については6年
不動産に関しては建物は25年

(2)資金の範囲

資金の範囲には、流動資産、流動負債のすべてを含めることにしている。
なお、当期末残高は下記2に記載するとおりである。

2. 次期繰越収支差額の内容は、次のとおりである。

(単位:円)

科　　目	当期末残高		
1. 流動資産			
現金預金	15,022,364		
未収会費	1,830,500		
小計		16,852,864	
2. 流動負債			
未払金	1,320,000		
前受金	1,425,000		
小計		2,745,000	
合計			14,107,864
次期繰越収支差額			14,107,864

3. 固定資産の取得価額、取得日、当期減価償却額、累積減価償却額及び、期末評価額については次のとおりである。

科　目	名　称	取得価格	取得日	減価償却回数	当期減価償却額	累積減価償却額	期末評価額
什器備品	サーベイメーター	278,718	平成　元年	6	41,808	250,848	27,870
	パソコン一式	528,390	平成　8年	6	79,259	475,554	52,836
	ビデオ・デッキ	27,300	平成　9年	6	4,095	24,570	2,730
	線量計ケース	31,500	平成　9年	6	4,725	28,350	3,150
	DVDレコーダー	96,495	平成15年	5	14,474	72,370	24,125
	ノートパソコン	168,000	平成15年	5	25,200	126,000	42,000
	PCプロジェクター	577,500	平成15年	5	86,625	433,125	144,375
	デジタルカメラ	52,500	平成15年	5	7,875	39,375	13,125
	DVビデオカメラ	94,500	平成15年	5	14,175	70,875	23,625
	財務会計システム	564,200	平成18年	2	84,630	169,260	394,940
	総務用ノートパソコン	117,800	平成19年	1	17,670	17,670	100,130
不動産	建物(事務所)	11,330,000	平成11年	6	407,880	2,447,280	8,882,720
	土地	7,900,000	平成11年	0	0	0	7,900,000
事務所備品	コピー機	192,000	平成11年	6	28,800	172,800	19,200
	テレビ	30,390	平成11年	6	4,559	27,354	3,036
	エアコン	205,560	平成11年	6	30,834	185,004	20,556
	エアコン	53,330	平成11年	6	8,000	48,000	5,330
	電話機	45,330	平成11年	6	6,800	40,800	4,530
	ベッド	59,800	平成11年	6	8,970	53,820	5,980
	事務机	31,000	平成11年	6	4,650	27,900	3,100
	キャビネット(2)	104,000	平成11年	6	15,600	93,600	10,400
	書架	59,840	平成11年	6	8,976	53,856	5,984
	収納棚	34,000	平成11年	6	5,100	30,600	3,400
	ホワイトボード	38,000	平成11年	6	5,700	34,200	3,800

平成20年　3月31日現在

社団法人　鹿児島県放射線技師会

貸借対照表

平成20年3月31日現在

（単位:円）

科　　目	当年度	前年度	増　減
Ⅰ. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	15,022,364	13,576,619	1,445,745
現金	10,135	4,993	5,142
普通預金	1,431,790	184,222	1,247,568
定期預金	5,899,000	5,899,000	0
郵便貯金	7,681,439	7,488,404	193,035
未収会費	582,000	1,210,500	620,000
未収負担金	1,248,500		
流動資産合計	16,852,864	14,787,119	2,065,745
2. 固定資産			
(1)基本財産			
土地	7,900,000	7,900,000	0
建物	11,330,000	11,330,000	0
減価償却累計額　△	2,447,280	2,039,400	△ 407,880
基本財産合計	16,782,720	17,190,600	△ 407,880
(2)特定資産			
(3)その他固定資産			
什器備品	3,390,153	3,272,353	117,800
減価償却累計額　△	2,475,931	1,967,406	△ 508,525
その他固定資産合計	914,222	1,304,947	△ 390,725
固定資産合計	17,696,942	18,495,547	△ 798,605
資産の部合計	34,549,806	33,282,666	1,267,140
Ⅱ. 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	1,320,000	795,000	525,000
前受金	1,425,000	72,500	1,352,500
流動負債合計	2,745,000	867,500	1,877,500
2. 固定負債			
負債の部合計	2,745,000	867,500	1,877,500
Ⅲ. 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
2. 一般正味財産	31,804,806	32,415,166	△ 610,360
(うち基本財産への充当額)	(16,782,720)	(17,190,600)	(△ 407,880)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
一般正味財産	31,804,806	32,415,166	△ 610,360
正味財産の部合計	31,804,806	32,415,166	△ 610,360
負債及び正味財産合計	34,549,806	33,282,666	1,267,140

正味財産増減計算書

社団法人　鹿児島県放射線技師会

平成19年4月1日から平成20年3月31日まで

（単位：円）

科　目	当年度	前年度	増　減
Ⅰ　一般正味財産増減の部			
1．経常増減の部			
(1)経常収益			
受取入会金	65,000	55,000	10,000
日本放射線技師会入会金	65,000	55,000	10,000
受取会費	3,289,000	3,645,000	△ 356,000
鹿児島県放射線技師会会費	2,877,000	3,066,000	△ 189,000
準会員会費	300,000	300,000	0
過年度鹿児島放射線技師会会費収入	112,000	259,000	△ 147,000
過年度準会員会費		20,000	△ 20,000
事業収益	1,031,000	1,367,000	△ 336,000
研修会会費収益	0	593,000	△ 593,000
広告収入	480,000	480,000	0
環境測定事業収入	231,000	294,000	△ 63,000
技師会創立60周年事業収入	320,000		
受取補助金等	567,400	532,160	35,240
受取民間補助金	567,400	532,160	35,240
受取負担金	6,817,300	7,662,500	△ 845,200
日本放射線技師会負担金	6,045,000	6,524,000	△ 479,000
九州地域放射線技師会会費負担金	206,500	219,500	△ 13,000
全国総合学術大会会費負担金	54,000	20,000	34,000
市医師会負担金	292,800	292,000	800
過年度日本放射線技師会会費負担金	210,000	570,000	△ 360,000
過年度九州地域放射線技師会負担金収入	9,000	37,000	△ 28,000
雑収益	113,214	380,311	△ 267,097
受取利息	2,214	311	1,903
雑収益	111,000	380,000	△ 269,000
前受金	3,015,000		3,015,000
前受会費	1,288,000		1,288,000
前受負担金	1,727,000		1,727,000
前年度繰越前受金収入	72,500		72,500
経常収益合計	14,970,414	13,641,971	1,255,943

正味財産増減計算書

社団法人　鹿児島県放射線技師会

平成19年4月1日から平成20年3月31日まで

（単位：　円）

科　　目	当年度	前年度	増　減
(2)経常費用			
事業費	11,736,934	10,661,450	1,075,484
事業対策費	565,412	253,900	311,512
広報活動費	0		
調査事業費	279,400	6,590	272,810
講習会対策費	39,000	37,340	1,660
渉外対策費	0	10,000	△ 10,000
旅費交通費	163,000	90,460	72,540
表彰対策費	25,568	0	25,568
出版物頒布費	58,444	109,510	△ 51,066
学術研究事業	481,920	991,024	△ 509,104
鹿児島県学術大会費	135,920	153,000	△ 17,080
生涯教育セミナー費	272,000	705,024	△ 433,024
学術助成金	20,000	60,000	△ 40,000
管理士部会費	0		
夜間急病センター研修委託費	54,000	73,000	△ 19,000
支部助成金	420,000	420,000	0
鹿児島支部助成金	150,000	150,000	0
川薩支部助成金	50,000	50,000	0
大隅支部助成金	50,000	50,000	0
大島支部助成金	50,000	50,000	0
霧島姶良支部助成金	50,000	50,000	0
南薩支部助成金	70,000	70,000	0
出版事業費	433,500	397,600	35,900
会報印刷費	396,000	369,250	26,750
小冊子印刷費	0	0	0
ニュース印刷費	37,500	28,350	9,150
福利厚生費	83,820	101,912	△ 18,092
慶弔費	30,000	40,000	△ 10,000
レクレーション費	53,820	61,912	△ 8,092
放射線啓発事業費	765,515	930,169	△ 164,654
環境測定事業費	146,000	214,000	△ 68,000
ホームページ運営費	36,000	37,800	△ 1,800
放射線展費	40,388	49,889	△ 9,501
関連団体会議費	543,127	628,480	△ 85,353
放射線管理士事業費	0	0	0
本部会費負担金	8,236,000	7,410,000	826,000
日本放射線技師会費	6,170,000	6,804,000	△ 634,000
九州地域放射線技師会費	227,000	221,000	6,000
全国総合学術大会会費	54,000	25,000	29,000
過年度日本放射線技師会負担金	195,000	360,000	△ 165,000
次年度前受負担金支出	1,590,000		1,590,000
技師会創立60周年事業	656,779		656,779
記念事業費	634,779		634,779
記念誌発行費	22,000		22,000

正味財産増減計算書

社団法人　鹿児島県放射線技師会

平成19年4月1日から平成20年3月31日まで

（単位：円）

科　　目	当年度	前年度	増　減
通信運搬費	35,590	30,800	4,790
通信運搬費	35,590	30,800	4,790
その他必要経費	58,398	126,045	△ 67,647
保険料	0	0	0
租税公課	57,298	124,945	△ 67,647
雑費	1,100	1,100	0
管理費	1,665,235	1,885,009	△ 219,774
会議費	236,527	236,050	477
総会費	212,200	214,977	△ 2,777
理事会費	2,307	7,095	△ 4,788
委員会費	19,500	11,728	7,772
支部長会費	2,520	2,250	270
部会会議費	0	0	0
旅費交通費	707,000	644,620	62,380
会長会議旅費	571,400	436,760	134,640
理事会旅費	41,000	25,500	15,500
委員会旅費	30,500	146,360	△ 115,860
支部長会議旅費	64,100	36,000	28,100
部会会議旅費	0	0	0
需要費	294,606	675,345	△ 380,739
什器・備品費	117,800	564,200	△ 446,400
備品管理費	0	0	0
消耗品費	41,521	50,079	△ 8,558
印刷製本費	78,700	20,000	58,700
通信運搬費	36,585	21,066	15,519
夜間急病センター通信費	20,000	20,000	0
部会通信費	0	0	0
記念事業経費	0		0
渉外費	83,400	54,528	28,872
役員渉外費	83,400	54,528	28,872
賃貸費	0	41,406	△ 41,406
賃貸費	0	41,406	△ 41,406
事務所運営費	155,122	149,599	5,523
維持管理費	82,576	75,793	6,783
雑費	0	1,260	△ 1,260
保険料	72,546	72,546	0
租税公課	51,400	51,000	400
租税公課（固定資産税）	51,400	51,000	400
雑費	137,180	32,461	104,719
雑費	137,180	32,461	104,719
次年度会費繰越金	1,288,000		1,288,000
次年度負担金繰越金	92,000		92,000
減価償却費	916,405	898,735	17,670
経常費用合計	15,698,574	13,445,194	2,253,380
当期経常増減額	△ 728,160	196,777	△ 997,437

正味財産増減計算書

社団法人　鹿児島県放射線技師会

平成19年4月1日から平成20年3月31日まで

（単位：円）

科　　目	当年度	前年度	増　減
2. 経常外増減の部			
(1)経常外収益			
当期固定資産増加額	117,800	564,200	△ 446,400
経常外収益合計	117,800	564,200	△ 446,400
(2)経常外費用			
経常外費用合計			
当期経常外増減額			
当期一般正味財産増減額	△ 610,360	760,977	△ 997,437
一般正味財産期首残高	32,415,166	31,654,189	760,977
一般正味財産期末残高	31,804,806	32,415,166	△ 236,460
Ⅱ　指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増加額			
指定正味財産期首残高			
指定正味財産期末残高			
Ⅲ　正味財産期末残高	31,804,806	32,415,166	△ 236,460

社団法人　鹿児島県放射線技師会

財産目録

平成20年3月31日現在

（単位:円）

科　　目	金　額		
Ⅰ　資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	15,022,364		
現金	10,135		
鹿児島銀行普通預金	1,431,790		
定期郵便貯金	5,899,000		
郵便振替口座	7,681,439		
未収会費	582,000		
未収負担金	1,248,500		
流動資産合計		16,852,864	
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
土地	7,900,000		
建物	11,330,000		
減価償却累計額　△	2,447,280		
基本財産合計	16,782,720		
(2) 特定資産			
特定資産合計	0		
(3) その他固定資産			
什器備品	3,390,153		
減価償却累計額　△	2,475,931		
その他固定資産合計	914,222		
固定資産合計		17,696,942	
資産の部合計			34,549,806
Ⅱ　負債の部			
1. 流動負債			
未払金	1,320,000		
前受金	1,425,000		
流動負債合計		2,745,000	
2. 固定負債			
固定負債合計			
負債の部合計			2,745,000
正味財産			31,804,806

平成20年度　予算書

1. 収支予算書総括表

自　平成20年4月　1日
至　平成21年3月31日

社団法人　鹿児島県放射線技師会

単位(円)

Ⅰ　事業活動収支の部	
1. 事業活動収入	
会費収入	3,694,000
事業収入	900,000
補助金等収入	500,000
負担金収入	533,000
雑収入	310,000
事業活動収入計	5,937,000
2. 事業活動支出	
(1) 事業費支出	4,115,000
事業対策費	770,000
学術研究事業費	662,000
支部助成金	440,000
出版事業費	480,000
福利厚生費	50,000
放射線啓発事業費	1,102,000
本部会費負担金	241,000
通信運搬費	120,000
その他必要経費	250,000
(2) 管理費支出	1,822,000
会議費	330,000
旅費交通費	810,000
需要費	320,000
渉外費	50,000
賃貸費	30,000
事務所運営費	184,000
租税公課	53,000
雑費	45,000
事業活動支出計	5,937,000
事業活動収支差額	0
Ⅱ　投資活動収支の部	
1. 投資活動収入	
特定資産取崩収入	916,405
投資活動収入計	916,405
2. 投資活動支出	
特定資産取得支出	916,405
投資活動支出計	916,405
投資活動収支差額	0
Ⅲ　財務活動収支の部	
1. 財務活動収入	
財務活動収入計	0
2. 財務活動支出	
財務活動支出計	0
財務活動収支差額	0
Ⅳ　予備費支出	13,919,619
当期収支差額	△ 13,919,619
前期繰越収支差額	13,919,619
次期繰越収支差額	0

2. 平成20年度　収支予算書

自　平成20年4月 1日
至　平成21年3月31日

社団法人　鹿児島県放射線技師会
単位(円)

勘定科目	次期予算額	当年度予算額	増　減	備考
Ⅰ　事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
入会金収入	0	50,000	△ 50,000	
日本放射線技師会入会金収入	0	50,000	△ 50,000	本部直納制となり収入なし
会費収入	3,694,000	3,582,000	112,000	
正会員会費収入	3,374,000	3,262,000	112,000	7,000×462名＋新入会20名
準会員会費収入	320,000	320,000	0	20,000×6社＋200,000×1社
事業収入	900,000	1,880,000	△ 980,000	
研修会会費収入	100,000	600,000	△ 500,000	AD等は本部扱い
広告収入	500,000	480,000	20,000	20,000×25社
環境測定事業収入	300,000	300,000	0	
技師会創立60周年事業収入	0	500,000	△ 500,000	単年度事業で廃止
補助金等収入	500,000	450,000	50,000	
民間補助金収入	500,000	450,000	50,000	全国・九州会長会議等
負担金収入	533,000	7,515,000	△ 6,982,000	
日本放射線技師会会費負担金収入	0	6,890,000	△ 6,890,000	本部直納制となり収入なし
九州地域放射線技師会会費負担金	241,000	233,000	8,000	500×462名＋新入会20名
全国総合学術大会会費負担金	0	100,000	△ 100,000	本部直納制となり収入なし
市医師会負担金	292,000	292,000	0	800円×365日　通信・研修等
雑収入	310,000	310,000	0	
受取利息収入	10,000	10,000	0	
雑収入	300,000	300,000	0	
事業活動収入計	5,937,000	13,787,000	△ 7,850,000	
2. 事業活動支出				
(1) 事業費支出	4,115,000	11,825,000	△ 7,710,000	
事業対策費	770,000	670,000	100,000	
広報活動費(事業)	20,000	20,000	0	
調査事業費(事業)	70,000	200,000	△ 130,000	
講習会対策費(事業)	50,000	120,000	△ 70,000	講習会・研修会等の調査・対策
渉外対策費(事業)	50,000	10,000	40,000	
旅費交通費支出(事業)	360,000	120,000	240,000	大島支部研修会5名参加
表彰対策費(事業)	50,000	50,000	0	
出版物頒布費(事業)	170,000	150,000	20,000	会報・ニュース等の頒布費
学術研究事業費	662,000	1,142,000	△ 480,000	
鹿児島県学術大会費(事業)	150,000	120,000	30,000	
生涯教育セミナー費(事業)	100,000	700,000	△ 600,000	フレッシャーズ・リーダー育成等
学術助成金(事業)	60,000	60,000	0	研究会助成金合算上限　比率制
管理士部会費(事業)	90,000	90,000	0	線管理・機器・医用画像管理士部会費
夜間急病センター研修委託費(事業)	262,000	172,000	90,000	夜間急病センター派遣員研修委託費
支部助成金	440,000	420,000	20,000	
鹿児島支部助成金(事業)	150,000	150,000	0	支部研修会助成金
川薩支部助成金(事業)	50,000	50,000	0	支部研修会助成金
大隅支部助成金(事業)	70,000	50,000	20,000	支部研修会助成金(支部会2回開催)
大島支部助成金(事業)	50,000	50,000	0	支部研修会助成金
霧島姶良支部助成金(事業)	50,000	50,000	0	支部研修会助成金
南薩支部助成金(事業)	70,000	70,000	0	支部研修会助成金(支部会2回開催)
出版事業費	480,000	480,000	0	
会報印刷費(事業)	330,000	330,000	0	
小冊子印刷費(事業)	70,000	70,000	0	
ニュース印刷費(事業)	80,000	80,000	0	
福利厚生費	50,000	140,000	△ 90,000	
慶弔費(事業)	50,000	40,000	10,000	
レクレーション費(事業)	0	100,000	△ 100,000	レクレーション廃止

2. 平成20年度　収支予算書

自　平成20年4月　1日
至　平成21年3月31日

社団法人　鹿児島県放射線技師会

単位(円)

勘定科目	次期予算額	当年度予算額	増　減	備考
放射線啓発事業費	1,102,000	950,000	152,000	
環境測定事業費(事業)	200,000	200,000	0	
ホームページ運営費(事業)	100,000	50,000	50,000	広報委員会/HP充実
放射線展費(事業)	100,000	50,000	50,000	放射線啓発等
関連団体会議費(事業)	652,000	600,000	52,000	市民健康まつり等
放射線管理士事業費(事業)	50,000	50,000	0	放射線啓発事業
本部会費負担金	241,000	7,273,000	△ 7,032,000	
日本放射線技師会費(事業)	0	6,940,000	△ 6,940,000	本部直納制となり廃止
九州地域放射線技師会費(事業)	241,000	233,000	8,000	500×462名＋新入会20名
全国総合学術大会会費(事業)	0	100,000	△ 100,000	本部直納制となり廃止
技師会創立60周年事業	0	450,000	△ 450,000	
記念事業費	0	250,000	△ 250,000	単年度事業で廃止
記念誌発行費	0	200,000	△ 200,000	単年度事業で廃止
通信運搬費	120,000	70,000	50,000	
通信運搬費支出(事業)	120,000	70,000	50,000	
その他必要経費	250,000	230,000	20,000	
保険料(事業)	10,000	10,000	0	
租税公課支出(事業)	120,000	120,000	0	
雑支出(事業)	120,000	100,000	20,000	
(2) 管理費支出	1,822,000	1,962,000	△ 140,000	
会議費	330,000	330,000	0	
総会費(管理)	200,000	200,000	0	
理事会費(管理)	20,000	20,000	0	
委員会費(管理)	60,000	60,000	0	
支部長会費(管理)	40,000	40,000	0	
部会会議費(管理)	10,000	10,000	0	
旅費交通費	810,000	760,000	50,000	
会長会議旅費(管理)	500,000	450,000	50,000	
理事会旅費(管理)	40,000	40,000	0	
委員会旅費(管理)	140,000	140,000	0	
支部長会議旅費(管理)	110,000	110,000	0	
部会会議旅費(管理)	20,000	20,000	0	
需要費	320,000	460,000	△ 140,000	
什器・備品費(管理)	100,000	100,000	0	
備品管理費(管理)	50,000	50,000	0	備品の修理・管理等
消耗品費支出(管理)	50,000	50,000	0	
印刷製本費(管理)	30,000	30,000	0	
通信運搬費支出(管理)	50,000	50,000	0	
夜間急病センター通信費	30,000	120,000	△ 90,000	
部会通信費	10,000	10,000	0	
記念事業経費(管理)	0	50,000	△ 50,000	単年度事業で廃止
渉外費	50,000	50,000	0	
役員渉外費	50,000	50,000	0	
賃貸費	30,000	70,000	△ 40,000	
賃貸料支出(管理)	30,000	70,000	△ 40,000	リース契約等
事務所運営費	184,000	194,000	△ 10,000	
維持管理費	100,000	100,000	0	
事務所雑費	10,000	20,000	△ 10,000	
火災保険料支出	74,000	74,000	0	
租税公課	53,000	53,000	0	
租税公課支出(管理)	53,000	53,000	0	
雑費	45,000	45,000	0	
雑支出	45,000	45,000	0	

2. 平成20年度　収支予算書

自　平成20年4月 1日
至　平成21年3月31日

社団法人　鹿児島県放射線技師会
単位(円)

勘定科目	次期予算額	当年度予算額	増　減	備考
事業活動支出計	5,937,000	13,787,000	△ 7,850,000	
事業活動収支差額	0	0	0	
Ⅱ　投資活動収支の部			0	
1. 投資活動収入			0	
特定資産取崩収入			0	
建物減価償却引当資産取崩収入	407,880	407,880	0	
備品減価償却引当資産取崩収入	508,525	490,855	17,670	
投資活動収入計	916,405	898,735	17,670	
2. 投資活動支出			0	
特定資産取得支出			0	
建物減価償却引当資産取得支出	407,880	407,880	0	
備品減価償却引当資産取得支出	508,525	490,855	17,670	
投資活動支出計	916,405	898,735	17,670	
投資活動収支差額	0	0	0	
Ⅲ　財務活動収支の部			0	
1. 財務活動収入			0	
財務活動収入計	0	0	0	
2. 財務活動支出			0	
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
Ⅳ　予備費支出	13,919,619	12,824,107	1,095,512	
当期収支差額	△ 13,919,619	△ 12,824,107	△ 1,095,512	
前期繰越収支差額	13,919,619	12,824,107	1,095,512	
次期繰越収支差額	0	0	0	

（注）1. 借入金限度額　0円
　　2. 債務負債額　0円

■理事・監事

役職名	氏　名	郵便番号	勤務先/勤務先住所	電話番号/E-mailアドレス
会　長	池田　睦	890-8520	鹿児島大学病院 鹿児島市桜ヶ丘8－35－1	099-275-5664 kaicyo@kagoshima-rt.com
副会長	新村栄次	892-0852	今給黎総合病院 鹿児島市下竜尾町4－16	099-226-2211 hukukaicyo@kagoshima-rt.com
監　事	鮫嶋宗俊			
監　事	西元広男			
理　事 総　務	原口　誠	890-0062	JA厚生連健康管理センター 鹿児島市与次郎1－13－1	099-256-1133 iinkai@kagoshima-rt.com
理　事 総　務	豊田雅彦	890-8520	鹿児島大学病院 鹿児島市桜ヶ丘8－35－1	099-275-5664 soumu@kagoshima-rt.com
理　事 財　務	中島祐二	890-8520	鹿児島大学病院 鹿児島市桜ヶ丘8－35－1	099-275-5664 zaimu@kagoshima-rt.com
理　事 学　術	藤﨑拓郎	890-8520	鹿児島大学病院 鹿児島市桜ヶ丘8－35－1	099-275-5664 gakujutsu@kagoshima-rt.com
理　事 学　術	石本裕二	892-8512	鹿児島共済会南風病院 鹿児島市長田町14－3	099-224-5682 gakujutsu@kagoshima-rt.com
理　事 広報編集	冨松正明	890-0064	鹿児島市医師会病院 鹿児島市鴨池新町7－1	099-254-1125 kouhou@kagoshima-rt.com
理　事 表　彰	西本孝市	892-8580	鹿児島市立病院 鹿児島市加治屋町20－17	099-224-2101 hukuri@kagoshima-rt.com
理　事 福利厚生	大久保　光男	895-0005	川内市医師会立市民病院 薩摩川内市永利町4107－7	0996-22-1111 hukuri@kagoshima-rt.com

（社）鹿児島県放射線技師会準会員名簿

名　　称	郵便番号	連　　絡　　先
島津メディカルシステムズ株式会社 鹿児島営業所	891-0113	鹿児島市東谷山１－33－１ TEL　099-263-3572
（株）南九州電子サービス	890-0063	鹿児島市鴨池二丁目15－２ TEL　099-253-7397
株式会社　八郷医療器	890-0114	鹿児島市小松原一丁目29－５ TEL　099-268-0010
（株）太　陽　化　学	890-0021	鹿児島市石谷町106番地２ TEL　099-278-1783
（株）千代田テクノル福岡営業所	812-0035	福岡市博多区中呉服町１－５ 祐徳ビル１号館７階 TEL　092-262-2233
アロカ株式会社　鹿児島営業所	890-0082	鹿児島市紫原５－16－８ TEL　099-252-7007

編　集　後　記

暑い夏が続いておりますが、皆様体調はいかがでしょうか！
この夏、ベルリンで開催されている世界陸上選手権で、ジャマイカのボルト選手が100mを9.58秒、200mを19.19秒の世界新記録を出しました。ちなみに昨年の北京オリンピックでも、同じくボルト選手が、100mを9.69秒、200mを19.30秒、当時で世界新記録でした！
いったい人間はこの先どこまで、時間を縮められるのでしょうか！？

さる、6月4日（木）～6日（土）鹿児島県民交流センターにて、第25回放射線技師総合学術大会（第12回　東アジア学術交流大会）が開催され、皆様の多大なるご協力のもと、無事終える事が出来ました。
この紙面をお借りしまして、深くお礼申しあげます。

m.t

広　告　掲　載　一　覧

会　社　名	郵便番号	住　所	電話番号
エーザイ株式会社	890-0053	鹿児島市中央町12-2 明治安田生命鹿児島ビル	099-254-9860
第一三共株式会社　鹿児島営業所	892-0847	鹿児島市西千石町17-3 太陽生命鹿児島第2ビル3F	099-219-9171
田辺三菱製薬株式会社 鹿児島営業所	890-0053	鹿児島市中央町9-1 鹿児島中央第一生命ビルディング8F	099-251-5151
バイエル薬品株式会社 九州第二営業所	892-0847	鹿児島市西千石町11-25 鹿児島フコク生命高見馬場ビル2F	092-411-2287
日本メジフィジックス鹿児島営業所	892-0842	鹿児島市東千石町2番1号 芙蓉ビル3F	099-805-2005
富士フイルムＲＩファーマ株式会社	812-0018	福岡市博多区住吉三丁目1番1号 富士フイルム福岡ビル	092-263-5310
富士フィルムメディカル株式会社	890-0073	鹿児島市宇宿1丁目13-10	099-253-0091
ケアストリームヘルス株式会社 西日本販売促進部　九州エリア担当	812-0016	福岡市博多区博多駅南1-2-3 ＫＤＸ博多ビル	092-413-8460
株式会社 エルクコーポレーション 鹿児島営業所	891-0122	鹿児島市南栄5丁目10番29号	099-266-3141
株式会社フィリップス エレクトロニクス ジャパン	860-0844	熊本市水道町8-6 朝日生命熊本ビル9F	0120-556-494
株式会社　八郷医療器	890-0114	鹿児島市小松原一丁目29-5	099-268-0010
株式会社　フィデスワン 鹿児島営業所	890-0054	鹿児島市荒田1-2-9	099-252-3488
株式会社 根本杏林堂 福岡営業所	892-0013	福岡市博多区博多駅東一丁目14-34 博多ICビル1F	092-414-7345
九州シーマン販売株式会社	810-0042	福岡市中央区赤坂一丁目5番22号5F	092-725-4450
南九州電子サービス株式会社 鹿児島営業所	880-0806	宮崎市広島1丁目1番10号	099-253-7397
株式会社　千代田テクノル 福岡営業所	812-0038	福岡県福岡市博多区祇園町1-28 シグマ博多ビル2階	092-262-2233
株式会社　エス・アール	819-0046	福岡市西区西の丘2丁目2-15 エス・アールビル	092-894-3800
株式会社メディソンアコマ 西日本販売	812-0065	福岡市東区二又瀬新町13番17号	092-621-0221
株式会社　太陽化学	890-0021	鹿児島市石谷町106番地2	099-220-0063

Iomeron®

処方せん医薬品:
注意—医師等の処方せんにより使用すること

非イオン性造影剤 [薬価基準収載]

イオメロン® 300 350 400

〈イオメプロール注射液〉

300・350(尿路・CT・血管用)／400(尿路・血管用)
内容量:20mL、50mL、100mL

処方せん医薬品:
注意—医師等の処方せんにより使用すること

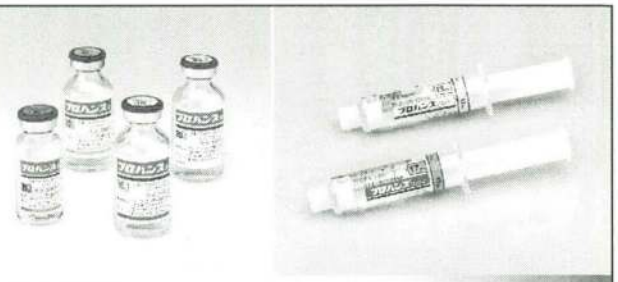
非イオン性造影剤 [薬価基準収載]

イオメロン® 300シリンジ 350シリンジ

〈イオメプロール注射液〉

300シリンジ(CT・尿路用)内容量:50mL、75mL、100mL
350シリンジ(CT・尿路用)内容量:50mL、75mL、100mL、135mL





ProHance®

処方せん医薬品:
注意—医師等の処方せんにより使用すること

非イオン性MRI用造影剤 [薬価基準収載]

プロハンス®注

〈ガドテリドール注射液〉

内容量:5mL、10mL、15mL、20mL

処方せん医薬品:
注意—医師等の処方せんにより使用すること

非イオン性MRI用造影剤 [薬価基準収載]

プロハンス®シリンジ

〈ガドテリドール注射液〉

内容量:13mL、17mL

●効能・効果、用法・用量及び警告、禁忌、原則禁忌を含む使用上の注意等については添付文書をご参照ください。

製造販売元
ブラッコ・エーザイ株式会社
〒112-0012 東京都文京区大塚 3-11-6

販売元
エーザイ株式会社
〒112-8088 東京都文京区小石川4-6-10
http://www.eisai.co.jp

提携先
ブラッコ インターナショナル

商品情報お問い合わせ先:エーザイ株式会社 お客様ホットライン 0120-419-497 9～18時(土、日、祝日 9～17時)

CM0903-5 2009年3月作成



※写真中の製品は販売名変更前仕様の包装です。

140(血管用) 50mL、220mL
240(尿路・血管用) 20mL、50mL、100mL
300(尿路・血管用) 20mL、50mL、100mL
(血管用) 150mL
350(尿路・血管用) 20mL、50mL
(血管用) 100mL
240注シリンジ(尿路・血管・CT用) 100mL
300注シリンジ(尿路・CT用) 50mL
(尿路・血管・CT用) 80mL、100mL
(CT用) 125mL、150mL
350注シリンジ(血管・CT用) 70mL、100mL
180(脳槽・脊髄用) 10mL
240(脳槽・脊髄用) 10mL
300(脊髄用) 10mL

OMNIPAQUE

非イオン性造影剤

指定医薬品、処方せん医薬品※ 薬価基準収載

オムニパーク®

OMNIPAQUE® イオヘキソール注射液

140 | 180 | 240 | 300 | 350

240注シリンジ | 300注シリンジ | 350注シリンジ

※注意—医師等の処方せんにより使用すること

★効能・効果、用法・用量、警告、禁忌および使用上の注意等の詳細につきましては、製品添付文書をご参照ください。

製造販売元(資料請求先)
第一三共株式会社
東京都中央区日本橋本町3-5-1
Daiichi-Sankyo

0903(0908)



非イオン性尿路・血管造影剤　薬価基準収載

プロスコープ®300注シリンジ 50mL・80mL・100mL

PROSCOPE® 300 Syringe （イオプロミド注射液）

指定医薬品 処方せん医薬品（注意 - 医師等の処方せんにより使用すること）

※効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等については、添付文書をご参照ください。

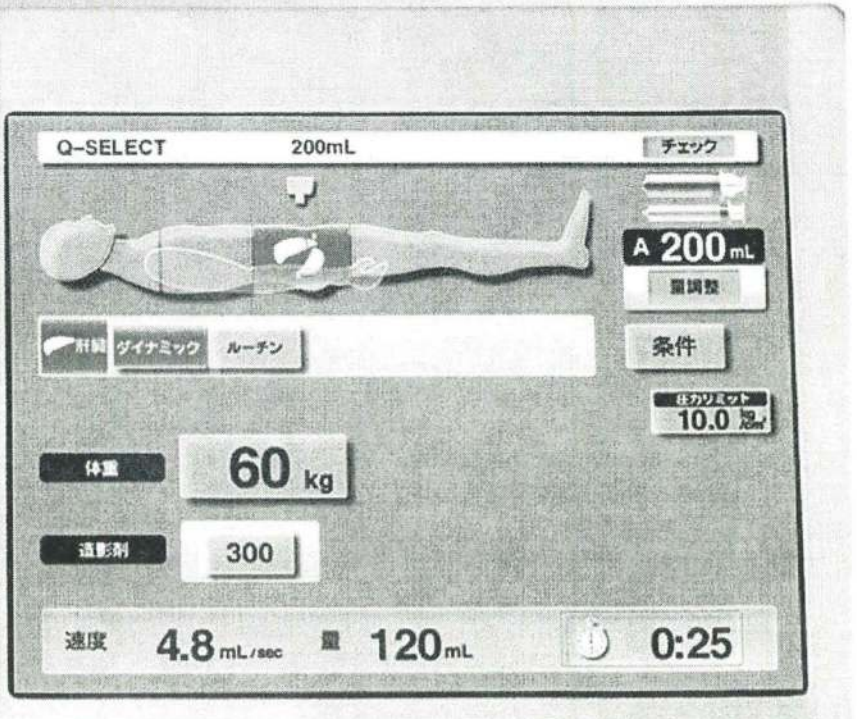
提携
バイエル・シエーリング・ファーマ社
（ドイツ連邦共和国）

製造販売元　〈資料請求先〉
田辺三菱製薬株式会社
大阪市中央区道修町3-2-10

2008年4月作成

常に最適なプロトコルを容易に実現できる新しい形の造影剤注入器です。
操作性はもちろん最適な造影プロトコルソフトを豊富に内蔵。

DUAL SHOT® EX



Nemoto

株式会社 根本杏林堂　東京都文京区本郷2-27-20 TEL.03-3818-3541
http://www.nemoto-do.co.jp



画像診断機器・販売サービス（株）ケンコー フジモトメディカルイメージング製品販売店

株式会社
メディソンアコマ西日本販売

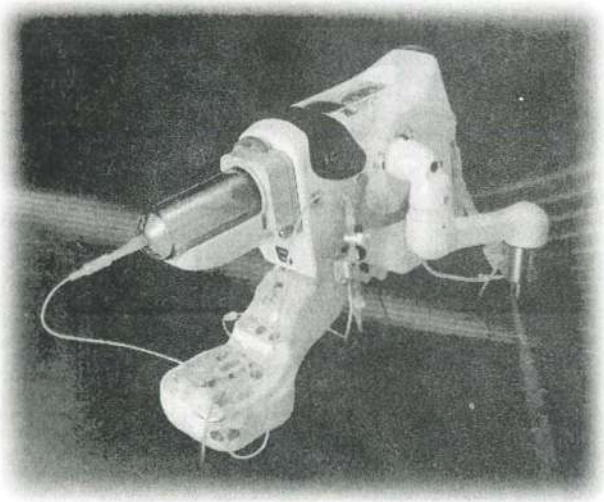
〒812-0065 福岡市東区二又瀬新町13番17号　TEL(092)621-0221 FAX(092)621-0225

http://www.md-acoma.com/
メール info@md-acoma.com

造影剤自動注入装置

Zone Master® Z model — ゾーンマスター® Zモデル —

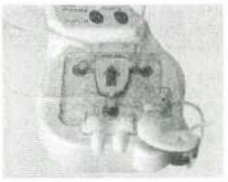
循環器系を網羅したオールラウンドインジェクター





ディスポーザブル バリアブルハンドスイッチ

造影剤の速度可変注入と生理食塩水のフラッシュができます。安全で高いレスポンスの光ファイバーケーブルを採用しました。



ディスポーザブルチューブ カセットキット

独自のディスポーザブルキットはカセット式です。装脱着が簡単に行えます。



リモートコントロール

大型7.4型TFTカラー液晶タッチパネルにより、視認性・操作性の向上及び誤操作を防ぎます。使用言語はもちろん日本語です。累積量、残量表示、注入毎の注入結果（実注入速度、実注入量、実注入圧）を表示します。

信頼をかたちに
シーマン株式会社®
http://www.sheen-man.co.jp

本　社　大阪市北区東天満1丁目12番10号 〒530-0044
TEL(06)6354-7702　FAX(06)6354-7114
東京支店　TEL(03)3238-0151　FAX(03)3238-0152
九州支店　TEL(092)725-4450　FAX(092)725-4457

当社は、作業環境測定機関の登録を平成21年1月27日に行いました。
RI施設作業環境測定においても、質の高いサポートを提供いたします。

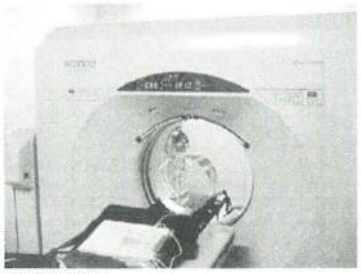
放射線測定・遮へい計算届出業務のご案内

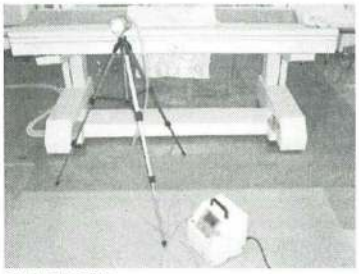
事業内容

- 漏洩線量、室内散乱線測定
- RI施設作業環境測定
- 被ばく線量測定(CTDI、アンギオ等)
- 関係官庁への申請書類作成についての事務代行
- 遮へい計算の作成
- X線防護工事

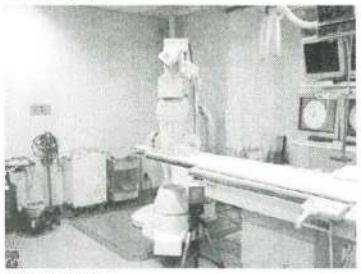
有資格者

- 第1種作業環境測定士 4名
- 第1種放射線取扱主任者 4名
- 第2種放射線取扱主任者 3名
- X線作業主任者 13名


被ばく線量測定


RI作業環境測定


漏洩線量測定

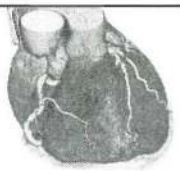

室内散乱線測定

ISO 9001 認証取得

Survey Radiation 株式会社 エス・アール

作業環境測定機関(福岡労働局 登録番号40-43)
福岡市西区西の丘2丁目2-15 エス・アールビル
TEL 092-894-3800 FAX 092-894-3801

FUJIFILM







「この画像」が、
次の一手を決める。

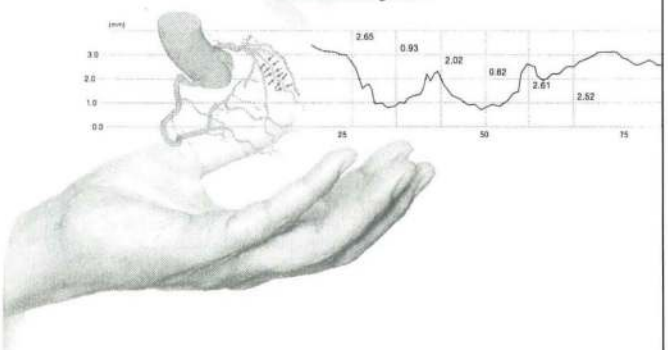
SYNAPSEから、最も進んだ3D登場。

FUJIFILM独自の画像処理技術で高精度な自動抽出を実現し3Dの実用レベルを一気に引き上げました。解析フローに配慮した画面レイアウトでストレスのない直感的操作を実現。臨床ニーズに応える多彩なアプリケーションソフトを揃え、診断・治療計画をサポートする実用性の高い解析機能を搭載しています。



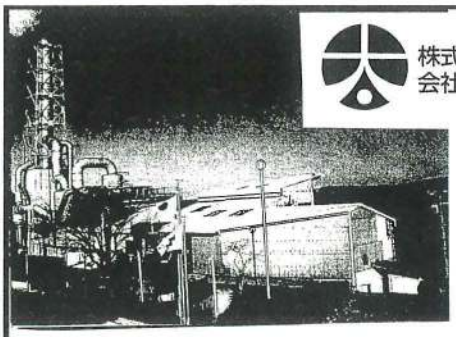
薬事販売名:富士医療診断ワークステーション FN-7941型 薬事承認番号:22000BZX00238000

more than imaginable



ボリュームアナライザー
SYNAPSE VINCENT

富士フイルム メディカル株式会社 〒106-0031 東京都港区西麻布2丁目26番30号 富士フイルム西麻布ビル tel.03-6419-8033(代) http://fms.fujifilm.co.jp



株式会社 太陽化学

本　社

鹿児島市石谷町106番地2

TEL 099-278-1783　FAX 099-278-4463

［ホームページ］ http://www.taiyo-kagaku.com/

［メールアドレス］ taiyo-office@taiyo-kagaku.com

伊集院工場

鹿児島県日置市伊集院町土橋字竹之迫537-1

平成18年（産業廃棄物処理業者優良評価基準適合第１号取得）

私たちは、２１世紀を救う環境調理人です。

ISO1400取得
2003.3.20
JAB

環境方針（抜粋）

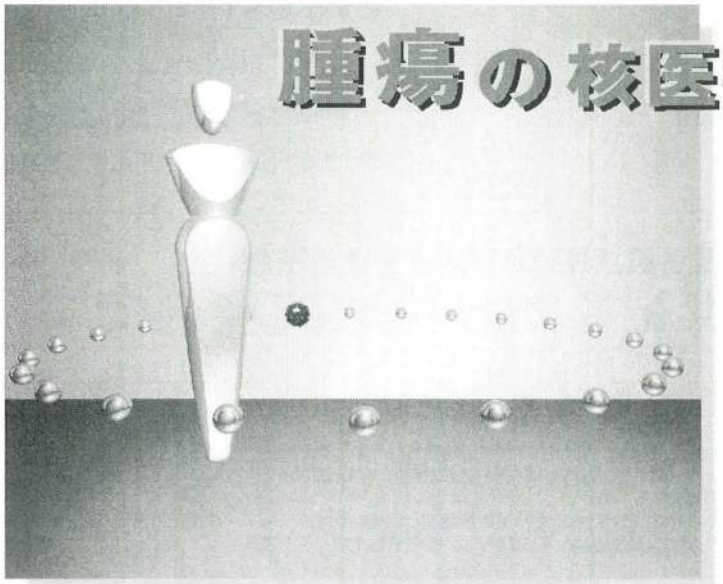
産業廃棄物を処理するにあたり、環境汚染防止に努め、環境影響を低減させる為、環境目的、目標を定め継続的改善を図りその維持に努めます。

廃棄物のエネルギーを利用して廃棄物を処理し省資源化を行い、資源のリサイクルを促進すると同時に、天然資源の有効利用を図ります。





nihon medi+physics



腫瘍の核医学画像診断

処方せん医薬品[注] 保険適用
放射性医薬品・悪性腫瘍診断薬,虚血性心疾患診断薬,てんかん診断薬
FDGスキャン®注
放射性医薬品基準フルデオキシグルコース(18F)注射液

処方せん医薬品[注] 薬価基準収載
放射性医薬品・心臓疾患診断薬・副甲状腺疾患診断薬
腫瘍(脳,甲状腺,肺,骨・軟部,縦隔)診断薬
塩化タリウム(201Tl)注NMP
日本薬局方塩化タリウム(201Tl)注射液

処方せん医薬品[注] 薬価基準収載
放射性医薬品・悪性腫瘍診断薬,炎症性病変診断薬
クエン酸ガリウム(67Ga)注NMP
日本薬局方クエン酸ガリウム(67Ga)注射液

処方せん医薬品[注] 薬価基準収載
放射性医薬品・骨疾患診断薬
クリアボーン®注
放射性医薬品基準ヒドロキシメチレンジホスホン酸テクネチウム(99mTc)注射液

注) 注意-医師等の処方せんにより使用すること

■効能・効果、用法・用量、原則禁忌を含む使用上の注意等は、添付文書をご参照ください。®:登録商標

資料請求先
日本メジフィジックス株式会社
〒136-0075 東京都江東区新砂3丁目4番10号 http://www.nmp.co.jp/

製品に関するお問い合わせ先
0120-076941

2009年6月改訂

Kodak
Licensed Product

日本仕様PACS

世界150カ国以上で鍛えられ、
日本の医療現場のために徹底的にカスタマイズ。
高評価の理由は、そこにあります。



Kodak Carestream PACS



Carestream PACS/RIS

ケアストリームヘルスは、世界150ヵ国以上で医療施設とお取り引きのあるグローバル企業。多種多彩な医療現場から蓄積したノウハウを活用して、複数の施設を連携させる大規模なIMS(Information Management Solutions)に至るまで、先進のPACS技術をさらに進化させつづけています。

elk 株式会社 エルクコーポレーション
鹿児島営業所 〒891-0122 鹿児島市南栄5-10-29 ☎099-266-3141

ケアストリームヘルス株式会社
福岡 〒812-0016 福岡市博多区博多駅南1-2-3 KDX 博多ビル
http://www.carestreamhealth.jp

Carestream HEALTH

©Carestream Health, Inc. 2008. Carestream is a trademark of Carestream Health. The Kodak trademark and trade dress are used under license from Kodak.

作業環境測定サービス

作業環境測定機関（登録番号08－29）

非密封の放射性同位元素を取り扱う事業所では、その事業所の『作業環境測定士』が行うか『作業環境測定機関』に委託して、1ヶ月以内ごとに1回作業場所の空気中放射能濃度を測定しなければならないこととなっています。

放射性同位元素等の環境測定に、高い技術力と信頼できるデータを提供する、千代田テクノルの作業環境測定サービスをぜひご利用ください。

◇空気中放射性物質濃度測定　◇表面汚染密度測定
◇空間線量測定　◇水中放射性物質濃度測定


測定作業


空間線量測定


空気中放射性物質サンプリング

作業環境に対する考え方…どの段階ですか？

- 労働衛生管理は企業経営の必須条件だから
- 作業環境管理は品質管理と同様にTQCの一つと考えられ、経営上積極的なメリットがあるから
- 法律によって義務づけされているから

TECHNOL
CHIYODA TECHNOL CORPORATION

株式会社千代田テクノル 営業部
〒113-8681 東京都文京区湯島1-7-12 千代田御茶の水ビル
TEL03(3816)1163
www.c-technol.co.jp

おもいやりをたしかに

HACHIGOU MEDICAL INSTRUMENT

株式会社
八郷医療器

〒891－0114　鹿児島市小松原一丁目29－5
TEL099－268－0010
FAX099－267－7790

FUJIFILM

認知症の早期診断および病型診断に

脳血流SPECT!



放射性医薬品／局所脳血流診断薬

指定医薬品・処方せん医薬品*) 注）注意－医師等の処方せんにより使用すること

ニューロライト® 第一／注射液 第一

放薬基：(N,N'-エチレンジ-L-システイネート(3-))オキソテクネチウム(^{99m}Tc)，ジエチルエステル注射液 薬価基準収載

効能又は効果：局所脳血流シンチグラフィ

用法及び用量

通常、成人には400～800MBqを静脈内に投与し、投与5分以降より被検部にガンマカメラ等の検出部を向け撮像もしくはデータを収録し、脳血流シンチグラムを得る。
なお、投与量は、年齢、体重及び検査方法により適宜増減する。
（ニューロライト®第一の場合は、^{99m}Tcにて標識の後、上法により用いる）

使用上の注意

1. **重要な基本的注意**　診断上の有益性が被曝による不利益を上回ると判断される場合にのみ投与することとし、投与量は最小限度にとどめること。
2. **副作用**　承認前の臨床試験では総症例690例中副作用は認められなかった。承認後の使用成績調査4,047例（高齢者2,139例、小児109例含む）中、副作用1例（0.02%）1件（嘔気）が認められた。（再審査終了時）
以下の副作用は、上記調査において認められたもの、あるいは別途自発的に報告されたものである。
（1）**重大な副作用**　ショック　まれに（0.1%未満）ショックがあらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には適切な処置を行うこと。
（2）**その他の副作用**

	0.1%未満
過敏症	紅斑，蕁麻疹，そう痒感，発疹
消化器	嘔気，嘔吐
その他	しびれ，発熱

3. **高齢者への投与**　一般に高齢者では生理機能が低下しているので、患者の状態を十分に観察しながら慎重に投与すること。
4. **妊婦、産婦、授乳婦等への投与**　妊婦又は妊娠している可能性のある婦人及び授乳中の婦人には、原則として投与しないことが望ましいが、診断上の有益性が被曝による不利益を上回ると判断される場合にのみ投与すること。
5. **小児等への投与**　小児等に対する安全性は確立していない（使用経験が少ない）。
6. **適用上の注意**（以下は「ニューロライト®第一」のみについての注意です。）
調製時：放射化学的純度に影響を及ぼすテクネチウム99などの影響を除くため、放射性医薬品基準過テクネチウム酸ナトリウム(^{99m}Tc)注射液ジェネレータの溶出液を使用すること。

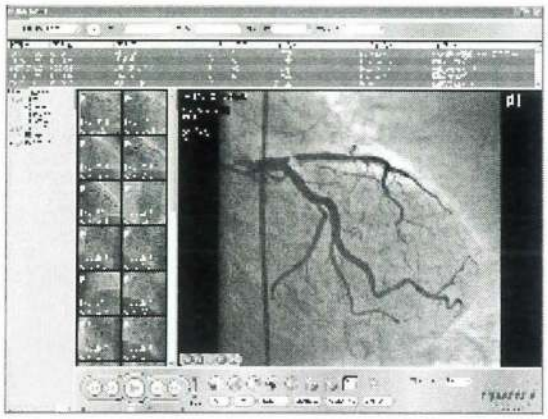
※「用法及び用量」の詳細、「取扱い上の注意」等については添付文書をご参照下さい。

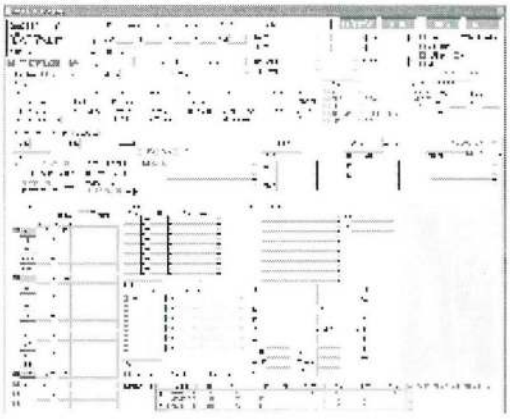
製造販売元
富士フイルムRIファーマ株式会社
資料請求先：〒104-0031　東京都中央区京橋1-17-10 内田洋行京橋ビル　TEL03(5250)2620
ホームページ：http://fri.fujifilm.co.jp
輸入先／技術提携先：Lantheus Medical Imaging, Inc.（米国）

2009年2月改訂

Nahri AQUA

—この速さはPCIをかえる—





- 循環器/カテ検査・治療にマッチした統合システム
- 高速ビュー＆快適な操作で業務効率が向上
- カンファレンス・患者説明に効果大
- 症例データベースから統計出力可能
- 電子カルテ・他システムとも連携可能

《さらにひろがる医療ITソリューション》

- PACS ～読影WS/WEB～
- 放射線検査予約システム
- MWM通信オプション
- オペ・カテ室患者呼出し
- 冠動脈(心臓)CTレポート
- マンモ/透視予約システム
- 外来・入院予約システム
- 地域医療連携システム

Fides-ONE
株式会社 フィデスワン
鹿児島営業所　鹿児島市荒田1-2-9
Tel 099-252-3488　Fax 099-254-4551

MEHERGEN GROUP

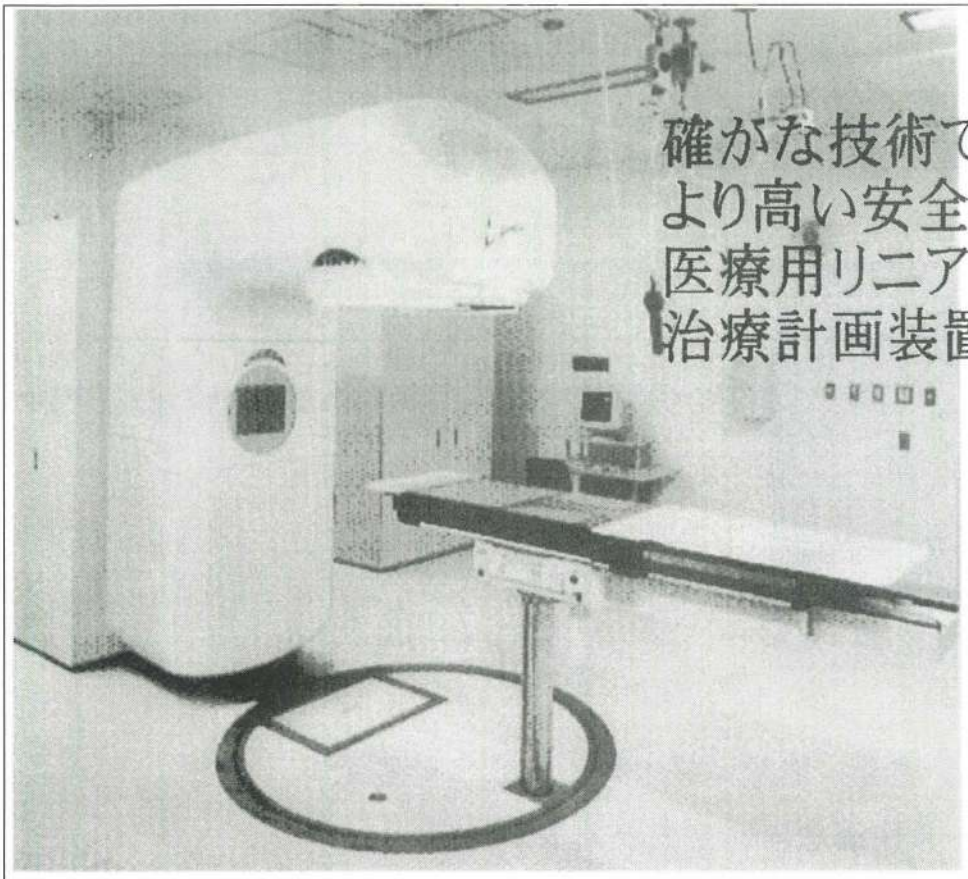
Fides-ONE
株式会社フィデスワン
福岡本社　福岡市博多区美野島3-17-27-1 2F
Tel 092-436-3022　Fax 092-436-3023

MID MEDICAL INFORMATION DELIVERY
株式会社エムアイディ
本社　福岡市博多区美野島3-17-27-1 3F
Tel 092-436-2555　Fax 092-436-2556

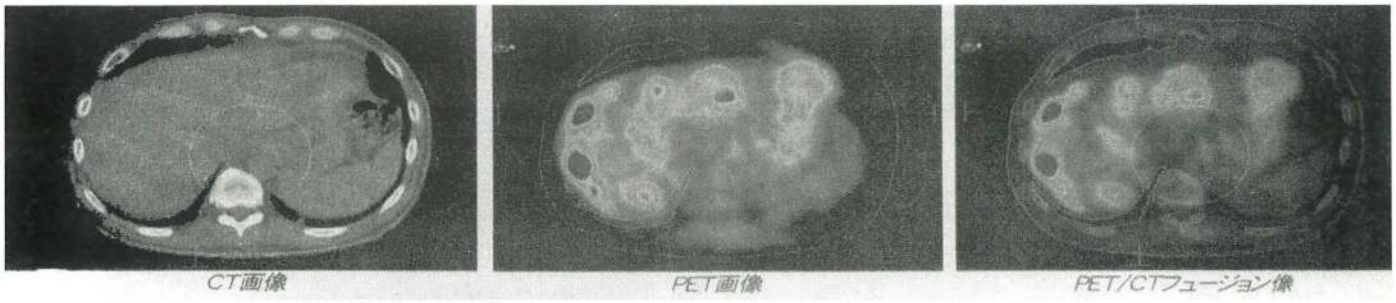
Nexis TO THE NEXT SYSTEM
株式会社ネクシス
福岡本社　福岡市博多区美野島3-17-27-1 3F
Tel 092-436-5670　Fax 092-436-2556

Parama-Tech

UNEXT TO UNITE NEXT STAGE



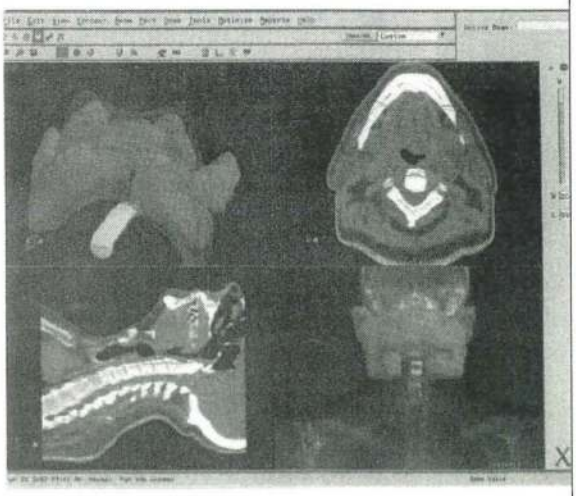
確かな技術で
より高い安全性をめざして
医療用リニアック、
治療計画装置をサポートします



CT画像　PET画像　PET/CTフュージョン像

高度な機能と満足をご提供します

- 治療装置システムのご提案
- 保守点検、メンテナンス



南九州電子サービス株式会社
http://bizwin.biz/mqds.php?&blogid=27

本　社　宮崎市広島１丁目 1-10　TEL0985-29-8371
鹿児島　鹿児島市鴨池2丁目 15-2　TEL099-253-7397



未来を創造するチカラ。

医療現場の声をチカラに、未来を創造し続けること。
それは、非イオン性造影剤「イオパミロン®」の発売以来
私たちが続けていることです。
そして、これからも私たちは、画像診断領域の発展のため、
皆様の声に耳を傾け、共に歩み続けます。

指定医薬品・処方せん医薬品注) 非イオン性尿路・血管造影剤（イオパミドール注射液）
注）注意－医師等の処方せんにより使用すること

薬価基準収載

イオパミロン®注

150	300	370
300シリンジ		370シリンジ

Iopamiron® Inj.

■効能・効果、用法・用量、警告・禁忌・原則禁忌を含む使用上の注意等については、添付文書をご参照ください。
■警告、禁忌、原則禁忌を含む使用上の注意の改訂に十分にご留意ください。

本剤の商標は BRACCO イタリアの許諾に基づく

資料請求先
バイエル薬品株式会社
大阪市北区梅田2-4-9 〒530-0001
http://www.bayer.co.jp/byl

BAYER Bayer HealthCare
Bayer Schering Pharma

（2008年7月作成）
IOP-08-4013


THE KAGOSHIMA ASSOCIATION OF RADIOLOGICAL TECHNOLOGISTS
(社)鹿児島県放射線技師会